

村上市行政改革大綱 後期実施計画
(平成25年度～平成28年度)

平成26年度
進捗状況報告書

村 上 市

目 次

1. 平成26年度進捗状況一覧表	1
2. 平成26年度進捗状況の総括	12
3. 行政改革大綱後期実施計画進捗個別表	15
(1) 組織・職員改革	
① 組織・機構の見直し	15
② 職員定員改革	17
③ 職員勤務体制改革	27
④ 職員意識改革	31
(2) 財政改革	
① 財政指標等情報公開	37
② 歳入改革	41
③ 歳出改革	101
(3) 行政サービス改革	
① 窓口改革	227
② 電子自治体化改革	235
③ 事務事業改革	237
(4) 施設改革	
① 施設利用活性化改革	253
② 施設管理改革	263
③ 施設統廃合等改革	305
(5) 市民協働のまちづくりの推進	
① 市民との協働によるまちづくりの推進	327
② 情報の共有化とまちづくりへの参加	329
③ 市民、民間団体への支援	341

【平成26年度進捗状況】

○ 平成26年度進捗状況一覧表

整理番号	項目番号			取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画変更
	大	改革	実施			取組	年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況	
1	1	1	1	組織機構の再編(課・室・係の統廃合等)	総務課	実施	支所2課体制	実施	支所2課体制	C	実施	支所2課体制	C
2	1	2	1	職員定員適正化計画の見直し、管理の実施	総務課	実施	▲74,730千円	実施	▲244,631千円	B	実施	▲244,631千円	B
3	1	2	1	定員管理状況の公表	総務課	実施	-	実施	-	B	実施	-	B
4	1	2	3	職員数・職員給与の検証	総務課	実施	797人	実施	791人	B	実施	791人	B
5	1	2	4	窓口業務の見直し	総務課	検討実施	-	実施	-	C	実施	-	C
6	1	2	1	再任用制度の導入・運用	総務課	実施	3人	実施	-	B	実施	3人	B
7	1	3	1	職場の状況把握及び改善	総務課	実施	-	実施	-	C	実施	-	C
8	1	3	2	時差出勤制度等の活用と時間外勤務の削減	総務課	実施	▲7,579千円	実施	9,560千円	C	実施	9,189千円	C
9	1	4	1	職員研修(階層別、専門別)の受講	総務課	実施	10人	実施	102人	B	実施	338人	B
10	1	4	2	本庁と支所、支所間の人事異動の積極的实施	総務課	実施	-	実施	-	B	実施	-	B
11	1	4	1	人事考課制度の試行、運用	総務課	実施	-	実施	-	B	実施	-	B
12	2	1	1	補助金事業の内容、金額、効果等の公表	総務課	実施	5件	実施	0件	C	実施	0件	C
13	2	1	2	財政等に関する情報の公表項目の拡大	財政課	実施	-	実施	-	B	実施	-	B
14	2	2	1	口座振替制度の啓発・促進	税務課	実施	72.00%	実施	66%	C	実施	65.38%	C
15	2	2	2	市県民税の特別徴収の促進	税務課	実施	64.00%	実施	62.40%	C	実施	62.40%	C

整理 番号	項目番号				取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画 変更		
	大	改革	実施	取組			年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況	実績値		評価	
																取組
16	2	2	1	3	市税等のコンビニ収納等の検討・実施	税務課	検討	—	—	—	—	—	C	—	C	あり
17	2	2	1	4	市税における新潟県地方税徴収機構の活用	税務課	実施	—	—	—	—	—	B	—	B	あり
18	2	2	1	5	収納推進員の活用	税務課	実施	—	—	—	—	—	B	—	B	
19	2	2	1	6	市税現年度分収納率の数値目標	税務課	実施	98.30%	98.40%	—	—	—	B	98.77%	A	
20	2	2	1	7	市税滞納繰越分収納率の数値目標	税務課	実施	18.00%	21.30%	—	—	—	B	21.72%	A	
21	2	2	1	8	国保税現年度分収納率の数値目標	税務課	実施	92.60%	93.10%	—	—	—	B	93.77%	A	
22	2	2	1	9	国保税滞納繰越分収納率の数値目標	税務課	実施	20.00%	26.20%	—	—	—	B	25.87%	A	
23	2	2	2	1	使用料、手数料算出基準の策定、見直し	総務課	調査 検討	—	—	—	—	—	C	—	C	あり
24	2	2	2	2	減免取扱いの適正化の検討	総務課	検討	—	—	—	—	—	C	—	C	あり
25	2	2	2	3	ごみ指定袋による負担の確保	環境課	検討	—	—	—	—	—	C	—	C	あり
26	2	2	2	5	水道料金の統一	水道局	実施	統一 (段階的調整あり)	—	—	—	—	B	—	B	あり
27	2	2	2	6	下水道料金の統一	下水道課	実施	統一 (段階的調整あり)	—	—	—	—	B	—	B	あり
28	2	2	3	1	新規広告媒体への広告掲載	財政課	検討	—	—	—	—	—	C	—	C	あり
29	2	2	3	2	未利用市有地を広告看板設置に貸出し	財政課	調査	—	—	—	—	—	B	—	AA	
30	2	2	3	3	ネーミングライツ導入の検討	総務課	調査 検討	—	—	—	—	—	D	—	D	あり
31-1	2	2	3	4	広告収入の確保（封筒）	財政課	検討	—	—	—	—	—	C	—	C	あり

整理 番号	項目番号				取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画 変更	
	大	改革	実施	取組			年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況	実績値		評価
31-2	2	2	3	4	広告収入の確保（情報告知端末未）	政策推進課	実施	52千円	検討	11千円	D	実施	12千円	D	あり
					広告収入の確保（市報）	政策推進課	実施	644千円	実施	384千円	C	実施	429千円	C	
					広告収入の確保（ホームページ）	政策推進課	実施	180千円	実施	275千円	A	実施	275千円	A	
31-3	2	2	3	4	広告収入の確保（ごみカレンダー）	環境課	実施	336千円	実施	336千円	B	実施	336千円	B	
					公有財産の取扱い方針・基準の策定	財政課	策定	－	検討	－	B	検討	－	B	あり
32	2	2	4	1	公有財産の取扱い方針・基準の策定	財政課	策定	－	検討	－	B	検討	－	B	あり
33	2	2	4	2	未利用財産の貸付の実施	財政課	実施	31,000千円	実施	－	B	実施	31,728千円	B	
34	2	2	4	3	市宮坂町住宅敷地内の遊休地の売却	都市整備課	検討	－	検討	－	B	検討	－	AA	
35	2	2	5	1	調査報告書の有償頒布	生涯学習課	実施	67千円	実施	10千円	C	実施	8千円	C	あり
36	2	2	6	1	国保税・介護保険料の12期払いの検討	税務課	検討	－	検討	－	B	検討	－	B	
37	2	2	6	2	固定資産税の12期払いの実施	税務課	検討	－	検討	－	B	検討	－	B	あり
38	2	2	7	1	水道水ボトルウォーターの製造販売による水道水需要の拡大	水道局	計画	－	検討	－	C	検討	－	C	あり
39	2	2	8	1	事務委託負担金の見直し	財政課	検討	－	検討	－	C	検討	－	C	
40	2	3	1	1	補助金の見直し	総務課	実施	▲7,170千円	実施	▲8,044千円	B	実施	▲8,044千円	B	
41	2	3	1	2	負担金の見直し	総務課	検討	－	調査	－	C	調査	－	C	あり
42	2	3	1	3	効果を検証する制度の構築	総務課	検討	－	検討	－	C	検討	－	C	あり
43	2	3	1	4	団体等への負担金等の適正化	農林水産課	実施	－	実施	－	B	実施	－	B	

整理番号	項目番号				取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画変更
	大	改革	実施	取組			年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況	実績値	
44	2	3	2	1	特別職(三役)報酬の見直し	総務課	実施検討	—	—	—	—	—	—	B
45	2	3	2	2	非常勤特別職の見直し	総務課	実施検討	—	—	—	—	—	—	B
46-1					公用車の燃料費等の削減(総務課)	総務課	実施	(▲2%)	▲502千円(▲18%)	実施	▲592千円(▲21%)	—	—	A
46-2					公用車の燃料費等の削減(財政課)	財政課	実施	—	—	実施	—	—	—	B
46-3					公用車の燃料費等の削減(政策推進課)	政策推進課	実施	(▲2%)	—	実施	0千円	—	—	C
46-4					公用車の燃料費等の削減(自治振興課)	自治振興課	実施	(▲2%)	▲50%	実施	▲20千円(▲11%)	—	—	A
46-5					公用車の燃料費等の削減(税務課)	税務課	実施	(▲2%)	▲13%	実施	▲88千円(▲14%)	—	—	A
46-6					公用車の燃料費等の削減(市民課)	市民課	実施	(▲2%)	▲9千円(▲2%)	実施	▲10千円(▲2%)	—	—	B
46-7					公用車の燃料費等の削減(環境課)	環境課	実施	(▲2%)	—	実施	—	—	—	B
46-8	2	3	3	1	公用車の燃料費等の削減(保健医療課)	保健医療課	実施	(▲2%)	▲8千円	実施	▲19千円(▲8千円)	—	—	A
46-9					公用車の燃料費等の削減(介護高齢課)	介護高齢課	実施	(▲2%)	—	実施	▲66千円(▲5%)	—	—	A
46-10					公用車の燃料費等の削減(福祉課)	福祉課	実施	(▲2%)	61千円(6%)	実施	61千円(6%)	—	—	C
46-11					公用車の燃料費等の削減(農林水産課)	農林水産課	実施	(▲2%)	84千円(13%)	実施	29千円(4%)	—	—	C
46-12					公用車の燃料費等の削減(商工観光課)	商工観光課	実施	(▲2%)	▲85千円(▲17%)	実施	▲45千円(▲10%)	—	—	A
46-13					公用車の燃料費等の削減(都市整備課)	都市整備課	実施	(▲2%)	107千円(11%)	実施	▲39千円(▲4%)	—	—	A
46-14					公用車の燃料費等の削減(下水道課)	下水道課	実施	(▲2%)	▲13千円(▲1%)	実施	▲15千円(▲1%)	—	—	C

整理番号	項目番号			取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績			計画変更
	大	改革	実施			取組	年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況	実績値	
46-15				公用車の燃料費等の削減 (水道局)	水道局	実施	(▲2%)	実施	▲107千円 (▲7%)	A	実施	▲112千円 (▲8%)	A	
46-16				公用車の燃料費等の削減 (学校教育課)	学校教育課	実施	(▲2%)	実施	—	A	実施	▲80千円 (▲1%)	C	
46-17				公用車の燃料費等の削減 (生涯学習課)	生涯学習課	実施	(▲2%)	実施	▲189千円 (▲9%)	A	実施	▲227千円 (▲11%)	A	
46-18				公用車の燃料費等の削減 (荒川支所 地域振興課)	荒川支所 地域振興課	実施	(▲2%)	実施	1%	C	実施	7千円 (1%)	C	
46-19				公用車の燃料費等の削減 (荒川支所 産業建設課)	荒川支所 産業建設課	実施	(▲2%)	実施	8千円 (1%)	B	実施	▲1千円 (▲0.2%)	C	
46-20				公用車の燃料費等の削減 (神林支所 地域振興課)	神林支所 地域振興課	実施	(▲2%)	実施	27千円 (3.7%)	C	実施	20千円 (2%)	C	
46-21	2	3	1	公用車の燃料費等の削減 (神林支所 産業建設課)	神林支所 産業建設課	実施	(▲2%)	実施	▲10千円 (▲3%)	AA	実施	▲10千円 (▲3%)	A	
46-22				公用車の燃料費等の削減 (朝日支所 地域振興課)	朝日支所 地域振興課	実施	(▲2%)	実施	—	B	実施	84千円 (3%)	C	
46-23				公用車の燃料費等の削減 (朝日支所 産業建設課)	朝日支所 産業建設課	実施	(▲2%)	実施	0千円	B	実施	61千円 (▲1%)	C	
46-24				公用車の燃料費等の削減 (山北支所 地域振興課)	山北支所 地域振興課	実施	(▲2%)	実施	—	B	実施	▲531千円 (▲29%)	A	
46-25				公用車の燃料費等の削減 (山北支所 産業建設課)	山北支所 産業建設課	実施	(▲2%)	実施	▲4%	B	実施	▲10千円 (▲4%)	A	
46-26				公用車の燃料費等の削減 (消防本部総務課)	消防本部	実施	(▲2%)	実施	1,186千円 (17%)	C	実施	484千円 (8%)	C	
47-1				公用車の集中管理化(荒川支所)	荒川支所 地域振興課	実施	—	実施	—	B	実施	—	B	
47-2				公用車の集中管理化(神林支所)	神林支所 地域振興課	実施	—	実施	—	B	実施	—	B	
47-3	2	3	2	公用車の集中管理化(朝日支所)	朝日支所 地域振興課	実施	—	実施	—	B	実施	2台	A	
47-4				公用車の集中管理化(山北支所)	山北支所 地域振興課	実施	—	実施	—	B	実施	—	B	

整理番号	項目番号				取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画変更	
	大	改革	実施	取組			年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況	実績値		評価
48	2	3	3	3	水道メーター検針業務等の包括委託の推進	水道局	検討	—	—	—	—	—	—	C	あり
49	2	3	4	1	市道の指定管理者制度導入の検討	都市整備課	調査 検討	—	—	—	—	—	—	B	あり
50	2	3	5	1	小中学校安全対策事業の見直し	学校教育課	実施	—	—	—	—	—	—	B	あり
51	2	3	5	2	物品調達業務の統一化	学校教育課	検討 実施	—	—	—	—	—	—	C	あり
52-1	2	3	6	1	簡易水道事業特別会計(財政課)	財政課	実施	▲1,507千円 (127当初予算)	▲4,240千円 (▲2%)	▲4,240千円 (▲2%)	▲4,240千円 (▲2%)	▲4,240千円 (▲2%)	▲4,240千円 (▲2%)	A	あり
52-2	2	3	6	1	簡易水道事業特別会計(水道局)	水道局	実施	▲1,507千円 (127当初予算)	—	—	—	—	—	B	あり
53-1	2	3	6	2	国民健康保険特別会計(財政課)	財政課	実施	▲848千円 (127当初予算)	4,516千円	4,516千円	4,168千円 (15%)	4,168千円 (15%)	4,168千円 (15%)	C	あり
53-2	2	3	6	2	国民健康保険特別会計(保健医療課)	保健医療課	実施	▲848千円 (127当初予算)	4%	—	—	—	—	C	あり
54-1	2	3	6	4	下水道事業特別会計(財政課)	財政課	実施	▲9,179千円 (127当初予算)	▲12,220千円 (▲1%)	▲12,220千円 (▲1%)	▲12,220千円 (▲1%)	445,508千円 (23%)	445,508千円 (23%)	D	あり
54-2	2	3	6	4	下水道事業特別会計(下水道課)	下水道課	実施	▲9,179千円 (127当初予算)	▲1,385千円 (▲0.5%)	▲1,385千円 (▲0.5%)	▲1,385千円 (▲0.5%)	445,508千円 (23%)	445,508千円 (23%)	D	あり
55-1	2	3	6	5	集落排水事業特別会計(財政課)	財政課	実施	▲1,146千円 (127当初予算)	32,490千円 (6%)	32,490千円 (6%)	9,471千円 (14%)	9,471千円 (14%)	9,471千円 (14%)	D	あり
55-2	2	3	6	5	集落排水事業特別会計(下水道課)	下水道課	実施	▲1,146千円 (127当初予算)	61,799千円 (161%)	61,799千円 (161%)	9,471千円 (14%)	9,471千円 (14%)	9,471千円 (14%)	D	あり
56-1	2	3	6	6	蒲萄スキー場特別会計(財政課)	財政課	実施	▲2,315千円 (127当初予算)	▲21,672千円 (▲28%)	▲21,672千円 (▲28%)	▲21,672千円 (▲28%)	▲21,672千円 (▲28%)	▲21,672千円 (▲28%)	A	あり
56-2	2	3	6	6	蒲萄スキー場特別会計(商工観光課)	商工観光課	実施	▲2,315千円 (127当初予算)	—	—	—	—	—	C	あり
57-1	2	3	6	7	介護保険特別会計(財政課)	財政課	実施	▲5,520千円 (127当初予算)	1,202千円 (1%)	1,202千円 (1%)	1,202千円 (1%)	1,202千円 (1%)	1,202千円 (1%)	C	あり
57-2	2	3	6	7	介護保険特別会計(介護高齢課)	介護高齢課	実施	▲5,520千円 (127当初予算)	317千円 (0.2%)	317千円 (0.2%)	317千円 (0.2%)	317千円 (0.2%)	317千円 (0.2%)	B	あり

整理番号	項目番号			取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画変更		
	大	改革	実施			取組	年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況		実績値	評価
58-1	2	3	6	8	情報通信事業特別会計(財政課)	財政課	実施	▲3,082千円 (027当初予算)	実施	25,726千円	C	実施	25,726千円	C	あり
							実施	▲3,082千円 (027当初予算)	実施	-	D	実施	25,726千円 (25%)	C	あり
59	2	3	8	1	敬老事業の見直し	介護高齢課	検討	-	検討	-	B	検討調整	-	C	
60	2	3	8	2	まほろば配湯事業の見直し	介護高齢課	廃止	▲3,240千円	休止	-	B	一部実施	▲3,240千円	B	
61-1					投資的経費の縮減(一般会計)	財政課	実施	▲231,788千円 (027当初予算)	実施	350,114千円	C	実施	350,114千円	C	
61-2					投資的経費の縮減(情報通信事業特別会計)	政策推進課	実施	▲2,003千円 (027当初予算)	実施	▲35,072千円	A	実施	▲35,072千円	A	
61-3					投資的経費の縮減(蒲萄スキー場特別会計)	商工観光課	実施	▲2,821千円 (027当初予算)	実施	▲851千円 (▲4%)	B	実施	▲3,594千円	A	
61-4	2	3	9	1	投資的経費の縮減(下水道事業特別会計)	下水道課	実施	▲57,894千円 (027当初予算)	実施	365,341千円 (32%)	D	実施	316,742千円 (27%)	D	
61-5					投資的経費の縮減(集落排水事業特別会計)	下水道課	実施	▲3,721千円 (027当初予算)	実施	13,058千円 (18%)	D	実施	7,721千円 (10%)	D	
61-6					投資的経費の縮減(簡易水道特別会計)	水道局	実施	▲17,100千円 (027当初予算)	実施	216,305千円 (79%)	D	実施	284,328千円 (104%)	D	
61-7					投資的経費の縮減(上水道事業会計)	水道局	実施	▲58,567千円 (027当初予算)	実施	▲25,942千円 (▲8%)	B	実施	▲101,498千円 (▲11%)	A	
62	3	1	1	1	「接遇マニュアル」の作成、アンケートの実施	総務課	実施	-	検討	-	C	検討	-	C	
63	3	1	1	2	民間企業等、外部研修制度の検討	総務課	検討実施	5人	検討	-	C	検討	-	C	
64	3	1	1	3	接遇に対しての職員の自己評価の実施	総務課	検討	-	検討	-	C	検討	-	C	
65	3	1	2	1	延長窓口等の充実・検証	市民課	検証実施	1,385人	検討実施	1,400人	B	検討実施	1,589人	B	
66	3	2	1	1	携帯電話等を活用した新たな情報発信	政策推進課	検討	(登録者数)10,240	実施	-	A	実施	(登録者数)10,901	A	

整理番号	項目番号			取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画変更	
	大	改革	実施			取組	年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況		実績値
67	3	3	1	1	事務事業の整理・統合実施	総務課	—	—	—	—	—	—	—	—
68	3	3	1	2	行政改革大綱実施計画の進捗管理	総務課	実施	—	—	—	—	—	—	B
69	3	3	1	3	行政評価制度の創設	総務課	実施 検証	—	—	—	—	—	—	B
70	3	3	1	4	地籍調査委託の推進	都市整備課	実施	約0.4km ²	0.5km ²	—	—	—	0.5km ²	B
71	3	3	1	5	消防団組織の見直し	消防本部	調査 検討	—	—	調査 検討	—	—	—	C
72	3	3	1	6	消防備品の移譲	消防本部	検討	—	—	検討	—	—	—	C
73	3	3	1	8	乳幼児健診の一部統合	保健医療課	検討 実施	—	—	検討 実施	—	—	—	B
74	3	3	2	2	国県の権限移譲の受け入れ促進	政策推進課	実施	(移譲事務数) 1	(移譲事務数) 3	実施	—	—	(移譲事務数) 4	A
75-1					支所・学校の空きスペース有効利用 の検討・実施(学校施設)	学校教育課	検討	—	—	検討	—	—	—	AA
75-2					支所・学校の空きスペース有効利用 の検討・実施(荒川支所)	荒川支所 地域振興課	検討	—	—	実施	—	—	—	B
75-3		4	1	1	支所・学校の空きスペース有効利用 の検討・実施(神林支所)	神林支所 地域振興課	検討	—	—	実施	—	—	—	B
75-4					支所・学校の空きスペース有効利用 の検討・実施(朝日支所)	朝日支所 地域振興課	検討	—	—	検討	—	—	—	B
76	4	4	1	2	学童保育所の充実	福祉課	検討	—	—	実施	—	—	—	B
77-1					公募により選定するもの (村上市老人福祉センター)	介護高齢課	—	—	—	—	—	—	—	B
77-2					公募により選定するもの (荒川いこいの家)	介護高齢課	—	—	—	—	—	—	—	B
78-1					外郭団体等を指定するもの (養護老人ホームやまゆり荘)	介護高齢課	—	—	—	—	—	—	—	B

整理番号	項目番号			取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画変更	
	大	改革	実施			取組	年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況		実績値
78-2				外郭団体等を指定するもの (福祉センターゆり花会館)	介護高齢課	-	-	手続き	-	B	手続き	-	B	
78-3				外郭団体等を指定するもの (村上市コミュニティデイホーム)	介護高齢課	-	-	手続き	-	B	手続き	-	B	
78-4				外郭団体等を指定するもの (神林いこいの家)	介護高齢課	-	-	手続き	-	B	手続き	-	B	
78-5				外郭団体等を指定するもの (やまびこの家)	福祉課	-	-	手続き	-	B	手続き	-	B	
78-6				外郭団体等を指定するもの (村上地区体育施設)	生涯学習課	実施	▲2,778千円	実施	2,017千円	B	実施	1,524千円	AA	
78-7				外郭団体等を指定するもの (神林地区体育施設)	生涯学習課	実施	▲4,773千円	実施	▲655千円	B	実施	▲1,121千円	AA	
78-8	4	2	1	2	外郭団体等を指定するもの (朝日地区体育施設)	生涯学習課	実施	▲1,930千円	実施	B	実施	619千円	AA	
78-9				外郭団体等を指定するもの (ふるさとモデル木造施設)	神林支所 産業建設課	検討	-	検討	-	C	検討	-	D	あり
78-10				外郭団体等を指定するもの (南大平畜産基地)	神林支所 産業建設課	-	-	検討	-	B	検討	-	D	あり
78-11				外郭団体等を指定するもの (南大平ダム湖公園)	神林支所 産業建設課	-	-	検討	-	C	検討	-	D	あり
78-12				外郭団体等を指定するもの (二子島森林公園)	朝日支所 産業建設課	-	-	手続き	-	B	手続き	-	B	
78-13				外郭団体等を指定するもの (山北地区学童保育所)	山北支所 地域振興課	実施	▲651千円	実施	1,499千円	B	実施	1,499千円	AA	
78-14				外郭団体等を指定するもの (笹川流れ夕日会館)	山北支所 産業建設課	実施	▲266千円	実施	-	B	実施	0千円	AA	
79	4	2	1	3	地域密着型で地区限定するもの (荒川地区農村公園)	荒川支所 産業建設課	実施	-	-	B	実施	-	B	あり
80-1				地元企業等の条件付き公募で選定するもの(あらかわ保育園)	福祉課	実施	-	実施	-	B	実施	-	AA	
80-2	4	2	1	4	地元企業等の条件付き公募で選定するもの(村上市営あらかわゴルフ場)	商工観光課	実施	▲668千円	実施	C	実施	4,360千円	AA	

整理番号	項目番号				取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画変更
	大	改革	実施	取組			年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況	実績値	
80-3	4	2	1	4	地元企業等の条件付き公募で選定するもの(朝日みどりの里関連施設)	商工観光課	—	手続き	—	B	—	B		
81	4	2	2	1	一元管理体制の推進	総務課	—	終了	—	AA	—	AA		
82	4	3	1	1	荒川地区3保育園の統合・新設	福祉課	—	実施	—	AA	—	AA		
83	4	3	1	2	市内保育園の集約の検討	福祉課	—	検討	—	C	—	C		
84	4	3	2	1	集落集会所施設移譲の検討・実施	自治振興課	山北 7	実施	10施設・移譲	A	山北 10施設移譲	A	あり	
85-1	4	3	3	1	主たる利用団体がある施設の移譲(堆肥舎)	神林支所 産業建設課	—	検討	—	B	—	B	あり	
85-2	4	3	3	1	主たる利用団体がある施設の移譲(格納庫)	神林支所 産業建設課	—	検討	—	C	—	C		
86	4	3	4	1	学校施設の教育環境の検討	学校教育課	—	検討	—	B	—	B		
87	4	3	4	2	体育施設の見直し	生涯学習課	統廃合 (1施設)	検討	—	B	—	B		
88	4	3	4	3	福祉施設の統廃合の検討・実施	介護高齢課	—	検討	—	B	—	B		
89	4	3	4	5	下水道処理施設の統廃合	下水道課	▲5,000千円	検討	—	B	—	B		
90	4	3	5	1	再利用可能施設の利用の検討・実施	財政課	1棟	調査 実施	解体 2棟	A	解体 3棟	AA		
91	4	3	6	1	消防分署体制の見直し	消防本部	—	検討	—	B	—	AA		
92	5	1	1	1	協働のまちづくりの周知	自治振興課	—	実施	—	B	—	B		
93	5	2	1	1	広報・広聴組織の充実	政策推進課	(回数) 1	実施	回数 1	B	0回	C		
94	5	2	1	2	ホームページの充実	政策推進課	(アクセス数) 614,000	更新	年間 600,000	A	年間 561,812	C	あり	

整理番号	項目番号			取組項目名	実施課	計画		中間進捗			実績		計画変更	
	大	改革	実施			取組	年次取組	目標値	取組見込	見込値	評価	取組状況		実績値
95	5	2	1	3	出前講座の拡充	生涯学習課	実施	延6,700人	実施	6,700人	B	実施	9,696人	B
96	5	2	2	1	市政提案制度や市政懇談会の充実	政策推進課	実施	(市政懇談会回数) 1	実施	(市政懇談会回数) 1	A	実施	—	B
97	5	2	2	2	パブリックコメント制度の充実	政策推進課	実施	(手続き数) 3	実施	(手続き数) 9	B	実施	(手続き数) 11	A
98	5	2	2	3	職員の地域活動等への参加促進	自治振興課	実施	—	検討	—	C	検討	—	C
99	5	3	1	1	評価・検証制度の確立と実施	自治振興課	調査 検討	—	検討 実施	—	B	検討 実施	—	B
100	5	3	1	2	まちづくりのリーダーとなる団体・人材育成のための支援や研修会の実施	自治振興課	実施	—	実施	—	B	実施	—	B
101	5	3	2	1	地域まちづくり組織の活動拠点の確保及びコミュニティ活動推進支援	自治振興課	一部検討 実施	—	検討	—	B	一部検討 実施	—	B

行政改革大綱後期実施計画平成26年度進捗状況総括

【評価基準】

- AA……「完了/達成（非常に良い）」
- A……「計画を上回る（良い）」
- B……「計画どおり」
- C……「計画を下回る（悪い）」
- D……「見直しが必要（非常に悪い）」

【平成26年度最終評価】

大 項 目	取組 項目数	AA	A	B	C	D	計 画 変 更
1 組織・職員改革	11	0	0	7	4	0	0
2 財政改革	95	3	25	23	35	9	31
3 行政サービス改革	12	0	2	5	5	0	0
4 施設改革	37	11	1	20	2	3	6
5 市民協働のまちづくりの推進	10	0	1	6	3	0	1
合 計	165	14	29	61	49	12	38

【中間評価からの推移】

最終 中間	AA	A	B	C	D
AA	2	1	1	0	0
A	1	12	1	2	1
B	10	14	58	10	1
C	1	2	1	36	3
D	0	0	0	1	7

【平成 26 年度取組等の総括】

1. 組織・職員改革

組織再編計画（後期計画）のとおり、平成 26 年 4 月 1 日から支所を 2 課体制とし、職員定員適正化計画（後期）の目標値を大幅に達成した定員となっている。

しかし、業務量検証が行えなかったため業務量の平準化、職員定員適正化計画の検証ができていない。

2. 財政改革

財政情報の公開を継続して実施することにより、市の財政状況の透明性を図った。

歳入改革では、市税の収納率向上の取組である口座振替・特別徴収の推進では目標値に達しなかったが、市税等収納率は目標値を上回り、歳入の確保が図られた。

しかし、使用料・手数料の見直しの取組みが遅れているため、適正な受益者負担と自主財源の確保までは至っていない。

また、広告収入は、一部広告掲載では一定の収入の確保は図られているが、市報・ホームページでの広告掲載の効果等の魅力の周知が難しく目標値より大きく下回っている。

歳出改革では、全課で取り組んでいる公用車の燃料費等の削減はほぼ目標値を上回り、歳出の抑制に繋がったが、燃料費単価の低廉化が大きい要因である。

また、各特別会計への繰出金及び投資的経費の抑制は施設老朽化への対応の増加などにより前年度より増額している。

3. 行政サービス改革

行政サービスを行う上での基本となる接遇に対するマニュアル作成が大幅に遅れている。

職員の資質向上のためにも先進市等の取組を参考にしながら市独自の接遇マニュアルを早急に取り組んでいく。

延長窓口の検証を行い、利用者数の非常に少ない支所の延長窓口を平成 27 年度から隔週で実施することとした。

4. 施設改革

施設見直し計画（後期）に基づき実施し、公の施設への指定管理者導入の取組については、一部の施設以外は計画どおり導入及び更新を実施し、経費の縮減は維持管理費の増加により目標値を達成できなかったが公の施設の運営と管理の効率化は図られた。

また、集落集会施設についても目標値を上回る早期の移譲が図られた。

5. 市民協働のまちづくりの推進

協働のまちづくり推進のため各地区で設立している各協議会の活動を紙媒体やホームページ等の電子媒体で引き続き周知を図るとともに、情報の共有を図るため行政情報の提供等を

行う出前講座を充実して取り組んでおり出前講座の取組は大幅に目標値を達成している。

また、地域の一員でもあり情報の発信元である職員の地域活動等への参加は積極的とまでは行かないが徐々に増えてきている。

しかし、地域の温度差があるため慎重に検討して参加促進をしていく。

【行政改革大綱後期実施計画進捗個別表】

整理番号	1			
取組項目 (コード)	1-1-1-1	組織機構の再編(課・室・系の統廃合等)		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	組織再編(後期計画)による。 ・ 本庁については、時勢の変動に応じ再編 ・ 支所については、平成26年4月1日から2課体制、平成29年4月1日から1課体制 ・ 各教育事務所の廃止の早期検討及び村上水道事務所の本庁への統合			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		検討
目標値		支所 2課体制		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	支所 2課体制
平成26年度 実行内容	1-2-1-1 職員定員適正化計画の見直し、管理の実施と連動し業務量検証を行い、業務平準化の調査及び検証を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	支所2課体制へ移行した。 支所で行っている業務について業務整理等の調査依頼し、当該課同士で調整、協議を図ってもらった。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	すべての業務量調査までは至っていない、業務量の平準化に至らなかった。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	H29.4月の組織再編に向け、業務量の把握及び平準化の検証の手法を検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	支所 2課体制

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	支所 2課体制	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	支所2課体制へ移行した。 支所で行っている業務について業務整理等の調査依頼し、当該課同士で調整、協議を 図ってもらったが、業務量調査まで至っていない。(中間状況と同じ)			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	事務事業を対象とした行政評価制度導入による的確な事業コストの算出には業務量調査が欠かせないため行政評価制度導入に合わせて調査を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	2			
取組項目 (コード)	1-2-1-1	職員定員適正化計画の見直し、管理の実施		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	平成25年3月 後期計画策定 平成25年度 業務量検証 後期計画期間年次別目標数 H25.4.1 807人 H26.4.1 797人 H27.4.1 767人 H28.4.1 748人 H29.4.1 733人			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施	実施・業務量調査		
目標値	141,987千円	74,730千円	224,190千円	141,987千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施・業務量調査	目標値	74,730千円	
平成26年度 実行内容	業務量調査及び検証の実施 「1-1-1-1 組織機構の再編(課・室・係の統廃合等)」と連動した取り組みを行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年4月1日現在 目標値797人 実績値791人 退職者人件費 338,965千円 新採用職員人件費 94,334千円 業務量調査については、1-1-1-1と同様			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	目標値を大幅に達成したが、業務量調査にまでは至っていない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	1-1-1-1と連動し取り組む。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	244,631千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	244,631千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年4月1日現在 目標値797人 実績値791人 退職者人件費 338,965千円 新採用職員人件費 94,334千円 業務量調査については、1-1-1-1と同様			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	目標値を大幅に達成したが、業務量調査にまでは至っていない。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	事務事業を対象とした行政評価制度導入による的確な事業コストの算出には業務量調査が欠かせないため行政評価制度導入に合わせて調査を行う。(1-1-1-1と連動)			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	3			
取組項目 (コード)	1-2-1-2	定員管理状況の公表		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	各年度の定員管理状況をホームページ等で公表する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	各年度同様にホームページにて公表し、市の定員管理状況の透明性を図る。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	引き続きホームページにて公表を行った。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	定員管理を行う効果等の公表を行っていないことから定員管理の必要性が浸透していないところがある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	定員管理による人件費の抑制の効果も合せたもので行えるように検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	定員管理によるその効果の公表まで至っていないが、引き続きホームページにて公表を行っている。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	定員管理の効果の公表までいたっていないため、ただ市民には単に職員の減少しか捉えられていない。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続きホームページにて公表するとともに定員管理の効果の公表について検討する。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	4			
取組項目 (コード)	1-2-1-3	職員数・職員給与の検証		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	定員適正化計画と実人員数との比較・検討を行うとともに、引き続き職員給与の適正化に努める。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	807人	797人	767人	748人

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	797人
平成26年度 実行内容	引き続き職員給与の適正化に努める。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	昨年度と同様に適正化に努めている。 平成26年4月1日現在 ラスパイレス指数 92.4			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	同様に適正化に努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	791人

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	791人	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	昨年度と同様に適正化に努めている。 平成26年4月1日現在 ラスパイレス指数 92.4(中間状況と同じ)			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続き適正化に努める。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	5			
取組項目 (コード)	1-2-1-4	窓口業務の見直し		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	正規職員の削減に伴う窓口業務の委託・臨時職員の活用の検討をする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	検討・実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討・実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	引き続き一部窓口業務は臨時職員を活用する。 業務量検証結果による活用拡大、委託について検討する。 また、委託とした場合についての諸問題の調整の対応についても検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	引き続き一部窓口業務は臨時職員を活用しているが、委託等の具体的検討を行っていない。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	委託とした場合のメリット、デメリット、委託の仕様等を検証する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き一部窓口業務は臨時職員を活用する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	引き続き一部窓口業務は臨時職員を活用しているが委託等の具体的検討までは至っていない。(中間状況と同じ)			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	委託とした場合のメリット、デメリット、委託の仕様等を検証する必要がある。(中間状況と同じ)			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続き一部窓口業務は臨時職員を活用するとともに業務委託の検討も行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	6			
取組項目 (コード)	1-2-2-1	再任用制度の導入・運用		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	再任用制度を導入し、非常勤の嘱託員等の抑制に努め、併せて市民サービスの充実を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査・計画	実施		
目標値		3人	5人	5人

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	3人
平成26年度 実行内容	制度に基づき運用を実施し、対象者の雇用と年金の接続の対応と希望者のスキルを活かした行政サービスの向上及び業務の効率化を図る。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	3名の再任用を行った。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	次年度の希望者の調査等を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	3人

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	3人	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年度は、3名の再任用を行った。次年度の希望者の調査を行った。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続き、再任用職員のノウハウを行政サービスの向上に活かしながら、再任用職員のノウハウを現職員のスキル向上にも繋げる。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	7			
取組項目 (コード)	1-3-1-1	職場の状況把握及び改善		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	組織全体で制度の徹底を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	1-2-1-1 職員定員適正化計画の見直し、管理の実施と連動し業務量調査検証を行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	業務量調査検証までは至っていないが現在支所で行っている業務について業務整理等の調査依頼し、当該課同士で調整、協議を図ってもらった。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	業務量の調査までは至ってなく、業務量の平準化に至らなかった。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	業務量の把握及び平準化の検証の手法を検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	業務量調査検証までは至っていないが現在支所で行っている業務について業務整理等の調査依頼し、当該課同士で調整、協議を図ってもらった。(中間状況と同じ)			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	業務量の調査までは至っていない、業務量の平準化に至らなかった。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	事務事業を対象とした行政評価制度導入による的確な事業コストの算出には業務量調査が欠かせないため行政評価制度導入に合わせて調査を行う。(1-1-1-1と連動)			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	8			
取組項目 (コード)	1-3-1-2	時差出勤制度等の活用と時間外勤務の縮減		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	振替、代休、時差出勤制度により職員の健康管理と時間外勤務の縮減(前年比5%)を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施・検討			
目標値	7,579千円	7,579千円	7,120千円	6,844千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施・検討	目標値	7,579千円	
平成26年度 実行内容	引き続き制度の徹底を図り、時間外勤務の抑制に努める。 (平成26年度からは、当初予算編成時において前年比 5%を目標とする。)			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	(全会計:企業会計も含む) H26当初予算額:133,554千円 H27当初予算要求額:143,114千円 前年比:9,560千円 要因:新潟県議選に伴う増加			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	突発、短期事業以外での業務でも時間外が発生している。 未だに振替・代休制度を理解していない職員が見られるので、周知徹底を図ると共に業務整理、検証を行う必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	抜本的な解決のために業務量検証の手法を検討する。 (1-1-1-1と連動)			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	9,560千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	9,189千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	(全会計:企業会計も含む) H26当初予算額:133,554千円 H27当初予算額:142,743千円 前年比:9,189千円 要因:新潟県議選に伴う増加			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	未だに振替・代休制度を理解していない職員が見られるので、周知徹底を図る。また、業務量の平準化に至っていないことにより時期によるもの以外の業務量の格差が発生している。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度 実行内容	事務事業を対象とした行政評価制度導入による的確な事業コストの算出には業務量調査が欠かせないため行政評価制度導入に合わせて調査を行う。(1-1-1-1と連動)			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	9			
取組項目 (コード)	1-4-1-1	職員研修(階層別、専門別)の受講		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	人材育成基本方針(平成23年3月策定)に基づく受講を行い、専門別研修の積極的な活用を進める。 また、職員自らが研鑽して自主研修を行うなど、独自の研修実施についての検討を要する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施・検討	実施		検討
目標値	10人	10人	10人	10人

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	10人
平成26年度 実行内容	引き続き新潟県市町村総合事務組合が主催する研修の計画的受講及び組織独自の研修を実施する。 研修内容を組織全体に共有できるような手法を検討する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	階層別研修受講者数 71名、専門別研修受講者数 31名 その他独自研修として若手職員を対象とした「民間経営に学ぶ」、係長級を対象とした「行政評価」を実施する予定。 独自研修については、テキストを掲示板等で共有する。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き新潟県市町村総合事務組合が主催する研修の計画的受講及び組織独自の研修を実施する。 研修内容を組織全体に共有できるような手法を検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	102人

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	338人	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	階層別研修受講者数 71名、専門別研修受講者数 31名 その他独自研修 若手職員を対象とした「民間経営に学ぶ」受講者数140名 係長級を対象とした「行政評価制度」受講者数96名 独自研修については、テキストを掲示板等で共有した。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続き階層別、専門別研修及び独自研修を継続するとともに提案型による研修視察等を新たに行い、その研修結果を共有し、職員全体のスキル、業務改善を図る。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	10			
取組項目 (コード)	1-4-1-2	本庁と支所、支所間の人事異動の積極的实施		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	人材育成基本方針(平成23年3月策定)に基づき、積極的な人事異動を実施する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	引き続き本庁・支所間の積極的な人事異動を行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	引き続き本庁・支所間の積極的な人事異動を行った。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	引き続き本庁・支所間の積極的な人事異動を行った。(中間状況と同じ)			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続き本庁・支所間の積極的な人事異動を行う。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	11			
取組項目 (コード)	1-4-2-1	人事考課制度の試行、運用		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	運用に向けた試行及び検証を実施する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	制度の見直しを行いながら制度設計し、その制度に基づき試行を行う。職員熟練度の向上を図る。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	昨年度の試行を基に見直しを行い、試行を行っている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	試行を行っているが職員の熟練度に差がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	試行にて見直しを行いながら平成28年度までに本格的運用を目指す。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	昨年度に引き続き試行を行い、職員の熟練度向上を図った。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	試行にて見直しを行いながら平成28年度までに本格的運用を目指す。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	12			
取組項目 (コード)	2-1-1-1	補助金事業の内容、金額、効果等の公表		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	これまでの公表を引き続き行っていくとともに、効果の検証により補助金の必要性和合わせた内容として公表を行っていく。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施・検討			
目標値	5件	10件	10件	10件

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施・検討	目標値	10件
平成26年度 実行内容	引き続き補助金交付予定及び交付実績について公表を行う。 2-3-1-3「効果を検証する制度の構築」と連動した取り組みを行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26.6.15号市報お知らせ版挟み込みで平成26年度補助金交付予定一覧表を全戸配布及びホームページで公表 H26.11.25 平成25年度補助金交付実績一覧表をホームページにて公表した。 効果を検証する精度の構築までは至っていない。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	効果の検証するにあたり既存補助金の指標設定が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	次年度の行政評価制度本格的運用に合わせて各補助金に指標設定を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	0件

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	0件	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	H26.6.15号市報お知らせ版挟み込みで平成26年度補助金交付予定一覧表を全戸配布及びホームページで公表 H26.11.25 平成25年度補助金交付実績一覧表をホームページにて公表した。 効果を検証する精度の構築までは至っていない。(中間状況と同じ)			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	次年度の行政評価制度本格的運用に合わせて各補助金に指標設定を行う。 (2-3-1-3と連動)			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	13			
取組項目 (コード)	2-1-1-2	財政等に関する情報の公表項目の拡大		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	補正予算書等のホームページ公開、その他財政情報の公開項目を拡大する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	計画	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	引き続き公開項目の拡大を図るとともに、財政用語集の掲載について検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	当初予算書や補正予算書、決算書財政健全化判断比率などの財政状況等について公表した。前年度から決算書データの公表を追加している。 また、それぞれの資料の中で財政用語の説明を加えた。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値		
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>当初予算書や補正予算書、決算書財政健全化判断比率などの財政状況等について公表した。前年度から決算書データの公表を追加している。 また、それぞれの資料の中で財政用語の説明を加えた。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > < 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	<p>財政情報の公開を引き続き実施するとともに、その他情報の公開項目の拡大を検討する。</p>			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	14			
取組項目 (コード)	2-2-1-1	口座振替制度の啓発・促進		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	収納確保の方策として、口座振替による納税を推進する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	71%	72%	73%	74%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	72%
平成26年度 実行内容	今後も、なるべく費用をかけずに口座振替の周知と啓発を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	市報やホームページへの掲載、訪問時による勧奨。税目により当初納税通知書発送時に口座振替依頼の文書を同封した。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き費用をかけずに口座振替登録を勧奨していく。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	66%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	65.38%	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>市報やホームページ、市役所会計課窓口、訪問時に口座振替の周知と啓発を行った。</p> <p>市税等の当初納税通知書に市税(料)納税カレンダーを同封することで納期限、口座振替日の周知をした。</p> <p>保険税賦課担当と協力し、介護保険料および後期高齢者医療保険料が賦課された対象者へ口座振替登録依頼の文書を発送した。</p>			
最終評価	C 計画を下回る(悪い)			
問題点・課題点	昨年度より、0.7%減少したが、継続周知を図りたい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	今後も、なるべく費用をかけずに口座振替の周知と啓発を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	15			
取組項目 (コード)	2-2-1-2	市県民税の特別徴収の促進		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	特別徴収事業者の増加のため、説明会や広報等により周知する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	43%	64%	64%	65%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	64%
平成26年度 実行内容	特徴していない事業所にさらに特徴するよう依頼していく。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成25年度の特別徴収実施事業者数は1,920事業所だったが、平成26年度は2,577事業所に増加した。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	今後も特徴未実施事業所に対し、特徴するよう働きかけていく。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	62.40%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	62.40%	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	前年度から特徴未実施事業所に対し、勸奨文書を送付した。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	目標よりも1.6%下回った。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	今後も特徴未実施事業所に対して特徴するよう働きかけていく。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	16			
取組項目 (コード)	2-2-1-3	市税等のコンビニ収納等の検討・実施		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	納税者の利便性を考慮し、納付の機会の拡大を図るためコンビニ収納実施向け再検討を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		準備	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	年度途中でのシステム変更となるため、関係課で問題点などを協議していく。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	未実施。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	今後のシステムの在り方は、システム管理委員会で平成27年度から検討することになるので、その後に検討していきたい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	平成29年度導入に向けて、平成27年度から検討していきたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	未実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	今後のシステムの在り方は、システム管理委員会で平成27年度から検討することになるので、その後に検討していきたい。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	現システムが平成29年6月でリース満了となり、年度途中でのシステム変更となるため、賦課担当、収納担当での十分な検証が必要となる。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	平成29年度導入に向けて、平成27年度から検討していきたい。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	17			
取組項目 (コード)	2-2-1-4	市税における新潟県地方税徴収機構の活用		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	県と市町村が連携した徴収機構を活用し、収納確保に努める。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施		未定	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	市単独では困難な事案について、県と市町村が共同で滞納整理を行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年度の引継ぎ事案は66件(継続24件、新規42件)。9月末現在の収納率は17.87%(継続11.01%、新規23.99%)			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	新潟県徴収機構は、平成27年度から平成29年度までは引続き継続するが、平成30年度以降の継続は未定である。平成27年度からは、県税部職員の関与も逡減されることから、困難案件に対する徴収技術の定着が求められる。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	徴収技術習得のため、各種研修会への積極参加。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年度の引継ぎ案件は66件(継続42件、新規24件)。1月末現在の収納率は26.58%(継続33.21%、新規19.08%)となった。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	平成30年度以降の機構継続の是非、廃止した場合の県と市町村の連携のあり方等については、平成29年度までに検討することになっている。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>平成27年度から平成29年度まで引き続き継続実施</p> <p>< 理由 ></p> <p>新潟県地方税徴収機構は平成29年度まで引き続き継続することになったことによる</p>			
平成27年度実行内容	市単独では困難な事案について、新潟県と市町村が共同で滞納整理を行う。ただし、平成27年度からは、県税部職員の関与も逡減されることから(進行管理や助言等が主)、市職員が主体的に取り組む。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 計画変更案についても同様			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	18			
取組項目 (コード)	2-2-1-5	収納推進員の活用		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	訪問徴収等の対応業務を拡大し、収納確保に努める。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	収納の確保を図るため4名体制で以下のことを行う 定期的な集金と滞納繰越者への適時の訪問 現年滞納者に対するの文書催告と臨戸訪問 未納者を防ぐため、文書及び訪問での口座振替の推進			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	収納の確保を図るため4名体制で以下のことを行っている 定期的な集金と滞納繰越者への適時の訪問 現年滞納者に対するの文書催告(定期4回)と臨戸訪問 未納者を防ぐため、訪問での口座振替の推進			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き収納率の確保を図るため実施する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	収納の確保を図るため4名体制で以下のことを行っている 定期的な集金と滞納繰越者への適時の訪問 現年滞納者に対しての文書催告(定期4回)と臨戸訪問 未納者を防ぐため、訪問での口座振替の推進			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	収納の確保を図るため4名体制で以下のことを行う 定期的な集金と滞納繰越者への適時の訪問 現年滞納者に対しての文書催告と臨戸訪問 未納者を防ぐため、文書及び訪問での口座振替の推進			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	19			
取組項目 (コード)	2-2-1-6	市税現年度分収納率の数値目標		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	数値目標設定			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	98.00%	98.30%	98.50%	99.00%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	98.30%
平成26年度 実行内容	村上市税等収納対策方針に基づき、催告書の発送、収納推進員等による臨戸訪問により、新規滞納者への早期対応を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	9月30日現在の市税現年課税分の徴収率は67.77% (前年度67.87%) で前年度比0.11%			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	徴収率の悪い税目等に対して分析が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	徴収率の悪い税目等に対する高額滞納者の状況把握。一斉催告書の発送、臨戸訪問による早期対応を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	98.40%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	98.77%	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	新たな滞納者を増やさないという方針のもと、未納のお知らせや催告書の発送、収納推進員等による臨戸訪問で早期対応を進めた。再三の催告に応じない者には差押を実施した。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	市外の方や日中、仕事で納付できないという方からは、コンビニ納付についての照会がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	村上市税等収納対策方針に基づき、催告書の発送、収納推進員等による臨戸訪問により、新規滞納者への早期対応を行う。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	20			
取組項目 (コード)	2-2-1-7	市税滞納繰越分収納率の数値目標		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	数値目標設定			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	17.00%	18.00%	19.00%	20.00%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	18.00%
平成26年度 実行内容	村上市税等収納対策方針に基づき、適時催告と納税相談、財産調査の実施、差押えにより滞納整理を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	9月30日現在の市税現年課税分の徴収率は11.86%(前年度10.54%)で前年度比1.32%			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	納税折衝や財産調査等により、生活実態を把握し、滞納整理を実施。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	21.30%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	20.72%	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	納税の催告書を適時に発送した。定期的な財産調査は、6回。差押件数は、2月末現在で286件となった。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	市外の方や日中、仕事で納付できないという方からは、コンビニについての納付照会がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	村上市税等収納対策方針に基づき、適時催告と納税相談、財産調査の実施、差押えにより滞納整理を行う。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	21			
取組項目 (コード)	2-2-1-8	国保税現年度分収納率の数値目標		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	数値目標設定			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	92.50%	92.60%	92.80%	93.00%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	92.60%
平成26年度 実行内容	新たな滞納者を出さないため現年分の未納者に対しては、未納のお知らせ、催告書の発送及び臨戸訪問を行い、早期対応に取り組んでいる。 未納者を防ぐため、文書で口座振替の推進を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	新たな滞納者を出さないため現年分の未納者に対しては、未納のお知らせ、催告書の発送(定期1回)及び臨戸訪問を行い、早期対応に取り組んでいる。 未納者を防ぐため、納税通知書発送時など文書で口座振替の推進を行っている。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き収納率の確保を図るため実施する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	93.10%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	93.77%	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	新たな滞納者を出さないため現年分の未納者に対しては、未納のお知らせ、催告書の発送(定期1回)及び臨戸訪問を行い、早期対応に取り組んでいる。 未納者を防ぐため、納税通知書発送時など文書で口座振替の推進を行っている。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	県内市町村では収納率が低位にある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	新たな滞納者を出さないため現年分の未納者に対しては、未納のお知らせ、催告書の発送及び臨戸訪問を行い、早期対応に取り組む。 未納者を防ぐため、文章で口座振替の推進を行う。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	22			
取組項目 (コード)	2-2-1-9	国保税滞納繰越分収納率の数値目標		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	数値目標設定			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	20.00%	20.00%	20.00%	20.00%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	20.00%
平成26年度 実行内容	繰越滞納者に対しては、未納のお知らせ、催告書、差押予告等の発送を行う。 また、滞納額の増加防止、早期完納を目指し、納税交渉を実施したほか、適時に給与調査や財産調査を行い滞納処分を実施する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	繰越滞納者に対しては、未納のお知らせ、催告書、差押予告等の発送を随時行っている。 また、滞納額の増加防止、早期完納を目指し、納税交渉を実施しているほか、適時に給与調査や財産調査を行い滞納処分を実施している。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き収納率の確保を図るため実施する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	26.20%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	25.87%	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	繰越滞納者に対しては、未納のお知らせ、催告書、差押予告等の発送を随時行っている。 また、滞納額の増加防止、早期完納を目指し、納税交渉を実施しているほか、適時に給与調査や財産調査を行い滞納処分を実施している。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	繰越滞納者に対しては、未納のお知らせ、催告書、差押予告等の発送を行う。 また、滞納額の増加防止、早期完納を目指し、納税交渉を実施したほか、適時に給与調査や財産調査を行い滞納処分を実施する。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	23			
取組項目 (コード)	2-2-2-1	使用料、手数料算出基準の策定、見直し		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	法定以外の該当となる使用料・手数料を調べ、適正な受益者負担の確保が図られるよう算出基準を策定し、消費税改正に併せて改定を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		調査・検討	実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	調査・検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	<p>コスト・性質に応じた受益者負担割合の方針の策定する。 必要に応じて検討部会を設置し、方針に応じた基準を策定する。 基準を基に個別の使用料、手数料の検討表を作成し担当課への調査を図る。 個別検討表を基に個別使用料、手数料を検討する。 行財政改革推進本部会議にて最終協議し、市民へパブリックコメント制度にて市民から意見をいただく。 条例改正及び指定管理者との調整を行う。</p>			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	担当者による見直しに向けた協議を実施している。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	消費税の改正が延期される可能性があることから、改正に合わせて行うことが必要である。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	消費税の改正の動向に注視しながら取り組みを進める。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	担当者による見直しに向けた協議を実施した。 次期消費税改正が平成29年4月に延期されたことにより再度協議を行う方向で進めることとなった。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 > 消費税改正が平成29年4月に延期されたことにより、見直し時期の延期			
平成27年度実行内容	平成29年4月に向けた見直しの検討を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 計画変更案のとおり着実な見直しを検討すること。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	24			
取組項目 (コード)	2-2-2-2	減免取扱いの適正化の検討		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	算出基準の策定と併せ、受益者負担の適正化となるよう減免措置の基準を策定する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		検討	実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	<p>基準統一のための個別減免基準の調査。 著差結果をまとめ、減免等の方針の策定する。 必要に応じて検討部会を設置し、方針に応じた基準を策定する。 行財政改革推進本部会議にて最終協議し、パブリックコメントにて市民から意見を いただく。</p>			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	2-2-2-1「使用料、手数料算出基準の策定、見直し」と同様			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	2-2-2-1「使用料、手数料算出基準の策定、見直し」と同様			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	2-2-2-1「使用料、手数料算出基準の策定、見直し」と同様			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	2-2-2-1「使用料、手数料算出基準の策定、見直し」と同様			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 > 2-2-2-1「使用料、手数料算出基準の策定、見直し」と同様			
平成27年度実行内容	平成29年4月使用料、手数料の見直しと合わせて策定する。(2-2-2-1と連動)			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 計画変更案のとおり着実に策定を行うこと。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	25			
取組項目 (コード)	2-2-2-3	ごみ指定袋による負担の確保		
実施課	環境課	関係課	-	
実施内容	ごみ処理費に見合う金額を設定し、利用者負担を検討する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査	検討	実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	引き続き調査及び検討を行い、消費税率改定も視野に入れ検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	市全体の各種手数料改定時に合わせ検討。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	調査	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	調査	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	市全体の各種手数料改定時に合わせ検討。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続き調査及び検討を行い、市全体の各種手数料改定時に合わせ検討する。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり消費税改正に合わせた検討を行うこと。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	26			
取組項目 (コード)	2-2-2-5	水道料金の統一		
実施課	水道局	関係課	-	
実施内容	合併協定事項である統一料金への移行を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	計画	実施		
目標値		統一 (段階的調整あり)		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	統一 (段階的調整あり)
平成26年度 実行内容	基本料金統一の初年度であるため、システム不具合、人為的ミスによる料金計算誤り等が起きないように、円滑に料金移行事務を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26実行内容とおり実行した。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	システム不具合、人為的ミスによる料金計算誤り等もなく、円滑に料金移行事務を行うことができた。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	計画	実施	計画	
目標値		基本料金統一 (段階的調整あり)		
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 平成26年度に基本料金を統一し、従量料金については平成30年度までに検討を行う。 < 理由 > 基本料金と従量料金を同時に統一することは、市民生活への影響が大きくなることが懸念されるため。</p>			
平成27年度 実行内容	従量料金の統一に向け、検討委員会の設置の準備を行う。 委員の構成について検討する。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 計画変更案のとおり従量料金の改定の検討を行うこと。			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	27			
取組項目 (コード)	2-2-2-6	下水道料金の統一		
実施課	下水道課	関係課		
実施内容	合併協定事項である統一料金への移行を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	準備	実施		
目標値		統一 (段階的調整あり)		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	統一 (段階的調整あり)
平成26年度 実行内容	基本料金統一の初年度であるため、システム不具合、人為的ミスによる料金計算誤り等が起きないように、円滑に料金移行事務を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26年度実行内容のとおり実施した。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点				
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)				
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	システムの不具合、人為的ミスによる料金計算誤りもなく円滑に料金移行事務を行うことができた。		
最終評価	B 計画どおり		
問題点・課題点	-		
取組内容など計画の変更(案)			
	H25	H26	H27
年次別取組	計画	実施	計画
目標値		統一 (段階的調整あり)	
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 平成26年度に基本料金を統一し、従量料金については平成30年度までに検討を行う。</p> <p>< 理由 > 基本料金と従量料金を同時に統一する事は、市民の生活への影響が大きくなることが懸念されるため、基本料金の統一後に従量料金の統一を行う事としたため。</p>		
平成27年度 実行内容	従量料金の統一に向け、料金検討委員会等の附属機関設置の準備。 (委員構成等)		
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)
意見	実施課評価のとおり 計画変更案のとおり従量料金の改定の検討を行うこと。		
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	実施課案とする
意見	行革担当意見と同じ		

整理番号	28			
取組項目 (コード)	2-2-3-1	新規広告媒体への広告掲載		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	歳入確保のため、他自治体での先行事例と参考に、積極的な取り組みを行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		検討	実施	
目標値			250千円	500千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	県内他市における実施状況の把握			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	県内他市における実施状況を調査中			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	他市で行っている媒体が、即本市でも採用できるものばかりでなく、十分な調査・検討が必要			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	実施するまでの事務処理等の照会			
中間における見込み	取組進捗見込	調査	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	調査	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	県内他市における実施状況を調査中			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	他市で行っている媒体でも、本市では実効性が乏しいものもあり今後とも検討が必要			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		検討		実施
目標値				250千円
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 平成27年度は引き続き検討を行う</p> <p>< 理由 > 実効性のある案件がないことから引き続き調査・検討を行う</p>			
平成27年度実行内容	先進地の事例を参考に引き続き調査・検討を続ける。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 近隣の市町村と同様に自主財源の確保に努めていただきたい。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	29			
取組項目 (コード)	2-2-3-2	未利用市有地を広告看板設置に貸出し		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	貸し出し適地の選定、屋外広告物の内容や表現などの要綱基準等の作成を行い、ホームページ等での募集を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査		検討・実施	実施
目標値				6千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	調査	目標値	-	
平成26年度 実行内容	適地の調査を行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	市街地に近い、国道など主要幹線に隣接する市有地の調査を実施した。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	対象となりえる適地は荒川地区1件であったが、交差点角地にあり、看板の形状等によって安全確認に支障が生じる恐れがあると判断される。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	調査完了			
中間における見込み	取組進捗見込	完了	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	調査	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	適地の調査を完了した。 幹線道路沿いに適地は無かった。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	-			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	30			
取組項目 (コード)	2-2-3-3	ネーミングライツ導入の検討		
実施課	総務課	関係課	関係各課	
実施内容	導入に対する調査・検討をする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査・検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	調査・検討	目標値	-
平成26年度 実行内容	導入できる施設、事業について調査を行い導入の可否を検討する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	調査を行っていない。			
中間評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	市の収入増のため取り組むものであるが、募集に見合う応募があるか不透明である。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	導入できる施設、事業等調査を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	調査	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	未調査	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	調査を行っていない。			
最終評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
問題点・課題点	市の収入増のため取り組むものであるが、募集に見合う応募があるか不透明である。(中間状況と同じ)			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			調査・検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> 調査時期の変更 <理由> 調査を実施するため			
平成27年度実行内容	導入できる施設、事業等調査を行う。			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 計画変更案のとおり検討を行うこと。			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	31-1			
取組項目 (コード)	2-2-3-4-1 [2-2-3-1重複]	広告収入の確保(封筒)		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	県内他市における実施状況の把握			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			250千円	500千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	2-2-3-1と同様			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	県内他市における実施状況を調査中			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	県内他市において、封筒による公告は、ほぼ行われていない。印刷代金との兼ね合い等、十分な調査・検討が必要			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	実施市への事務処理等の照会			
中間における見込み	取組進捗見込	調査	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	調査	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	県内他市における実施状況を調査中			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	県内他市において、封筒による公告はほぼ行われていない。印刷代金との兼ね合い等、十分な調査・検討が必要			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	実施
目標値				250千円
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 平成27年度は引き続き検討を行う</p> <p>< 理由 > 実効性について、さらに検討を行う必要がある</p>			
平成27年度実行内容	先進地の事例を参考に引き続き調査・検討を続ける。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 近隣市町村と同様に自主財源の確保に努めていただきたい。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	31-2			
取組項目 (コード)	2-2-3-4-2	広告収入の確保(情報告知端末)		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	数値目標設定			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	52千円	52千円	52千円	52千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	52千円
平成26年度 実行内容	平成26年度当初予算においては10千円を計上		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	9月末現在で5件、7000円の実績である。			
中間評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	以前は、聴く側(告知端末利用者)の都合に関係なく音声を流して広告していたが、この方法に対して苦情(営利目的の一方的な情報伝達に対するの不快感)があったため、現在は、商業的な広告は文字情報のみとし、情報入手は利用者の選択に任せたことにより、単なる商業的な広告が激減した。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	今年度は、当初予算計上程度の収入実績になりそうだが、今後、情報提供側と情報入手側双方のことを考えたうえで、広告収入を増やすことが可能かどうか、という視点での検討を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	11千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	12千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	中間進捗・評価で記載したように、目標値を設定した時点と状況が変わったこともあり、目標値には遠く及ばない状況である。状況を改善する具体案も今のところ無い状況。			
最終評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
問題点・課題点	中間進捗・評価で記載したとおりの、問題点・課題点が存在している。また、単価も500円、1,000円と安いため、目標値を達成するにはかなりの件数が必要であり、実績を上げる方法だけでなく、計画の見直しも含めた検討が必要となっている。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施		実施・検討	
目標値	52千円	52千円	52千円	52千円
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 現況を考慮し、広告収入を増やすことが可能かどうか、計画を見直す必要性の有無も含めて検討を行う。</p> <p>< 理由 > 平成26年度中間進捗・評価で記載したとおり、実績値を上げるには不都合な状況変化があった。</p>			
平成27年度実行内容	現状の対応は残しつつ、本計画における取り組み内容の再検討。			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 平成27年度の検討において目標値を再設定すること。			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	31-3			
取組項目 (コード)	2-2-3-4-3	広告収入の確保(市報)		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	数値目標設定			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	644千円	644千円	644千円	644千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	644千円
平成26年度 実行内容	広告募集要項を改正し、掲載数の増加に向けた取り組みを行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	10月末現在で、384,000円の実績である。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	単発広告の募集期間やメッセージ広告等の検討。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	今年度中に単発広告を募集できるよう要項を改正し、次年度から施行する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	384千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	429千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	広告募集要項を改正し、単発広告の掲載を可能にした。有料ゴミカレンダーの募集時に合わせて市報の募集チラシを配布した。ホームページバナー広告募集と合わせて企業を回った。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	平成24年度 294千円 平成25年度 432千円 平成26年度 446千円と推移しているが、平成24年度に申し込みの6社中2社が次年度掲載申し込み、平成25年度に新規申し込みの4社中次年度掲載申し込み1社と、市報の広告効果に魅力がないと思われる。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	企業等へ積極的な営業活動をする。魅力ある市報づくりを目指す。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	31-4			
取組項目 (コード)	2-2-3-4-4	広告収入の確保(ホームページ)		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	数値目標設定			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値		180千円	300千円	420千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	180千円
平成26年度 実行内容	ホームページ等で広告を募集し、多くのバナーを掲載できるよう積極的に取り組む。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	10月末現在で、5枠の広告獲得。			
中間評価	A 計画を上回る(良い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	バナー広告の周知が難しい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	定期的に営業を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	275千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	275千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	6枠の広告を獲得。企業に出向いての営業活動を行った。商工観光課で発行する企業ニュースに募集広告を掲載した。有料ゴミカレンダー申込企業に募集チラシを配布した。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	定期的に企業に出向き営業活動を行う。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	担当課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	31-5			
取組項目 (コード)	2-2-3-4-5	広告収入の確保(ごみカレンダー)		
実施課	環境課	関係課	-	
実施内容	数値目標設定			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	336千円	336千円	336千円	336千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	336千円
平成26年度 実行内容	平成21年度から実施済み、引き続き実施。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	村上@20,000円×8枠=160,000円 荒川@7,000円×8枠=56,000円 神林@5,000円×8枠=40,000円 朝日@5,000円×8枠=40,000円 山北@5,000円×8枠=40,000円 計 336,000円			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	336千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	336千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成21年度から実施 村上@20,000円×8枠=160,000円 荒川@ 7,000円×8枠=56,000円 神林@ 5,000円×8枠=40,000円 朝日@ 5,000円×8枠=40,000円 山北@ 5,000円×8枠=40,000円 計 336,000円			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	特になし			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	平成21年度から実施済み、引き続き実施。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	担当課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	32			
取組項目 (コード)	2-2-4-1	公有財産の取扱い方針・基準の策定		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	財産台帳を整理し、公有財産の「取扱い方針」と「処分に係る資産の選定と単価設定の基準」の策定をする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		策定		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	策定	目標値	-	
平成26年度 実行内容	財産台帳の更正作業を完了させ、公有財産の利活用に向けた方針等を策定する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	財産台帳の更正作業を完了した。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	地方公会計の整備や公共施設等総合管理計画の策定が求められており、その中で利活用の方針を検討すべきと考える。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	処分や利活用が可能財産については個別に検討を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	財産台帳の更正作業を完了し、処分や利活用が可能財産については個別に検討を行い対処した。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組			検討	
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 個別に処分、利活用の検討を行う。</p> <p>< 理由 > 地方公会計の整備や公共施設等総合管理計画の策定が求められており、その中で利活用の方針を検討すべきと考える。</p>			
平成27年度 実行内容	個別に検討			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	33			
取組項目 (コード)	2-2-4-2	未利用財産の貸付の実施		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	現在、借受希望のある資産は継続的に貸付を行い、新たな用途による貸付が期待できる財産は公表の上貸付の啓発をする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	31,000千円	31,000千円	31,000千円	31,000千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	31,000千円
平成26年度 実行内容	既貸付物件の継続および新規貸付を行い収入の確保を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	9月末時点調定額23,175千円			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き収入の確保に努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	31,728千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年度収入 31,728千円			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	引き続き収入の確保に努める。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	既貸付物件の継続および新規貸付を行い収入の確保を行う。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	34			
取組項目 (コード)	2-2-4-3	市営坂町住宅敷地内の遊休地の売却		
実施課	都市整備課	関係課	-	
実施内容	敷地の形状、残っている住宅の状況、道路との接続等を検討の上、利用可能な部分から普通財産として売却処分する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査	検討	実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	現在入居中の住宅を残した状態での切り売りについての検討。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	検討を行ったが、入居中の住宅を残した状態での切り売りについては、まとまった面積も取れないため困難と思われる。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	検討を行ったが、入居中の住宅を残した状態での切り売りについては、まとまった面積も取れないため困難と思われる。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査	検討	-	-
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 平成27年度は「実施」となっているが、これを取りやめる。 < 理由 > 26年度に検討した結果、切り売りは困難とおもわれるため。</p>			
平成27年度実行内容	-			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	終了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	35			
取組項目 (コード)	2-2-5-1	調査報告書の有償頒布		
実施課	生涯学習課	関係課	-	
実施内容	山元遺跡発掘調査報告書【24年度】、春木山遺跡発掘調査報告書【25年度】、村上城跡石垣悉皆調査報告書【26年度】、村上城跡保存管理計画書【27年度】、無形民俗文化財調査報告書【27年度】を刊行予定。翌年度から一般に提供する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	67千円	67千円	67千円	67千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	67千円
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・HPによる周知。 ・各研究機関へのチラシの配布。 		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	12月1日現在で『山元遺跡』8冊(1,000円×8冊=8,000円)の実績。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	有償頒布を予定していた『春木山遺跡』報告書の刊行を平成26年度未刊行に変更したため、売り上げ額が減少。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続きHPによる周知を継続する(発掘調査の記録という性格上、購入する対象が限られることにより、周知方法/対象が限定されるため)。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	10千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	8千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	『山元遺跡』8冊(1,000円×8冊=8,000円)の実績。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	有償頒布を予定していた『春木山遺跡』報告書の刊行を平成26年度末刊行に変更したため、売り上げ額が減少。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	67千円	67千円	40千円	40千円
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 『山元遺跡報告書』@1,000円*5冊=5,000円、『春木山遺跡』@3,500円*10冊=35,000円、計40,000円/年 < 理由 > これまでの『山元遺跡』の有償頒布状況を考慮した見直し、および、新刊『春木山遺跡』の単価が正式に決定したため。</p>			
平成27年度実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・HPによる周知。 ・各研究機関へのチラシの配布。 ・各勉強会、研究会、講演会でのPR活動。 			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおりPRを行い変更した目標値到達に努めていただきたい。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	36			
取組項目 (コード)	2-2-6-1	国保税・介護保険料の12期払いの検討		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	4～6月は仮算定による暫定納付とし、7月の本算定賦課で税額調整を行うことにより、1期あたりの納付額負担を軽減を図る。 封入作業や納付時期など市税の納付全体のあり方について検討を行うことにし、その中で取組について検討する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		準備	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	・封入作業や納付時期、納付方法など市税全体の中で研究・協議を続ける。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	研究・協議中			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	国保は広域化が予定されており、その動向を注視する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	制度がどう改正されるか国県の動きを見ていく。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	・国保広域化については県の研究会ワーキングに参加して情報収集を行った。		
最終評価		B 計画どおり	
問題点・課題点	-		
取組内容など計画の変更(案)			
	H25	H26	H27
年次別取組			
目標値			
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >		
平成27年度 実行内容	・12期払いを実施している自治体へ、人員体制や処理方法など等実務的な面を視察		
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-
意見	実施課評価のとおり		
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-
意見	行革担当意見と同じ		

整理番号	37			
取組項目 (コード)	2-2-6-2	固定資産税の12期払いの検討		
実施課	税務課	関係課	-	
実施内容	年4期の納付による負担を毎月納付によって軽減を図る。 なお、口座振替の推進により経費節減も必要である。 封入作業や納付時期など市税の納付全体のあり方について検討を行うことにし、その中で取組について検討する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		準備	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	先進地の実施状況を参考に引き続き、検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成25年度より実施している新潟市に毎月納付による効果などの聞き取りを行った。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成25年度より実施している新潟市に毎月納付による効果などの聞き取りを行った。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > H28年度まで検討とする。</p> <p>< 理由 > 国保税の12期払い、コンビニ収納の導入時期など市税全体の納付のあり方や基幹系システムの更新時期などの動向を注視する必要があることからH28年度まで検討としたい。</p>			
平成27年度実行内容	・封入作業や納付時期、納付方法など市税全体の中で研究・協議を続ける。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 納付者の負担軽減のため前向きな検討をしていただきたい。			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	38			
取組項目 (コード)	2-2-7-1	水道水ボトルウォーターの製造販売による水道水需要の拡大		
実施課	水道局	関係課	-	
実施内容	水道水ボトルウォーターを製造し、普及啓発のためイベント等で配布、または販売し、水道水の「おいしさ」を広くPRし、水需要の拡大を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査	計画	実施	
目標値			5件	5件

【平成26年度実施計画】

年次取組	計画	目標値	-	
平成26年度 実行内容	ラベルのデザインの選定方法の検討及び水道水の搬入計画を作成する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	名称及びラベルデザイン選定等を観光協会等へ委託できないか等を検討している。また、どの地区の水源にするのか検討中である。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	どの地区の水源にするのかを確定させなければ、名称及びラベルデザインが決められないので、地区選定を早い段階で決定する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	今年度末までには、地区選定の方法を検討したい。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	上水道の水源は、三面川水系と荒川水系の二つがあり、どちらの水源にするのか検討中である。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	どちらの水系も村上を代表する河川であり、どちらか一方を選ぶのに大変苦慮している。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査	検討	計画	実施
目標値				5件
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 水源選定に時間を要しているため、取組年次を1年程度先送りする。</p> <p>< 理由 > ボトルウォーターとする水源の選定について、三面川水系及び荒川水系のどちらにするのかの検討に時間を要しているため。</p>			
平成27年度実行内容	水源を決定し、それに伴いラベルデザイン等を観光協会あるいは村上商工会議所等へ委託し、公募等により選定する。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	担当課評価のとおり水道水普及のためにも導入を図っていただきたい。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	39			
取組項目 (コード)	2-2-8-1	事務委託負担金の見直し		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	対象となる事務負担金の負担割合の見直しを行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	事務受託量・費用を調査して割合の基準を策定する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	定住自立圏構想による事業の実施と合わせて負担金の見直しを行うこととし、政策推進課と協議を行った。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	定住自立圏構想による事業の実施と合わせて負担金の見直しを行うこととし、政策推進課と協議を行った。		
最終評価		C 計画を下回る(悪い)	
問題点・課題点	-		
取組内容など計画の変更(案)			
	H 2 5	H 2 6	H 2 7
年次別取組			
目 標 値			
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >		
平成27年度 実行内容	事務受託量・費用を調査して割合の基準を策定する。		
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-
意 見	実施課評価のとおり		
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-
意 見	行革担当意見と同じ		

整理番号	40			
取組項目 (コード)	2-3-1-1	補助金の見直し		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	随時の見直しとともに、補助金等交付基準による「同一団体への交付は3年限度」に基づき、3年ごとにすべての補助金について見直しを行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			見直し
目標値	6,302千円	7,170千円	3,509千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	7,170千円
平成26年度 実行内容	補助金の今後の方針(第二次)において対象とした補助金の方針管理 市単独で行う補助金は、見直しの時期を明確にするため例外なく新設、改正時に3年以内の終期を設定し、要綱に明記する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	補助金今後の方針(第二次)において対象とした補助金 【廃止】 ・光ファイバ網整備事業補助金 9,900千円 ・伝統工芸品産業振興事業等開催補助金 400千円・中山 間地農業活性化事業補助金 1,000千円・村上牛振興事業補助金 50千円 【減額】 ・消費者協会事業補助金 20千円 【補助金から支給へ変更】 ・自転車通学ヘルメット購入費補助金 870千円・防犯用品購入費等補助金 170千円 【増額】 ・福祉人権関係活動補助金 20千円・スポーツ少年団活動費補助金 1,346千円 【新たな基準】 ・村上市景観形成助成金 3,000千円 昨年度に引き続き市単独で行う補助金については、終期設定を設定し、要綱に明記する。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	補助金今後の方針(第二次)において対象とした補助金の方針管理及び補助金新 設、改正時の終期設定を行う。 また、補助金交付基準を超える案件については適宜行財政改革本部会議にて協議を 行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	8,044千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	8,044千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	補助金今後の方針(第二次)において対象とした補助金 【廃止】 ・光ファイバ網整備事業補助金 9,900千円 ・伝統工芸品産業振興事業等開催補助金 400千円・中山間地農業活性化事業補助金 1,000千円・村上牛振興事業補助金 50千円 【減額】 ・消費者協会事業補助金 20千円 【補助金から支給へ変更】 ・自転車通学ヘルメット購入費補助金 870千円・防犯用品購入費等補助金 170千円 【増額】 ・福祉人権関係活動補助金 20千円・スポーツ少年団活動費補助金 1,346千円 【新たな基準】 ・村上市景観形成助成金 3,000千円 昨年度に引き続き市単独で行う補助金については、終期設定を設定し、要綱に明記した。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	補助金今後の方針(第二次)において対象とした補助金の方針管理及び補助金新設、改正時の終期設定を行う。 また、補助金交付基準を超える案件については適宜行財政改革本部会議にて協議を行う。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	41			
取組項目 (コード)	2-3-1-2	負担金の見直し		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	部会設置による検討を行い、全ての負担金について必要性を判断して見直しを行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		検討	実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-
平成26年度 実行内容	<p>法令等で定める義務的負担金以外の任意的負担金の調査 必要に応じて検討部会を設置し、方針に応じた基準を策定する。 基準を基に個別の検討表を作成し担当課への調査を図る。 個別検討表を基に個別に検討する。 行財政改革推進本部会議にて最終協議を行い、決定して関係機関等へ周知を図る。</p>		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	洗い出し作業中である。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	団体等への加入可否等の精査等まで至っていない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	洗い出しを早急に進め協議を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	調査	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	調査	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	洗い出しを作業を行なっている。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 行政評価制度を導入に合わせて負担金に指標を設定し、効果の検証を行う。</p> <p>< 理由 > 次年度の行政評価制度本格的運用に合せて負担金の効果を検証して見直しを行いたい。</p>			
平成27年度実行内容	次年度の行政評価制度本格的運用に合せて負担金に指標設定を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	42			
取組項目 (コード)	2-3-1-3	効果を検証する制度の構築		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	部会設置による検討を行い、検証制度の検討・構築を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		検討	実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	指標設定及び算出の方法の検討 個別補助金・負担金に指標設定 2-1-1-1「補助金事業の内容、金額、効果等」、2-3-1-1「補助金の見直し」、2-3-1-2「負担金の見直し」と連携し、公表、見直しを行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	2-1-1-1「補助金事業の内容、金額、効果等」、2-3-1-1「補助金の見直し」、2-3-1-2「負担金の見直し」と同様			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	効果の検証するにあたり既存補助金、負担金の指標設定が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	次年度の行政評価制度本格的運用に合わせて各補助金、負担金に指標設定を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	次年度の行政評価制度本格的運用に合わせて各補助金、負担金に指標設定を行うこととした。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 行政評価制度本格的運用に合わせて指標設定を行い、効果の検証を図る。</p> <p>< 理由 > 行政評価制度本格的運用に合わせて指標設定を行い、効果の検証を図る。</p>			
平成27年度実行内容	次年度の行政評価制度本格的運用に合わせて負担金に指標設定を行なう。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり 計画変更案のとおり効果を検証する制度を構築すること			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	43			
取組項目 (コード)	2-3-1-4	団体等への負担金等の適正化		
実施課	農林水産課	関係課	-	
実施内容	各支部への防除費の助成基準を公平となるよう明確化する。 また、ヘリ防除については運営基金として積み立てているが、自己所有のあり方について更新対策として検討する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	ヘリ防除体系についての検討と関係機関からの負担金を含めた全体の負担額の検討をする。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	無人ヘリ積立金については26年度の協議会総会において、今年度限りとすることを決定した。全体の負担額の検討は引き続き事業内容とともに見直していく。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	防除の有効性が高いため、事業を縮小することは困難である。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	事業の細部まで点検を行い、少しでも削除できる項目がないかを調査する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>・無人ヘリの積立は平成27年度からは実施しないこととした。その分、各関係機関からの負担金が減額される。</p> <p>・防除体系については、無人ヘリ防除ではなく個人防除で対応している集落もあり、農家の高齢化や担い手不足が進む中で無人ヘリ防除への移行も考える必要がある。そのため、無人ヘリ防除を実施していない集落に対して、今後の取組について意向調査を実施した。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	無人ヘリの機体の確保等の関係もあり、1年で解決できる問題ではないので計画性をもって進めていく必要がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	<p>・事業内容の点検を細部まで行い、事業費の縮小を図る。</p> <p>・防除体系について引き続き検討を行い、より有効な防除を推進していく。</p>			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	44			
取組項目 (コード)	2-3-2-1	特別職(三役)報酬の見直し		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	県内市及び類似団体との比較、検討による見直しを行う。 他市と同様、毎年度の見直しについて検討する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施・検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施・検討	目標値	-
平成26年度 実行内容	引き続き県内市等の状況を踏まえ検討する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	現行にて県内市等と比較し、適正と判断している。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	引き続き県内市等の状況を踏まえ検討する。(H27.1.22 報酬審議会開催予定)			
中間における見込み	取組進捗見込	実施・検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	H27.1.22特別職報酬審議会へ諮問し、据え置きが妥当との答申に基づき報酬の改正は行わなかった。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続き県内市等の状況を踏まえ検討していく。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見				

整理番号	45			
取組項目 (コード)	2-3-2-2	非常勤特別職の見直し		
実施課	総務課	関係課	関係各課	
実施内容	非常勤特別職の定数及び報酬等の見直しを行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討・実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討・実施	目標値	-
平成26年度 実行内容	引き続き検証を行う。 抜本的な見直しのための基準の作成。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	今年度については必要な定数及び報酬等と判断し現行維持とした。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	次年度の行政評価制度本格的運用に合わせて検証を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	今年度については必要な定数及び報酬等と判断し現行維持とした。 (中間状況と同じ)			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	次年度の行政評価制度本格的運用に合わせて検証を行う。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-1			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-1	公用車の燃料費等の削減(総務課)		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	電気自動車の導入により、燃料費の前年予算比 2%を図る。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	エコドライブ及び電気自動車導入により対前年比 502千円(18%)の次年度予算要求を行った			
中間評価	A 計画を上回る(良い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続きエコドライブ等を行い予算縮減を図る。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	502千円(18%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	592千円(21%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	エコドライブ及び電気自動車導入により対前年比 592千円(21%)の次年度当初予算編成を行った。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続きエコドライブ等を行い予算縮減を図る。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-2			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-2	公用車の燃料費等の削減(財政課)		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	軽の電気自動車を導入して環境に配慮するとともに、燃料費の削減を図る。また、車両の更新に際しては、燃費の良い軽自動車を基本とし併せて台数削減に努める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	燃料費の査定を行っている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	削減を目標にしても燃料費単価の変動に伴い、予算要求額も変動する。			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	燃料費の削減を図る。また、車両の更新に際しては、燃費の良い軽自動車を基本とし併せて台数削減に努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績見込	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	目標値に向け燃料費の査定を行っている。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	削減を目標にしても燃料費単価の変動に伴い、予算要求額も変動する。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	燃料費の削減を図る。また、車両の更新に際しては、燃費の良い軽自動車を基本とし併せて台数削減に努める。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-3			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-3	公用車の燃料費等の削減(政策推進課)		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	更なる削減に努める。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	省エネ運転に努めた。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	年度により、運転距離が違うこと、燃料費単価の増減などあり、実際の効果が表れているかわからない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	省エネ運転に努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	0千円(0%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	省エネ運転に努めた			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	年度により取材回数、取材箇所に変動があるため運転距離が違うことや、燃料費の増減などあり、数値目標を設定する必要があるのか疑問である			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	省エネ運転に努める。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-4			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-4	公用車の燃料費等の削減(自治振興課)		
実施課	自治振興課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	引き続きエコドライブに努める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	急発進急加速を避けるとともに、安全運転、アイドリングストップを心がけ、取り組みを進めている。			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続きエコドライブに努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	50%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	20千円(11%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	急発進急加速を避けるとともに、安全運転、アイドリングストップを心がけ、取り組みを進めた。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続きエコドライブに努める。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-5			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-5	公用車の燃料費等の削減(税務課)		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	リース車の入替えがあるため、エコカーを導入し、更なる燃料費の削減に努める。引き続きエコドライブの推進を図る。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	リース車にエコカーを導入し、エコドライブに努めた。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	エコドライブに努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	13%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	88千円(14%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	軽自動車6台。 新規車両は、エコカーを導入し、燃料費の削減に努めた。他の車両についても、こまめにエンジンを切るなどの対策を行った。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	古い車両(平成14年10月登録車)の経年による燃費の悪化。エコカーへの切り替えが必要。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続きエコドライブの推進を図る。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-6			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-6	公用車の燃料費等の削減(市民課)		
実施課	市民課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	引き続きエコドライブに努める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	公用車使用の際には、エコドライブを推進し燃料使用量の削減に努めている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	エコドライブに対する意識の向上を図り、定着させる必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	ドライバー教育を実施し、エコドライブに対する意識付けを行う			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	9千円(2%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	10千円(2%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	公用車使用の際には、エコドライブを推進し燃料使用量の削減に努めた。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	燃料単価の変動により燃料費の削減につながらない場合も考えられる。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引続きエコドライブを推進し燃料使用量の削減に努める。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-7			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-7	公用車の燃料費等の削減(環境課)		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	引き続きエコドライブ等を推進していく。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年度の削減率については、新ごみ処理場稼働(委託)に伴い車両数の減車など数値として比較不可能。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>普通自動車 5台、軽トラック 2台、塵芥車 1台、トラック 3台、小型重機 1台、ユンボ 1台、ホイールローダー 1台</p> <p>平成26年度の削減率については、新ごみ処理場稼働(委託)に伴い車両数の減車など数値として比較不可能。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	特になし			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	引き続き削減に向けエコドライブの推進。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	担当課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-8			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-8	公用車の燃料費等の削減(保健医療課)		
実施課	保健医療課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	引き続き、エコドライブ等を推進していく。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	エコドライブを推進している。 4月～9月までの比較で 4千円の削減をしている。			
中間評価	A 計画を上回る(良い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	エコドライブ等を推進しているが、単価が上昇しており単純な比較ができない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き、エコドライブ等を推進していく。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	8千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	19千円(8%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	エコドライブ等を推進した。 前年度当初予算比較で 19千円(8%)の削減をした。 参考値 平成26年度当初予算 : 224千円 平成27年度当初予算 : 205千円 対前年度当初予算比較 : 19千円 所管する公用車の種類及び台数 軽自動車(ライフ) 1台 軽自動車(ミニカライフ) 1台 軽自動車(AZワゴン) 1台			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	エコドライブを推進したが、平成26年中(4月～12月)はガソリン単価が高く単純な比較ができない。 保健師活動業務や看護師の多受診者訪問等の現場での業務に使用しており、事業量の変動があり、他課(総務課等)の車を使用している状況である。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続きエコドライブ等を推進していく。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-9			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-9	公用車の燃料費等の削減(介護高齢課)		
実施課	介護高齢課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	対前年比 2%を目標に、ガソリンの使用量を減少する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	リース車両をエコカーに交換し、燃料費の軽減を図っている。 予算額の70%程度の執行率となる見込み。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	燃料費の価格が変動することから、金額でなく量での比較をすべき。			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	引き続きガソリン、軽油の使用量の減少に努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	66千円(5.09%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	リース車両をエコカーに交換し、燃料費の軽減を図っている。 金額、数量ともに前年度比5%程度減少している。			
最終評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
問題点・課題点	燃料費の価格が変動することから、金額でなく量での比較をすべき。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	他実施課と同様に「A 計画を上回る(良い)」と考える。			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-10			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-10	公用車の燃料費等の削減(福祉課)		
実施課	福祉課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	エコドライブを徹底する。遠隔地への用務では、1回で数か所訪問に努める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	エコドライブを呼び掛けた。遠隔地への用務では、1回で数か所訪問に努めた。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	保育園入園児の年度異動による運行経路の長短やガソリン代そのものの価格変動があるので、予算額の比較では取り組みの効果を正しくつかむことができない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	運転する人への意識高揚を図るため、運転前に目にする運転日誌に「エコドライブ推進！」と表示する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	61千円(6%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	61千円(6%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	エコドライブを呼び掛けた。遠隔地への用務では、1回で数か所訪問に努めた。また、運転する人への意識高揚を図るため、運転前に目にする運転日誌に「安全運転の励行！そしてエコドライブ！」と表示し、エコドライブにつながる運転前3項目、運転中3項目の具体的な行動も記載したシールを貼付し、啓発して燃料費削減に取り組んだ。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	保育園入園児の年度異動による運行経路の長短やガソリン代そのものの価格変動があり、正しい評価につながらない。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	エコドライブを徹底する。遠隔地への用務では、1回で数か所訪問に努める。運転する人への意識高揚を図るため、運転前に目にする運転日誌に「安全運転の励行！そしてエコドライブ！」と表示する。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-11			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-11	公用車の燃料費等の削減(農林水産課)		
実施課	農林水産課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	急発進、急加速とならないようエコドライブを心がけて運転する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	急発進、急加速とならない運転を心掛けている。給油量については、昨年の同時期よりも減となっている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	天候状況や業務内容、原油価格の情勢により、燃料費の増加が見込まれる。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き急発進、急加速とならない運転を心掛ける			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	84千円(13%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	29千円(4%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	急発進、急加速とにならないようエコドライブを心がけて運転する。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	天候状況や業務内容、原油価格の情勢により、燃料費の増加が見込まれる。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続き急発進、急加速とにならない運転を心掛ける。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-12			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-12	公用車の燃料費等の削減(商工観光課)		
実施課	商工観光課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	平成25年度を上回るよう全員で努めるとともに、更なるエコドライブの推進を図る。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	職員全員が、スピードを控えるなど、安全運転に努めている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	常に、エコドライブ・安全運転への意識が薄弱になりがちである。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	随時、課内周知を図る。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	85千円(17%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	45千円(10%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	職員全員が安全運転とエコドライブに努めている。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	この結果が安全運転・エコドライブへの意識希薄への要因になりうる。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	職員一人ひとりが安全運転とエコドライブを心掛け、引き続き削減に努める。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-13			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-13	公用車の燃料費等の削減(都市整備課)		
実施課	都市整備課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	消費税の増額分28,000円程度及びガソリン単価値上り分3円×5,300ℓ=16,000円程度上乗せ要求しているが、H26当初予算は前年比9,000円減額となるため、エコドライブに努める。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	日沿道整備事業に伴い、国と地元協議会との調整や現地調査・確認のための業務量の増加に伴い1981千円から1,088千円へ107千円の増加見込み。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	107千円(11%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	39千円(4%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	燃料の値下がりが大きかったが、エコドライブ運転として 急発進、急加速を控える 定速運転の励行 無駄な空ぶかしをしないなどに努めた。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	車のエアコンを暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにする。また、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないようにすることや停車中のアイドリングストップを励行し、省エネを心がける。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-14			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-14	公用車の燃料費等の削減(下水道課)		
実施課	下水道課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	職員に対して、アイドリングストップやエコドライブ等、燃費に配慮した運転を心がけるよう指導を継続する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	エコドライブを心掛けても具体的な減額には結びつかず、また価格の変動等予想されるため目標を達成できなかった。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	エコドライブを心掛けても具体的な減額には結びつかない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続きアイドリングストップやエコドライブ等、燃費に配慮した運転を心がけるよう取組を継続する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	13千円(1%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	15千円(1%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>新年度予算においてリース期間満了に伴いエコカーへの更新を図ろうとしたが、予算査定により計上できなかった。エコドライブを心掛けても具体的な減額には結びつかず、また価格の変動等予想されるため目標を達成できなかった。</p>			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	エコドライブを心掛けても具体的な減額には結びつかない。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	職員に対して、アイドリングストップやエコドライブ等、燃費に配慮した運転を心掛けるように指導を継続する。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-15			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-15	公用車の燃料費等の削減(水道局)		
実施課	水道局	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	購入から10年以上の車2台を含む3台廃車とし、新車を2台導入する。 職員に対して、アイドリングストップ等、燃費に配慮した運転を心がけるよう指導を継続する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26実行内容とおり実行した。			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	107千円(7%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	112千円(8%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	購入から10年以上の車2台を含む3台廃車とし、新車を2台導入した。 職員に対して、アイドリングストップ等、燃費に配慮した運転を心がけるよう指導した。 H26当初予算額(上水、簡水) 1,454千円 H27当初予算額(上水、簡水) 1,342千円 前年比 112千円			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続き、職員に対して、アイドリングストップ等、燃費に配慮した運転を心がけるよう指導する。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-16			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-16	公用車の燃料費等の削減(学校教育課)		
実施課	学校教育課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	学校教育課の庁用車について、低燃費車両導入の検討。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	学校教育課の庁用車が走行できない状況であるが、自校方式から共同調理方式に変更した学校が増えたため、給食運搬車の稼働が増えている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	学校教育課の庁用車について、現有車両が走行不能になった。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	学校教育課の庁用車について、現有車両が走行不能になったため、平成27年度予算で低燃費車両導入の要求をしていく。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	80千円(1%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>目標の前年比2%減額こそ達成できなかったが、前年度までは増加の一途をたどっていたが、今年度は減額に転じ、前年比 1%を達成できた。 対象車両は、前年度と同じ、普通車等3台・スクールバス27台・給食運搬車5台。</p>			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	<p>燃料費の高騰が計画の進捗状況に深刻な影響を及ぼしている。 運転者の心がけに頼るしか有効な手段がなく、運行距離も違うことから年度ごとの比較や成果が見えにくい。 共同調理方式の推進により、給食運搬車の重要性・稼働状況は高まることはあっても減じることはない。 学校教育課の低燃費車購入要求が削減されたことにより、計画の進捗にとってマイナス要因として働いている。</p>			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > < 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	<p>学校教育課の庁用車について、現有車両が走行不能になったため、平成27年度予算で低燃費車両導入の要求書を上げたが予算措置がなされなかった。 引き続き、平成28年度予算でも要求をしていく。</p>			

行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-
意見	実施課評価のとおり		

行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-
意見	行革担当意見と同じ		

整理番号	46-17			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-17	公用車の燃料費等の削減(生涯学習課)		
実施課	生涯学習課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	引き続き、エコドライブを心掛けて運転する。 また、近距離の移動には、自転車等を利用する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	エコドライブを心掛けて運転している。 近距離の移動は、自転車等を利用している。			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	引き続きエコドライブを心掛ける。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	189千円(9%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	227千円(11%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	エコドライブを心掛けて運転した。 近距離の移動は、自転車等を利用した。 本庁での会議等での庁用車の乗り合わせを行い燃料費の削減に努めた。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	予算額による評価のため、ガソリン価格変動の影響を受ける。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続きエコドライブを心掛ける。 近距離の移動は自転車等を利用するなど燃料費削減に努める。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-18			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-18	公用車の燃料費等の削減(荒川支所 地域振興課)		
実施課	荒川支所 地域振興課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	職員へのエコドライブを推進し燃費の向上に努め燃料費の削減を図る。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	普通車1台を所管替えし、エコドライブを推進をして燃費の向上と燃料費の削減に努めた。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	公用車の老朽化により燃費効率が落ちている。 燃料の高騰により燃料費の削減につながらない。			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	年式の古い車両からの入れ替えが必要である。 普通車1台を平成27年度にリース料を計上			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	1%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	7千円(1%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	普通車1台を所管替えし、エコドライブを推進をして、燃費の向上を図り、燃料費の削減に努めた。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	公用車の車両年式が古くなり、燃費効率が悪くなっている。また、燃料の高騰により燃料費に削減につながらない。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	エコドライブを推進し燃費の向上を図り、燃料費の削減に努める。平成27年度には普通車2台をリースし、入れ替えを行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-19			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-19	公用車の燃料費等の削減(荒川支所 産業建設課)		
実施課	荒川支所 産業建設課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	公用車の使用回数を極力減らし、燃料費の対前年比 2%を目指す。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	管理公用車3台の9月末現在の予算執行額は、対H26当初予算額の44.9%。10月末現在51.9%でほぼ計画通りで進捗している。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	公用車の使用回数を極力減らすことは、初期対応などが重要な現業課としては住民サービス低下に繋がりがねない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	エコドライブと可能であれば複数の現場を一回の対応で済ませるように努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	8千円(1%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	1千円(0.2%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	車種	H26当初予算	H27当初予算	増減
	パジェロ	218,000円	233,000円	15,000円
	フォレスター	154,000円	145,000円	9,000円
	ハイゼットカーゴ	175,000円	168,000円	7,000円
	合計	547,000円	546,000円	1,000円 0.2%
	建設管理室管理のパジェロについては、当初予算計上時には前年度を上回る使用頻度のため増額計上したが、決算時には当初予算比 18千円(8.3%)となった。 公用車の使用回数を極力減らし、またエコドライブに努め全体で決算時には当初予算比 58千円(10.7%)となった。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	燃料費削減は燃料単価の変動に左右される場合がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	公用車の使用回数を極力減らし、燃料費を対当初予算比 2%を目指す。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-20			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-20	公用車の燃料費等の削減(神林支所 地域振興課)		
実施課	神林支所 地域振興課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	他地区会議等での相乗りをはかり、利用台数の削減をはかる。また、昨年に引き続きエコドライブに努めるなど、職員ポータル等で周知し、燃料使用量の削減に努める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成27年度予算との対前年度比では、2%の目標を掲げていますが、総務管理室所有の車両では、平成27年度からマイクロバスの貸出基準の変更により、38.92%増としています。ただ、集計誤差はあるとしても、普通車のリッター平均走行距離では、対前年度比(H25.4~H25.9)11.96km/lから12.50km/lと平均距離が伸びています。職員のエコドライブに努める姿がうかがえます。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	使用車の経年劣化による燃焼率の低下や、一回当りの走行距離により燃費効率に違いが出ることから、エコドライブの推進だけでは、対前年度比燃料費削減 2%達成は難しくなっています。今後も会議への参加などの相乗り参加(本庁を中心として各支所相乗り)や、計画的にエコカーへの切り替え実施、公共交通機関の活用も必要でないかと思えます。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	会議・出張等への出席参加時の相乗り参加の推進と、交通安全も含めたエコドライブの推奨を進めていく。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	27千円(3%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	20千円(2%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>公用車の集中管理による有効利用と、比較的低燃費リース車利用で燃費の削減を図りました。普通自動車3台、軽自動車2台、ガソリン使用量については、平成25年度同時期に比べ5.7%の減です。(平成25年度2,928.9ℓ 平成26年度2,831.4ℓ)。また、ガソリン等の燃料について平成25年度は、決算額619,171円でしたが、平成26年度の決算見込みで、燃料単価の高騰及び突発的事案により713,937円と前年度比15.3%の増となる見込みです。</p> <p>なお、普通車のリッター平均走行距離では前年度(H25.4～H26.2)11.69km/ℓから12.55km/ℓと伸びており、職員のエコドライブに努めている姿がうかがえ、平成27年度燃料予算でガソリンについては対前年度比8.26%減としています。しかし、村上市マイクロバス等の運行に関する要綱の施工に伴い、事行増加分を特殊要因付加とし、軽油に対する燃料費予算を前年度比35.14%増としています。その為、特にマイクロバス運転時には急発進・急ブレーキの抑制を呼び掛けなど、更なるエコドライブの推奨を図っていきます。</p>			
		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	<p>公用車のほとんどが神林支所管内での利用が多く、運転距離が短くエコドライブの推進のみでは燃料費の削減が難しいです。リースによるエコカーの導入と、稼働率が低く燃費の悪い車から更新を図らないと燃料費の削減は難しいです。また、公共交通機関の利用も必要ではないかと思えます。</p>			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	<p>他地区会議等での相乗りを勧め、利用促進を図ります。また、昨年に引き続きエコドライブに努めるなど、職員ポータル等で周知し、燃料使用量の削減に努めます。</p>			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-21			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-21	公用車の燃料費等の削減(神林支所 産業建設課)		
実施課	神林支所 産業建設課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	引き続きエコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	前年比 14千円(7.9%)			
中間評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	10千円(4%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	10千円(4%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	前年比 10千円(3.93%) H26年度当初予算 254,000円 H27年度当初予算 244,000円			
最終評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続きエコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実績値により他実施課と同様に「A 計画を上回る(良い)」と考える。			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-22			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-22	公用車の燃料費等の削減(朝日支所 地域振興課)		
実施課	朝日支所 地域振興課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	2台の庁用車を廃止し、1台のハイブリッド車を庁用車として導入し、燃料費節減に努める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	廃車済みは1台で11月にもう1台廃車予定。ハイブリッド車1台を6月にリースで導入した。燃料費節減については、対前年で減額にはつながっていない。単価増、他課の車両故障、他庁舎への貸し出し、他支所への定期的な機器修理応援などが考えられる。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	1つの課が「燃料費節減」の目標を持って行うのはよいことだが、市全体を1か所で取りまとめるのも1つかと思う。行き先が毎年異なり、他課・他庁舎からの依頼があれば貸し出すという姿勢は変えられない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	車両の廃車、導入は予定どおり。燃料費の節減はしばらく様子見。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	84千円(3%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	2台の庁用車を廃止し、1台のハイブリッド車を庁用車として導入し、燃料費節減に努めたが、実績として目標に達しなかった。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	担当課だけではどうにもできない外部要因(燃料費、他庁舎の貸出依頼等)があり、燃料費節減に努めている具体的な成果は見えにくい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	エコドライブ等の周知徹底に努め、経費節減に引き続き努める。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-23			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-23	公用車の燃料費等の削減(朝日支所 産業建設課)		
実施課	朝日支所 産業建設課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	研修会・会議等での相乗りをはかるほか、引き続きエコドライブに努めるなど燃料使用量の削減に努める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	7月の災害での現場対応、鳴海金山等施設管理・新農業政策の変更等により現場対応及び会議・研修会等が増え外出がきわめて増えたため達成は難しい。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	国の政策の変更により新たな事業が加わり会議及び研修会・集落説明等の機会が増え、燃料費の削減がなかなか厳しい。課内で目的場所の重複を避けるなどの調整をはかり削減に努める。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き、研修会・会議等での相乗りをはかるほか、エコドライブに努めるなど燃料使用量の削減に努める。ほか、課内で目的場所の重複を避けるなどの調整をはかり削減に努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	0千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	61千円(1%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年度には産業建設課車両1台を朝日支所全体で使える集中管理とした。 普通車5台(うち支所集中管理1台 本庁都市整備管理1台) 平成26年度予算額682千円 平成27年度予算 675千円 (1.0%削減)			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	農業政策の新規事業等で新たな会議及び研修会・集落説明等の機会が増え、燃料費の削減が厳しい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	研修会・会議等での相乗りをはかるほか、エコドライブに努める。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-24			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-24	公用車の燃料費等の削減(山北支所 地域振興課)		
実施課	山北支所 地域振興課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	庁内メール便運搬を本庁での会議出席者が兼ねて行ったり、更なる相乗りの推進を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	庁内メール便運搬を本庁での会議出席者が兼ねて行ったり、相乗りの推進を行っている。 ・総務管理室及び自治振興室 199千円 (20%)・地域福祉室 332千円(53%)・市民生活室0千円(0%)			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	現状ではこれ以上の燃料費削減は難しいと考えている。更なる削減を進めるにはエコカーの導入、庁内メール便の民間委託、本庁等で行われる会議の代替手段検討や会議そのものの必要性を精査する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	本庁等で行われる会議の代替手段の検討及び会議そのものの必要性を精査する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	531千円(29%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	庁内メール便運搬を本庁での会議出席者が兼ねて行ったり、相乗りの推進を行っている。更なる削減を進めるにはエコカーの導入、庁内メール便の民間委託、本庁等で行われる会議の代替手段検討や会議そのものの必要性を精査する必要がある。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	エコカーの導入にあたっては車両価格が割高となり、庁内メール便の民間委託も新たな財政負担が生じるため、財政課の理解が必要となる。また、本庁等で行われる会議の代替手段や会議そのものの必要性については、本庁各課が検討するべきものとする。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続き庁内メール便運搬を本庁での会議出席者が兼ねて行ったり、相乗りの推進を行う。また、公用車の入替時にはエコカーの導入を検討する。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	「A 計画を上回る(良い)」と考える。			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-25			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-25	公用車の燃料費等の削減(山北支所 産業建設課)		
実施課	山北支所 産業建設課	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%	
平成26年度 実行内容	前年度の内容を継続			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成27年度の予算要求4%削減			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	山北地区はエリアが広く、林道等の未舗装かつ急勾配路走行も多いことからエコドライブの推進が難しい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	国県道等ではエコドライブに努め、更なる相乗りを推進する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	4%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	10千円(4%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成27年度の予算要求4%削減			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	山北地区はエリアが広く、林道等の未舗装かつ急勾配路走行も多いことからエコドライブの推進が難しい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	エコドライブに努め、相乗りの推進を図り目標の達成を目指す。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	46-26			
取組項目 (コード)	2-3-3-1-26	公用車の燃料費等の削減(消防本部)		
実施課	消防本部	関係課	-	
実施内容	エコドライブ等を推進し、燃料費の前年予算比 2%を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2%
平成26年度 実行内容	引き続きエコドライブの励行、出向時の乗り合わせなどを行い燃料費を削減していく。しかし、燃料費が引き続き高騰しており燃料量を減らしても燃料費の削減に結びつかない状況にある。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	エコドライブの励行、出向時の乗り合わせを実施しているが、燃料単価の高騰により、経費削減に結びついていない。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	燃料単価の高騰が続くとエコドライブの励行、乗り合わせ等を行っても削減目標値は達成できない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	新規の消防署広報連絡車のリース車両をクリーンディーゼル車とし、エコドライブの励行を促進する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	1,186千円(17%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	484千円(8%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	引き続きエコドライブの励行、出向時の乗り合わせなどを行い燃料費を削減していくが、燃料費が引き続き高騰しており燃料量を減らしても燃料費の削減に結びつかない状況にあり、目標値を大きく下回る結果となった。新規の消防署広報連絡車のリース車両については予定通りクリーンディーゼル車とし、エコドライブの励行を促進した。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	エコドライブ、乗り合わせ等で燃料量を削減しても、燃料単価の高騰が続くと燃料費の軽減には結びつかない現状にある。車両台数も多く単価高騰の影響を受けやすい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	2%	2%	2%	2%
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	引き続きエコドライブや乗り合わせの意識づけを行い、燃料費削減を励行していく。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	47-1			
取組項目 (コード)	2-3-3-2-1	公用車の集中管理化(荒川支所)		
実施課	荒川支所地域振興課	関係課	-	
実施内容	各支所において担当課所管となっている分散管理車を地域振興課の集中管理へ整理し、台数の削減を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	地域振興課所管の車両が15台となる。各車両の管理費及び燃料費は配当課(旧課)に属している。平成26年度の車両運行管理について、地域振興課の担当室で保健・介護・緊急的車両を除いた車両の空き状況を把握しながら有効利活用を図る。なお、地域振興課所管の車両(普通車)を1台、生涯学習課に所管替を行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	普通車1台を所管替えし、中型バス1台を売却し、地域振興課で所管する車両は14台である。 保健・介護・緊急的車両を除いた車両の空状況を把握しながら有効活用を図っている。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	交通指導車等の緊急対応車両及び保健・介護車両等の住民対応の車両の空き状況の確認ができないため有効利用することが難しい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	緊急対応車両及び住民対応車両の有効利用が難しいことから、それらの車両を除いた車両の運行状況を確認しながら有効活用を図る。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	普通車1台を所管替えし、中型バス1台を売却して車両の削減を図り、地域振興課で所管する車両は14台である。 保健・介護・緊急的車両を除いた車両の空状況を把握しながら有効活用を図っている。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	交通指導車等の緊急対応車両及び保健・介護車両等の住民対応の車両の空き状況の確認ができないため有効利用することが難しい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	地域振興課が所管する車両は14台である。緊急対応車両及び住民対応車両の有効利用が難しいことから、それらの車両を除いた車両の運行状況を確認しながら有効活用を図る。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	47-2			
取組項目 (コード)	2-3-3-2-2	公用車の集中管理化(神林支所)		
実施課	神林支所地域振興課	関係課	-	
実施内容	各支所において担当課所管となっている分散管理車を地域振興課の集中管理へ整理し、台数の削減を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	地域振興課所有の車両が12台。各車両の管理費及び燃料費は配当室(旧課)に属している。平成26年度の車両運行管理について、地域振興課の担当室で保健・介護・緊急的車両を除いた車両の空状況を把握しながら有効活用を試みる。また、高年式車からエコカーリース車に変更し、稼働率の低い高年式車から順次更新する方向で検討している。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	地域振興課内総務管理室、市民生活室、地域福祉室各管理車両の内、職員ポータルで管理されている、総務管理室所有車については、産業建設課も含め車両の空き状況によって車両の貸し出しを行っている。また、職員ポータル管理されていない、市民生活・地域福祉室所有車については使用状況により、各室で利用調整を行い有効利用に努めている。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	公用車の集中管理を確立するためには、使用調整だけでなく、各室で予算管理している燃料費・修繕料・消耗品費のほか、リース料や公課費等の経費管理も含めた、理総合的な車両管理が必要と思います。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	燃料費・諸経費管理も含めての、庁舎内車両集中管理体制の整備検討が必要と思われる。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	今年度から2課体制となり地域振興課で所管する車両台数が12台、産業建設課4台、神林教育事務所5台の計21台となります。行政改革での課統合に合わせ集中管理できる体制を整えます。また、20年を経過した車両からエコカーリース車とし、稼働率の悪い古い年式車から順次更新する方向で検討します。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	各課・室所有の道路維持、交通指導車等の緊急対応車両は住民要望に対応するための車両であるため、この車両の空き時間を有効利用することは難しいです。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	地域振興課所有の車両が12台で、各車両の管理費及び燃料費は配当室に属していません。平成27年度の車両運行管理について、地域振興課の担当室で緊急的車両を除いた車両の空き状況を把握しながら有効利活用を試みます。また、古い年式車からエコカーリース車に変更し、稼働率の低い古い年式車から順次更新する方向で検討します。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	47-3			
取組項目 (コード)	2-3-3-2-3	公用車の集中管理化(朝日支所)		
実施課	朝日支所地域振興課	関係課	-	
実施内容	各支所において担当課所管となっている分散管理車を地域振興課の集中管理へ整理し、台数の削減を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	統合する課内の担当で集中管理する車両を予算も含め検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	統合した課で1台を集中管理にし、利便性を高めた。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	もう少し集中管理車が増えると、業務の予定が組みやすい部署が増えると思われる。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	今の状態で今年度は進む予定。集中管理が増やせるような協議を行う必要がある。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	2台	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	統合した地域振興課で1台を集中管理にし、利便性を高めた。 産業建設課所管の1台も集中管理にし、利便性を高めた。 学校教育課所有の庁用車1台を地域振興課所有の1台と交換した。 どの車両についても、予算が伴った時期に所管替えを予定している。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	関係課との協議は続けていくが、集中管理にも限界はある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	前年度までの内容を引き継ぎ、継続して関係課と協議し可能な車両を集中管理車とする。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	47-4			
取組項目 (コード)	2-3-3-2-4	公用車の集中管理化(山北支所)		
実施課	山北支所地域振興課	関係課	-	
実施内容	各支所において担当課所管となっている分散管理車を地域振興課の集中管理へ整理し、台数の削減を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	支所2課制となる平成26年度の車両運行管理について、地域振興課の担当室で保健・介護・緊急的車両を除いた車両の空状況を把握しながら有効利活用を試みながら、実施に向けて、精査、検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	職員それぞれが行政内部情報ポータルにより公用車の空き状況を確認して有効活用を図っている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	突発的な現場対応等に対応する必要があるため、集中管理によるこれ以上の公用車台数削減は難しいと考えている。更なる削減を進めるには庁内メール便の民間委託、本庁等で行われる会議の代替手段検討や会議そのものの必要性を精査する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	本庁等で行われる会議の代替手段の検討及び会議そのものの必要性を精査する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	職員それぞれが行政内部情報ポータルにより公用車の空き状況を確認して有効活用を図っている。突発的な現場対応等に対応するため、集中管理によるこれ以上の公用車台数削減は難しいと考えている。更なる削減を進めるには庁内メール便の民間委託、本庁等で行われる会議の代替手段検討や会議そのものの必要性を精査する必要がある。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	庁内メール便の民間委託には新たな財政負担が生じるため、財政課の理解が必要となる。また、本庁等で行われる会議の代替手段や会議そのものの必要性については、本庁各課が検討するべきものとする。			
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続き職員それぞれが行政内部情報ポータルにより公用車の空き状況を確認して有効活用を図る。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	48			
取組項目 (コード)	2-3-3-3	水道メーター検針業務等の包括委託の推進		
実施課	水道局	関係課	-	
実施内容	検針業務を一括して民間委託し、検針業務の一元化を図る。 また、検針体制の効率化に向けた検討をする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査	検討	実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	各管工事業協同組合と協議を継続し、H27からの長期継続契約に向けて準備作業を行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	対象件数の一番多い、村上管工事業協同組合と先がけて協議を行ったが、良い回答が得られなかったため、H27は現行通りの委託体制とし、H28以降に向けて条件整備を検討しながら、協議を重ねたい。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	各管工事業協同組合の受託条件等を検証し、お互いの妥協点を模索しながら、協議を続けたい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	各管工事業協同組合の受託条件等を検証する。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	指定給水装置工事業業者で組織する村上管工事業協同組合と村上・神林・朝日地区について、一括契約できるよう役員と交渉してきたが、検針費用などの問題から以前検針していた構成業者が撤退した経緯があり、組合内の合意形成には時間が必要である。水道局としては当組合に一括して委託することが、漏水時などの対応を含めて最善であると考えており、引き続き交渉を継続していきたい。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	検針単価について組合と調整が折り合っていない。単価改定が必要となる。また、組合内の意思統一に期間を要する。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査	検討		実施
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 平成27年度を「実施」から「検討」に変更 < 理由 > 組合内の合意形成に期間を要するため</p>			
平成27年度実行内容	平成26年度に引き続き、組合内の合意形成ができるように、単価改定を含め協議継続していきたい			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり平成28年度実施に向け検討願いたい。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	49			
取組項目 (コード)	2-3-4-1	市道の指定管理者制度導入の検討		
実施課	都市整備課	関係課	-	
実施内容	市道へ指定管理者を導入し、経費及び事務(パトロール・維持補修等)の効率化を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査・検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	調査・検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	道路の指定管理者制度の導入については全国的にも事例が少なく、今後も検討して行く必要があるが、現在でも国・県道で実施されているアダプト(里親)制度の内、道路についてのボランティアサポートプログラムにより、市街地の街路樹清掃等の推進活動を地元町内に対して行っていく。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	道路の環境の整備について、村上地域まちづくり協議会と協働のまちづくりとしての取組について意見交換を行った。その際に市民への働きかけや多くの意見を交えながら市民レベルで取り組みが必要であるが、今対応できるものとして、街路樹の落葉集積ボックスを3基設置した。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	街路樹についてはまちづくり協議会等の活動として維持管理計画が無いとすみわけができないとの指摘があり、今後沿線住民へも周知する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	道路の落葉や除草等の清掃に関する住民協力について、アンケート調査を実施し、今後の施策を検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	村上市街地の街路沿線区長へ道路美化について課題認識とアダプト(里親)制度を含めた手法に関する意向を把握するためのアンケートを実施した。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	アンケート結果を踏まえ街路樹や道路の清掃活動等について問題点を洗い出し、今後の維持管理方法を検討する。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	50			
取組項目 (コード)	2-3-5-1	小中学校安全対策事業の見直し		
実施課	学校教育課	関係課	-	
実施内容	補助金制度を見直し、小学校新1年生に防犯ベル、自転車通学する中学校新1年生にヘルメットを支給する方向で検討する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	小学校新1年生に防犯ベル、自転車通学する中学校新1年生にヘルメットを支給する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	新年度入学生の希望者に対応できるよう準備を進めている。 転入生の対象者にも把握漏れがないよう、対応している。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	補助金制度を見直し、平成27年度の小学校新1年生に防犯ベル、自転車通学する中学校新1年生にヘルメットを支給するための取組を行った。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	小学校新1年生に防犯ベル、自転車通学する中学校新1年生にヘルメットを支給する。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	方針決定に伴い完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	51			
取組項目 (コード)	2-3-5-2	物品調達業務の統一化		
実施課	学校教育課	関係課	-	
実施内容	各小中学校にて独自発注している物品業務等について統一できるものについては一括発注・包括的業務委託を行い経費の削減を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	検討・実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討・実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	事務所や学校と協議し、さらにまとめて発注できるものはないか検討・実施。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	プール薬剤、消火器等については本庁で一括発注している。本庁一括といかなくても地区ごとにまとめて発注できるものはないか協議。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	発注時期が統一できないものがある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	発注時期を統一できないか事務所・学校と協議。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	プール薬剤、消火器等については例年通り本庁で一括発注。さらに学力検査関係・ゴム印・賞状・封筒等についても地区ごとにまとめて本庁または各事務所において一括発注した。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	一部の物品においては未だ発注時期を統一できないものがある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	現状維持とともにさらに発注時期を統一できないものについて事務所・学校と連携し統一に向けて協議し予算削減を図る。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	52-1			
取組項目 (コード)	2-3-6-1-1	簡易水道事業特別会計(財政課)		
実施課	財政課	関係課	水道局	
実施内容	一般会計繰出金の抑制(料金統一・見直し、起債の制限等) ・ 予算編成における基準外繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	1,507千円 (H27当初予算)	1,462千円 (H28当初予算)	1,418千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	1,507千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	目標値を満たすよう査定を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	上記の実績値は、一般会計からの繰出金全体のものである。			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点				
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)				
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	4,240千円(2%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	4,240千円(2%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	上記の実績値は、一般会計からの繰出金全体のものである。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	目標値を満たすよう査定を行う。			

行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組			実施	
目 標 値			5,651千円 (H28当初予算)	5,481千円 (H29当初予算)
意 見	実施課評価のとおり 【計画変更案】2-3-6-1-2の問題点を踏まえ、実施内容「基準外繰出金を前年比3%削減する」から「繰出金を前年比3%削減する」に変更。H27年度当初予算額による目標値変更			

行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	52-2			
取組項目 (コード)	2-3-6-1-2	簡易水道事業特別会計(水道局)		
実施課	水道局	関係課	財政課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制(料金統一・見直し、起債の制限等) ・ 予算編成における基準外繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	1,507千円 (H27当初予算)	1,462千円 (H28当初予算)	1,418千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	1,507千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	料金統一に伴い簡易水道事業の使用料収入が減少することから、基準外繰入額が前年比31.1%増加する見込みである。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	基準外繰入金の見込みが不明確であるため、算定できない。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	総務省で定める地方公営企業会計に対する繰出金の基準は、一般会計がこの基準に沿って繰出しを行なったときは、その一部について地方交付税等において考慮するというものであり、繰出金全般の基本的な考え方は、地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化する目的であることから、基準外繰入金だけを削減するのではなく、繰出金全体で検討する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	繰出基準に該当する経費となるかは、その年度において設定される資本費、供給単価において大きく変動することから、現時点において算出することは非常に困難である。			
中間における見込み	取組進捗見込	-	実績見込	-

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	4,240千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	一般会計繰入金総額 H26当初予算額 192,624千円 H27当初予算額 188,384千円 増減額 4,240千円 (一般会計繰入金総額において評価した。) 基準外繰入金の算出については、繰出基準に該当する経費となるかは、その年度において設定される資本費、供給単価において大きく変動することから、現時点において算出することは非常に困難である。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	総務省で定める地方公営企業会計に対する繰出金の基準は、一般会計がこの基準に沿って繰出しを行なったときは、その一部について地方交付税等において考慮するというものであり、繰出金全般の基本的な考え方は、地方公営企業の経営の健全化を促進し、その経営基盤を強化する目的であることから、基準外繰入金だけを削減する目標ではなく、繰出金全体で削減を検討する必要がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	基準外繰入金の見込みが不明確であるため、算定できない。			

行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			5,651千円 (H28当初予算)	5,481千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり 【計画変更案】2-3-6-1-2の問題点を踏まえ、実施内容「基準外繰出金を前年比3%削減する」から「繰出金を前年比3%削減する」に変更。H27年度当初予算額による目標値変更			

行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	53-1			
取組項目 (コード)	2-3-6-2-1	国民健康保険特別会計(財政課)		
実施課	財政課	関係課	保健医療課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制 ・ 予算編成において事務費の繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	848千円 (H27当初予算)	823千円 (H28当初予算)	798千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	848千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	引き続き目標値を満たすよう予算査定を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	事務費繰入金は、平成26年度当初予算が28,284千円で、平成27年度当初予算では32,800千円となり、4,516千円の増額となった。 事務費繰入金を平成26年度では対象経費の80%としていたが、平成27年度では100%で計上していることが主な要因である。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	4,516千円(16%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	4,168千円(15%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	事務費繰入金は、平成26年度当初予算が28,284千円で、平成27年度当初予算では32,452千円となり、4,168千円の増額となった。 事務費繰入金を平成26年度では対象経費の80%としていたが、平成27年度では100%で計上していることが主な要因である。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続き目標値を満たすよう予算査定を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			973千円 (H28当初予算)	944千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	53-2			
取組項目 (コード)	2-3-6-2-2	国民健康保険特別会計(保健医療課)		
実施課	保健医療課	関係課	財政課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制 ・ 予算編成において事務費の繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	848千円 (H27当初予算)	823千円 (H28当初予算)	798千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	848千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	引き続き事務費の3%削減を推進する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	一般会計繰入金(事務費繰入金)の3%削減を推奨したが、電算業務委託料(保険証と高齢受給者証の一本化、法改正に伴うバージョンアップ)が大きく、削減が難しい。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	電算業務委託料は、法改正等がありその年により変動が大きく対前年比3%削減が難しい			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き事務費の3%削減を推進する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	4%

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	4,168千円(15%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	一般会計繰入金(事務費繰入金)の3%削減を推奨したが、電算業務、機器保守等の委託料が大きく、削減が難しい。 参考値 平成26年度 一般会計繰入金(事務費繰入金) : 28,284千円 平成27年度 一般会計繰入金(事務費繰入金) : 32,452千円 対前年度当初予算比較 : 4,168千円 (平成26年度は当初予算で事務費の80%計上、平成27年度は当初予算で事務費の100%計上のため)			
最終評価	C 計画を下回る(悪い)			
問題点・課題点	電算業務委託料は、その年により変動が大きく対前年比3%削減が難しい。なお、事務費繰出金は、国・県の交付金等の対象事業であり、地方交付税で所要の措置が講じられている。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	引き続き事務費の3%削減を推進する。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			973千円 (H28当初予算)	944千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	54-1			
取組項目 (コード)	2-3-6-4-1	下水道事業特別会計(財政課)		
実施課	財政課	関係課	下水道課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制(料金統一・見直し、起債の制限) ・ 予算編成における基準外繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	9,179千円 (H27当初予算)	8,904千円 (H28当初予算)	8,637千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	9,179千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	目標値を満たすよう査定を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	下記の実績値は、一般会計からの繰出金全体のものである。			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	12,220千円 (1%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	44,508千円 (23%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年度 当初一般会計繰入金(基準外繰入金):190,279千円 平成27年度 当初一般会計繰入金(基準外繰入金):234,787千円			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度 実行内容	目標値を満たすよう査定を行う。			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			7,043千円 (H28当初予算)	6,832千円 (H29当初予算)
意見	実績値より「D 見直しが必要(非常に悪い)」と考える。 [計画変更案]H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	54-2			
取組項目 (コード)	2-3-6-4-2	下水道事業特別会計(下水道課)		
実施課	下水道課	関係課	財政課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制(料金統一・見直し、起債の制限) ・ 予算編成における基準外繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	9,179千円 (H27当初予算)	8,904千円 (H28当初予算)	8,637千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	9,179千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	普及活動などにより料金収入の増収に努め、一般会計繰入金の抑制に取り組む。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	電気料金の上昇や、下水道施設の老朽化による修繕工事費の増加、固定資産台帳の整備などによって維持管理経費の要求額が増加したため、目標を達成できなかった。			
中間評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	一部市街地を除き広大な行政区域に施設が点在するという地理的条件と、下水道施設の老朽化によって維持管理経費を賄えない状況にあり、一般会計からの繰入を必要としている。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	1,385千円 (0.5%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	44,508千円 (23%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	電気料金の上昇や、固定資産台帳の整備などによる維持管理経費の増加、施設の老朽化による改築更新経費の増加により、目標を達成できなかった。 参考値 平成26年度 当初一般会計繰入金(基準外繰入金):190,279千円 平成27年度 当初一般会計繰入金(基準外繰入金):234,787千円			
最終評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
問題点・課題点	一部市街地を除き広大な行政区域に施設が点在するという地理的条件と、下水道施設の老朽化によって維持管理経費を賄えない状況にあり、一般会計からの繰入を必要としている。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	普及活動などにより料金収入の増収に努め、一般会計繰入金の抑制に取り組む。			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			7,043千円 (H28当初予算)	6,832千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案]H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	55-1			
取組項目 (コード)	2-3-6-5-1	集落排水事業特別会計(財政課)		
実施課	財政課	関係課	下水道課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制(料金統一・見直し、起債の制限) ・ 予算編成における基準外繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	1,146千円 (H27当初予算)	1,112千円 (H28当初予算)	1,078千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	1,146千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	目標値を満たすよう査定を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	下記の実績値は、一般会計からの繰出金全体のものである。 公債費がピークを迎え、平成26年度当初予算と比べて46,519千円増額となっていることが主な要因である。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	32,490千円(6%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	9,471千円 (14%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	一般会計からの繰出金全体としては32,490千円(6%)である。 公債費がピークを迎え、平成26年度当初予算と比べて46,519千円増額となっていることが主な要因である。 参考値 平成26年度 当初一般会計繰入金(基準外繰入金):68,643千円 平成27年度 当初一般会計繰入金(基準外繰入金):78,114千円			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	目標値を満たすよう査定を行う。			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			2,343千円 (H28当初予算)	2,273千円 (H29当初予算)
意見	実績値より「D 見直しが必要(非常に悪い)」と考える。 [計画変更案]H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	55-2			
取組項目 (コード)	2-3-6-5-2	集落排水事業特別会計(下水道課)		
実施課	下水道課	関係課	財政課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制(料金統一・見直し、起債の制限) ・ 予算編成における基準外繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	1,146千円 (H27当初予算)	1,112千円 (H28当初予算)	1,078千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	1,146千円 (H27当初予算)	
平成26年度 実行内容	普及活動などにより料金収入の増収に努め、一般会計繰入金の抑制に取り組む。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	電気料金の上昇や、労務単価の上昇によって維持管理経費の要求額が増加したため、目標を達成できなかった。			
中間評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	一部市街地を除き広大な行政区域に施設が点在するという地理的条件と、下水道施設の老朽化によって維持管理経費を賄えない状況にあり、一般会計からの繰入を必要としている。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	61,799千円 (161%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	9,471千円 (14%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	電気料金の上昇や、労務単価の上昇によって維持管理経費が増加したため、目標を達成できなかった。 参考値 平成26年度 当初一般会計繰入金(基準外繰入金):68,643千円 平成27年度 当初一般会計繰入金(基準外繰入金):78,114千円			
最終評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
問題点・課題点	一部市街地を除き広大な行政区域に施設が点在するという地理的条件と、下水道施設の老朽化によって維持管理経費を賸えない状況にあり、一般会計からの繰入を必要としている。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	普及活動などにより料金収入の増収に努め、一般会計繰入金の抑制に取り組む。			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			2,343千円 (H28当初予算)	2,273千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案]H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	56-1			
取組項目 (コード)	2-3-6-6-1	葡萄スキー場特別会計(財政課)		
実施課	財政課	関係課	商工観光課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制 ・ 予算編成において人件費を除き、前年比3%を削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	2,315千円 (H27当初予算)	2,245千円 (H28当初予算)	2,178千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2,315千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	目標値を満たすよう査定を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年度に実施した圧雪車購入事業の終了に伴い132,292千円減額となったことが 主な要因である。			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	21,672千円 (28%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	21,672千円 (28%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年度に実施した圧雪車購入事業の終了に伴い132,292千円減額となったことが主な要因である。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	目標値を満たすよう査定を行う。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目 標 値			1,664千円 (H28当初予算)	1,615千円 (H29当初予算)
意 見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	56-2			
取組項目 (コード)	2-3-6-6-2	蒲萄スキー場特別会計(商工観光課)		
実施課	商工観光課	関係課	財政課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制 ・ 予算編成において人件費を除き、前年比3%を削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	2,315千円 (H27当初予算)	2,245千円 (H28当初予算)	2,178千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2,315千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	今年度中に圧雪車1台の更新を完了することにより、次年度の予算を削減する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年度に圧雪車1台の更新が終了すれば、平成27年度予算は大幅な減少となる。シーズン中に故障の無いように点検等を実施、安全運転に努め、車両に無理のさせないよう徹底した結果、修繕費、燃料費の削減を行う。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	シーズン中に故障の無いように点検等を実施する。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	安全運転に努め、車両に無理をさせないよう徹底する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	21,672千円 (28%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年度に圧雪車1台の更新が終了したため、平成27年度予算は大幅な減少となっている。シーズン中に故障の無いように点検等を実施、安全運転に努め、車両に無理のさせないよう徹底した結果、修繕費、燃料費の削減に繋がった。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	リフト、圧雪車、ロッジ等の老朽化が進み、毎年度の修繕費が多額となっている。投資と経費削減のバランスを考慮していく必要がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	リフトの計画的な修繕、山麓トイレの修繕を実施。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			1,664千円 (H28当初予算)	1,615千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	57-1			
取組項目 (コード)	2-3-6-7-1	介護保険特別会計(財政課)		
実施課	財政課	関係課	介護高齢課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制 ・ 予算編成において事務費の繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	5,520千円 (H27当初予算)	5,354千円 (H28当初予算)	5,194千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	5,520千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	引き続き目標値を満たすよう予算査定を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年度当初予算時の事務費等繰出金が184,016千円、平成27年度当初予算時 が 185,218千円で、1,202千円の増額となった。 平成26年度まで一般会計で計上していた朝日地区寿山荘利用者の老人クラブ介護 予防教室経費1,584千円を、平成27年度より介護保険特別会計で計上したことから増加 したもので、この分を除けば382千円の減額となった。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点				
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)				
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	1,202千円(1%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	1,202千円(1%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>平成26年度当初予算時の事務費等繰出金が184,016千円、平成27年度当初予算時が185,218千円で、1,202千円の増額となった。</p> <p>平成26年度まで一般会計で計上していた朝日地区寿山荘利用者の老人クラブ介護予防教室経費1,584千円を、平成27年度より介護保険特別会計で計上したことから増加したもので、この分を除けば382千円の減額となった。</p>			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	引き続き目標値を満たすよう予算査定を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			5,556千円 (H28当初予算)	5,389千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり 【計画変更案】H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	57-2			
取組項目 (コード)	2-3-6-7-2	介護保険特別会計(介護高齢課)		
実施課	介護高齢課	関係課	財政課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制 ・ 予算編成において事務費の繰出金を前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	5,520千円 (H27当初予算)	5,354千円 (H28当初予算)	5,194千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	5,520千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	所要額の精査に努め、引き続き削減を図る。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	所要額を精査し予算編成を行った。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	高齢者の増により介護認定者も増加するため、削減は難しい。 人件費の割合が大きいため削減が難しい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続き削減に努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	317千円(0.2%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	1,202千円(1%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	所要額を精査し予算編成を行ったが、高齢者の増加により削減は難しい。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	高齢者の増により介護認定者も増加するため、削減は難しい。 人件費の割合が大きいことから削減が難しい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	所要額の精査に努め、引き続き削減を図る。			

行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			5,556千円 (H28当初予算)	5,389千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			

行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	58-1			
取組項目 (コード)	2-3-6-8-1	情報通信事業特別会計(財政課)		
実施課	財政課	関係課	政策推進課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制(料金統一・見直し、起債の制限等) ・ 予算編成における人件費、公債利子及び公債費元金を除き前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	3,082千円 (H27当初予算)	2,990千円 (H28当初予算)	2,900千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	3,082千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	平成27年度当初予算編成において、引き続き経常経費の削減に努める。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	一般会計からの繰出金については、平成26年度当初予算時102,753千円(維持管理費分99,681千円、投資分3,072千円)であったが、平成27年度当初予算編成時128,479千円(維持管理費分124,729千円、投資分3,750千円)となり、25,726千円の増となった。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	25,726千円(25%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	25,726千円(25%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	一般会計からの操出金については、平成26年度当初予算時102,753千円(維持管理費分99,681千円、投資分3,072千円)であったが、平成27年度当初予算編成時128,479千円(維持管理費分124,729千円、投資分3,750千円)となり、25,726千円の増となった。告知システム更新等により増額となった。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	平成28年度当初予算編成において、引き続き経常経費の削減に努める。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			3,854千円 (H28当初予算)	3,738千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案]H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	58-2			
取組項目 (コード)	2-3-6-8-2	情報通信事業特別会計(財政課)		
実施課	政策推進課	関係課	財政課	
実施内容	一般会計繰出金の抑制(料金統一・見直し、起債の制限等) ・ 予算編成における人件費、公債利子及び公債費元金を除き前年比3%削減する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	3%	3,082千円 (H27当初予算)	2,990千円 (H28当初予算)	2,900千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	3,082千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	平成27年度の山北地区の告知システムの更新に係る詳細な仕様等の決定。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H27山北地区の告知システム更新事業については、導入機種、数量等検討を行い、H27当初予算要求を行ったが、今後更に詳細検討を加え、事業内容を確定していく。H27当初予算要求における繰入金の抑制については、人件費、公債費等の義務的経費及びこれらに準ずる義務的な経費及び投資的経費、並びに山北地区告知システム更新に係る経費、その他事情により削減が困難な経費及び枠外的な要求を除く、比較可能な経常的経費では2,414千円だが、除いた経費のうち山北更新経費、削減困難経費及び枠外的な要求を含めると目標達成は無理な状況であるため、今後、財政課と対応についての調整が必要である。			
中間評価	D 見直しが必要(非常に悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	例えば、東北電力やNTTの電柱の立替え(経年劣化が理由)による光ケーブルの移設等に係る修繕料(近年、特に山北地区で増えている。)は、外部要因によるものであり市の都合で削減は困難な経費であるが、このような削減困難な経費の要求だけでも13,800千円余りの増であり、この外に、山北地区告知システム更新経費で15,000千円余りの増のため、これらの取り扱いについての対応策を検討しなければ目標達成はほぼ無理な状況である。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	山北地区告知システム更新経費や削減困難な経費をどのような取り扱いとするか、その対応策を検討する必要がある。(比較する経費をもっと絞り込んで限定するなど。)			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	25,726千円(25%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>一般会計からの繰出金については、平成26年度当初予算時102,753千円(維持管理費分99,681千円、投資分3,072千円)であったが、平成27年度当初予算編成時128,479千円(維持管理費分124,729千円、投資分3,750千円)となり、25,726千円の増となった。告知システム更新等により増額となった。</p>			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	<p>平成27年度から料金(使用料)の統一がやっと図られる。次の段階として料金の見直し(改定)により、一般会計からの繰入金を抑えるとしても段階的な改定を検討していくことになるが、実際に可能かどうか、可能としても何年かかるか、全く想定できない。</p>			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目 標 値			3,854千円 (H28当初予算)	3,738千円 (H29当初予算)
意 見	<p>実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更</p>			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意 見	<p>行革担当意見と同じ</p>			

整理番号	59			
取組項目 (コード)	2-3-8-1	敬老事業の見直し		
実施課	介護高齢課	関係課	-	
実施内容	長寿命・高齢化が急速に進む中、対象となる高齢者も大幅に増加していることから、支給年齢の区分(99歳、101歳以上)を一部廃止する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		実施	
目標値			140千円	140千円

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> 各地区の敬老会運営主体(区・公民館等)との調整 敬老会での対象者へのお祝い形態の設定 条例改正 			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 荒川地区で集落運営方式に移行調整中。H26年度は、31集落中9集落で実施した。次年度で集落運営をしていない集落に呼びかけてゆく。 荒川地区直営の敬老会で、公平な祝事業運営のため不参加者へのお祝いを実施した。 荒川地区の市議会議員に集落運営へ移行することを説明し理解を得た。 			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	H26年度に集落運営に移行しなかった集落には、行政が敬老会を実施すべきとの意見もある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	集落運営に移行した集落の実施内容などを例示し移行促進するために区長会などで再度説明し理解を求める。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討・調整	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	・荒川地区の各集落区長に集落運営方式への移行を呼びかけた結果、集落運営方式に移行した集落は、31集落中9集落、29%にとどまった。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	・敬老祝事業は行政が実施すべきとの意見が根強い。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		調整	実施
目標値				140千円
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 集落運営方式に移行しなかった集落を中心に、実施した集落の事業内容をまとめ、集落実施のメリットを強調して周知し移行を呼びかけてゆく。 < 理由 > 平成26年度に集落運営方式に移行しなかった集落は、行政が敬老会を実施すべきとの意見が根強い。</p>			
平成27年度実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・集落実施のメリットを強調して直営方式から集落運営方式への移行を呼びかける。 ・直営方式敬老会の廃止時期の検討 ・村上市長寿祝金等支給条例一部廃止(99歳、101歳以上の対象者削除)の条例改正 			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	60			
取組項目 (コード)	2-3-8-2	まほろば配湯事業の見直し		
実施課	介護高齢課	関係課	-	
実施内容	まほろば温泉の湯量(井戸ポンプの改修等に係る)問題もあり、配湯事業所が少なくなったため廃止する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	利用者への調査	廃止		
目標値		3,240千円		

【平成26年度実施計画】

年次取組	廃止	目標値	3,240千円
平成26年度 実行内容	平成26年度にまほろば温泉配湯条例廃止案を上程予定。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成25年3月31日を以て事業休止とした。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	H26年度は、再開要望等もなかったため、条例所管課と調整しH27年度に条例廃止案を上程する。			
中間における見込み	取組進捗見込	休止	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	一部実施	実績値	3,240千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	・朝日まほろば温泉配湯条例第6条により休止中。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	・まほろば温泉所管課のポンプ交換工事内容に変更があったため、配湯休止を継続中。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	利用者への調査	休止	廃止	
目標値		3,240千円		
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > 揚湯状況の把握 < 理由 > ポンプ入替工事内容の変更により、揚湯量の改善効果が不明。			
平成27年度実行内容	・所管課と工事後の揚湯状況の確認と廃止に向けた協議 ・村上市まほろば温泉配湯条例廃止案を上程			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	61-1			
取組項目 (コード)	2-3-9-1-1	投資的経費の縮減(一般会計)		
実施課	財政課	関係課	関係各課	
実施内容	投資的経費(普通建設事業のうち、工事請負費、委託料(建設事業に係るもの)、備品購入費)について、予算編成において対前年比 5%とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	135,545千円	231,778千円 (H27当初予算)	220,190千円 (H28当初予算)	209,180千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	231,778千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	目標値を満たすよう予算査定を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	新ごみ処理場建設事業を除く平成26年度当初予算の投資的経費は3,088,593千円で、平成27年度当初予算では3,438,707千円となり、350,114千円の増額となった。継続事業である市道桃川牧目線の早期完成に向けて事業費を増額したことや、保内学童保育所建設事業の実施によるものが主な要因である。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点				
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)				
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	350,114千円(11%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	350,114千円(11%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>新ごみ処理場建設事業を除く平成26年度当初予算の投資的経費は3,088,593千円で、平成27年度当初予算では3,438,707千円となり、350,114千円の増額となった。継続事業である市道桃川牧目線の早期完成に向けて事業費を増額したことや、保内学童保育所建設事業の実施によるものが主な要因である。</p>			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	目標値を満たすよう予算査定を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			171,935千円 (H28当初予算)	163,338千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	61-2			
取組項目 (コード)	2-3-9-1-2	投資的経費の縮減(情報通信事業特別会計)		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	投資的経費(普通建設事業のうち、工事請負費、委託料(建設事業に係るもの)、備品購入費)について、予算編成において対前年比 5%とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	446千円	2,003千円 (H27当初予算)	1,903千円 (H28当初予算)	1,808千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2,003千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	平成26年度は朝日情報センタースタジオ設備の更新を行うため、対前年度比26,147千円の大増となった。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	朝日スタジオ設備デジタル化事業は、予定どおり進捗している。目標値に関しては、H27当初予算要求段階において、H26当初予算比 35,072千円となっている。			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	朝日スタジオ設備デジタル化事業を除けば+1,000千円(H27要求時)であるが、これは県事業の実施に伴う必須の工事請負費であり、市の都合で削減できない経費である。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	H26年度の朝日スタジオ設備デジタル化工事が終了すれば、今後はこの類の投資的事業の計画は無いが(有るのは国県事業等に伴う必須の事業)、大規模な修繕等が必要となる場合は、目標値に関わらず予算化も止むを得ないとする。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	35,072千円

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	35,072千円 (H27当初予算)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成27年度当初予算における投資的経費は、県道改良(県事業)に伴う情報通信施設支障移転工事に係る工事請負費のみである。これは外部要因により予算化が必要な経費のため、比較してもあまり意味がない。また、平成27年度当初予算においては、平成26年度の朝日情報センタースタジオ設備デジタル化工事のような投資的事業が無いため、この比較としては皆減である。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	国・県や民間事業者(電力会社・NTTなど)の事業に伴う情報通信施設支障移転工事については、調整が難しい。また、これ以外の投資的経費は今のところ予定は無いが、大規模な修繕工事等が必要となった場合は、本目標に係わらず予算化し実施せざるを得ない。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	当初予算では、県事業に伴う投資的経費のみだが、これ以外で年度中に投資的経費の補正予算化や次年度の当初予算化が必要となった場合でも、なるべく経費の抑制を図るものとする。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			250千円 (H28当初予算)	237千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	61-3			
取組項目 (コード)	2-3-9-1-3	投資的経費の縮減(蒲萄スキー場特別会計)		
実施課	商工観光課	関係課	-	
実施内容	投資的経費(普通建設事業のうち、工事請負費、委託料(建設事業に係るもの)、備品購入費)について、予算編成において対前年比 5%とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	5%	2,821千円 (H27当初予算)	2,608千円 (H28当初予算)	2,550千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2,821千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	設計内容を精査し、経費節減に努める。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	点検の結果、使用できる部品を再使用し経費の削減に努めた。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	シーズン中に故障の無いように点検等を実施する。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	人的事故の無いよう安全運転に努める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	851千円(4%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	3,594千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	優先順位を付け、修繕箇所の絞り込みを行ない、経費の節減を図った。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	リフト、圧雪車、ロッジ等の施設の老朽化が進み、毎年の修繕費が多額となっている。投資と経費削減のバランスを考慮していく必要がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	平成27年度は圧雪車購入が減額要素となっており投資的経費は大幅な削減になった。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			2,642千円 (H28当初予算)	2,510千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	61-4			
取組項目 (コード)	2-3-9-1-4	投資的経費の縮減(下水道事業特別会計)		
実施課	下水道課	関係課	-	
実施内容	投資的経費(普通建設事業のうち、工事請負費、委託料(建設事業に係るもの)、備品購入費)について、予算編成において対前年比 5%とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	90,615千円	57,894千円 (H27当初予算)	54,999千円 (H28当初予算)	52,250千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	57,894千円 (H27当初予算)	
平成26年度 実行内容	・建設事業においてH30年度完了を目標に管渠整備を進めており、計画年度内での完成を目指すためには目標値の達成は困難である。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26年度は交付金の減額により事業費を縮減したため、H27年度当初予算では前年度に比して要求額が増したため目標が達成できなかった。			
中間評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	建設事業についてはH30年度完了を目標に管渠整備を進めており、計画年度内での完成を目指すためには目標値の達成は困難である			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	365,341千円 (32%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	316,742千円(27%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	H26年度は交付金の減額により事業費を縮減したため、H27年度当初予算では前年度に比して事業費が増したため目標が達成できなかった。			
最終評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
問題点・課題点	維持管理での大規模修繕は施設の正常稼働のため必須であり、削減は非常に難しい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	建設事業についてはH30年度完了を目標に管渠整備を進めており、計画年度内での完成を目指すためには目標値の達成は困難である			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			73,731千円 (H28当初予算)	70,045千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	61-5			
取組項目 (コード)	2-3-9-1-5	投資的経費の縮減(集落排水事業特別会計)		
実施課	下水道課	関係課	-	
実施内容	投資的経費(普通建設事業のうち、工事請負費、委託料(建設事業に係るもの)、備品購入費)について、予算編成において対前年比 5%とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	436千円	3,721千円 (H27当初予算)	3,535千円 (H28当初予算)	3,359千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	3,721千円 (H27当初予算)	
平成26年度 実行内容	計画している事業を予定通り実施すると平成26年度は目標値を達成することは難しい			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	瀬波地区(滝の前)管渠布設工事のほか維持管理での大規模修繕工事のために要求額が増加し目標を達成できなかった。			
中間評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	維持管理での大規模修繕は施設の正常稼働のために必須であり、削減は非常に難しい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	13,058千円 (18%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	7,721千円(10%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	瀬波地区(滝の前)管渠布設工事のほか維持管理での大規模修繕工事のために要求額が増加し目標を達成できなかった。			
最終評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
問題点・課題点	維持管理での大規模修繕は施設の正常稼働のために必須であり、削減は非常に難しい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	今後大規模な改築更新事業を毎年度予定しており、また施設の老朽化に伴い修繕費も増加も予想されるため目標を達成するのは難しい。			

行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			4,107千円 (H28当初予算)	3,902千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更			

行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	61-6			
取組項目 (コード)	2-3-9-1-6	投資的経費の縮減(簡易水道特別会計)		
実施課	水道局	関係課	-	
実施内容	投資的経費(普通建設事業のうち、工事請負費、委託料(建設事業に係るもの)、備品購入費)について、予算編成において対前年比 5%とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	10,451千円	17,100千円 (H27当初予算)	16,235千円 (H28当初予算)	15,432千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	17,100千円 (H27当初予算)	
平成26年度 実行内容	統合事業が継続されること、滝の前地内の集落排水事業に伴う工事が実施されること等により、目標達成は難しい状況である。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26実行内容とおり、事業量が増大しているため、目標達成は難しい状況である。			
中間評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	上水道への統合事業、集落排水事業に伴う配水管改良工事等の事業がH32頃まで継続する予定であるため、一律前年度比 5%という目標設定は難しい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	総合計画等で事業予定は決まっているものは除外とし、計画外の事業についての削減目標としていただきたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	216,305千円 (79%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	284,328千円 (104%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	H26当初予算額 274,158千円 H27当初予算額 558,486千円 増減額284,328千円			
最終評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
問題点・課題点	上水道への統合事業、集落排水事業に伴う配水管改良工事等の事業がH32頃まで継続する予定であるため、総合計画等で事業予定が決まっているものは除外とし、計画外の事業についての削減目標としていただきたい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度 実行内容	H27当初予算額 558,486千円			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)	
年次別取組			実施	
目標値			27,924千円 (H28当初予算)	26,528千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案]H27年度当初予算額による目標値変更			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	61-7			
取組項目 (コード)	2-3-9-1-7	投資的経費の縮減(上水道事業会計)		
実施課	水道局	関係課	-	
実施内容	投資的経費(普通建設事業のうち、工事請負費、委託料(建設事業に係るもの)、備品購入費)について、予算編成において対前年比 5%とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	61,042千円	58,567千円 (H27当初予算)	55,638千円 (H28当初予算)	52,856千円 (H29当初予算)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	58,567千円 (H27当初予算)
平成26年度 実行内容	計画している事業を予定通り実施すると、H26年度は前年度比 6.2%の事業費となる。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26実行内容のとおり実行した。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	H28からH31頃に村上及び荒川地区の拡張事業がピークを迎えることから、一律前年度比 5%という目標設定は難しい。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	総合計画等で事業予定は決まっているものは除外とし、計画外の事業についての削減目標としていただきたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	25,942千円 (8%)

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	101,498千円 (11%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	H26当初予算額 949,585千円 H27当初予算額 848,087千円 増減額 101,498千円			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	H28からH31頃に村上及び荒川地区の拡張事業がピークを迎えることから、総合計画等で事業予定は決まっているものは除外とし、計画外の事業についての削減目標としていただきたい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	H27当初予算額 848,087千円			

行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	見直し(行革意見)
年次別取組		実施	
目標値		42,404千円 (H28当初予算)	40,284千円 (H29当初予算)
意見	実施課評価のとおり [計画変更案] H27年度当初予算額による目標値変更		

行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	行革担当案とする
意見	行革担当意見と同じ		

整理番号	62			
取組項目 (コード)	3-1-1-1	「接遇マニュアル」の作成、アンケートの実施		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	必要により研修を併用しながら、職員対応のレベルアップを図るための「マニュアル」を作成する。 マニュアル作成にあたっては、平成22年に行った窓口アンケートの結果を参考にす る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	接遇マニュアル作成に向けた検討を行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	接遇マニュアルの検討まで至っていない。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	市の地域性・特色を生かした独自のマニュアルを作成する必要があるため、チーム等を設置して検討する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	チームの設置等について検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成25年度に行った接遇研修と先駆市の接遇向上マニュアル等を参考にしながら案を検討している。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	市独自の接遇マニュアルの作成を検討する。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	63			
取組項目 (コード)	3-1-1-2	民間企業等、外部研修制度の検討		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	住民への対応向上のため、民間環境での研修による職員の意識・能力の向上を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討・実施			
目標値	5人	5人	5人	5人

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討・実施	目標値	5人
平成26年度 実行内容	受け入れ先の調査検討を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	具体的な調査・検討を行っていない。 ただし、今年度の市独自研修として36歳以下職員を対象に「民間経営に学ぶ」と題し、行政に民間の感覚を取り入れていけるよう意識改革を行った。			
中間評価	D 見直しが必要(非常に悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	研修目的の明確化			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	研修目的を明確にし、検討を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	具体的な調査・検討を行っていない。 ただし、今年度の市独自研修として36歳以下職員を対象に「民間経営に学ぶ」と題し、行政に民間の感覚を取り入れていけるよう意識改革を行った。(中間状況と同じ)			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	研修目的を明確にし、検討を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	64			
取組項目 (コード)	3-1-1-3	接遇に対しての職員の自己評価の実施		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	自己の対応を検証して、更なる向上を図るため評価を実施する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	接遇マニュアル作成に向けた検討を行う。(3-1-1-1と重複)			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	3-1-1-1「接遇マニュアル」の作成、アンケートの実施」と同様			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	3-1-1-1「接遇マニュアル」の作成、アンケートの実施」と同様			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	3-1-1-1「接遇マニュアル」の作成、アンケートの実施」と同様			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	市独自の接遇マニュアルが作成できていないため自己評価ができない。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	市独自の接遇マニュアルの作成を検討する。(3-1-1-1と重複)			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	65			
取組項目 (コード)	3-1-2-1	延長窓口等の充実・検証		
実施課	市民課	関係課	-	
実施内容	サービスとして定着されてきており、内容を検証しながらサービスの充実を図る。 なお、支所については本庁での対応が可能なところは集約する。 また、休日窓口について検討も行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検証・実施			
目標値	1,360人	1,385人	1,400人	1,410人

【平成26年度実施計画】

年次取組	検証・実施	目標値	1,385人
平成26年度 実行内容	25年度末(3/31)の利用実績によっては、年度末年度初めの延長窓口を廃止し、本庁については、毎週火、木曜日、支所については木曜日及び年末(全庁舎)の開設としたい。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年9月30日までの実績については次のとおりであった。 全体 受付件数 937件 利用者数 739人 本庁 666件 531人 荒川支所 124件 82人 神林支所 71件 56人 朝日支所 36件 37人 山北支所 40件 33人 毎週火曜日、木曜日の延長窓口について、本庁の延長窓口を利用される方は相応にあるものの、支所窓口の利用者数は非常に少ない。 開設日等については市報に掲載するとともに、電話での照会の際にもお知らせしPRしている。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	本庁の窓口利用者数は相応にあるものの、支所窓口の利用者は極めて少ない。 今後は、廃止を含めて開設日等についての見直しが必要。 更に支所については1人体制で業務を行っており、庁舎管理の上からも問題があるものと思われる。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	年度末年度初めの延長窓口開設の必要性について、再度協議・検討したい。 また、支所のすべての延長窓口開設について協議・検討したい。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討・実施	実績見込	1,400人

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	検討・実施	実績値	1,589人	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>平成26年年度の実績については次のとおりであった。(H27.3.20時点)</p> <p>全体 受付件数 2,029件 (-23件) 利用者数 1,574人 (-27人)</p> <p>本庁 1,338件 (-33件) 1,068人 (-46人)</p> <p>荒川支所 295件 (-12件) 193人 (+6人)</p> <p>神林支所 135件 (-53件) 111人 (-33人)</p> <p>朝日支所 140件 (+32件) 120人 (+34人)</p> <p>山北支所 121件 (+39件) 82人 (+12人)</p> <p>毎週火曜日、木曜日の延長窓口について、本庁の延長窓口を利用される方は相応にあるものの、支所窓口の利用者数は非常に少ない。開設日等については市報に掲載するとともに、電話での照会の際にもお知らせしPRしている。</p> <p>なお、利用者の少ない年度末年度初めの延長窓口は、平成26年度末から廃止とした。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	<p>本庁の窓口利用者数は相応にあるものの、支所窓口の利用者は極めて少ない。また、支所については1人体制で業務を行っており、庁舎管理や現金管理の点からも問題があるものとするが、現在の支所職員数では複数人による対応が困難である。個人番号カードを利用したコンビニ交付の実施を検討する必要があり、延長窓口とあわせて業務を整理する必要がある。</p>			
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	<p>年度末年度初めの延長窓口を廃止し、支所の延長窓口の開設日を第2、4木曜日に変更をする。</p> <p>実績の少ない支所の延長日の縮小がサービス低下とならないよう、業務内容等についても検討したい。</p>			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	66			
取組項目 (コード)	3-2-1-1	携帯電話等を活用した新たな情報発信		
実施課	政策推進課	関係課	総務課、市民課、福祉課、保健医療課	
実施内容	情報発信する内容を拡充するとともに、利用者側で必要とするものを選択できるシステムを構築する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値	(アクセス数)11,100	(登録者数)10,240	10,790	11,290

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	(登録者数)10,240
平成26年度 実行内容	防災・防犯情報の他、子育てに関する情報のメール配信を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	ホームページのリニューアルに合わせて、メール配信システムを更新した。防災情報については、内容を総務課が所管している。防災メール登録者は11月当初で約10100人。5月1日から子育てメールマガジン「はぐナビ」として子育て情報に関するメール情報を月1回登録者へ配信している。「はぐナビ」登録者は11月当初約330名。記事内容は保健医療課と福祉課で編集し、順次アイデアを凝らしながら情報発信に努めている。			
中間評価	A 計画を上回る(良い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	子育て支援メールについては、新たな情報や内容を加味しながら、記事の充実を図ることが必要。利用者の拡大については、保護者の口コミをお願いしたり、保育園入園児に情報提供するなどのPRなども必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	福祉課と保健医療課で記事内容を検討しながら、編集会議を行っている。今後、読者の意見を取り入れることも必要。保育園、赤ちゃん検診会場で登録を呼びかけている。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	(登録者数) 10,901	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>防災・防犯メール、子育てメールともに登録者数が少しずつではあるが増加し、純登録者数が目標値を超えた。</p> <p>内容については、防災メールは従来どおりの情報発信を行った。子育てメールは、保健師からの子育て情報を伝える「すくすくコラム」と、子どもの食育に役立つ「食育の日給食レシピ」を月替わりで配信し、内容の拡充に努めた。3月号では読者アンケートを実施。今後は、アンケートの結果を参考に、引き続き内容の拡充に努める。</p>			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	<p>登録者数の伸び悩みが懸念されることから、それぞれのジャンルごとに、登録対象者へ登録を呼びかける効果的な手段を検討する必要がある。</p> <p>防災・防犯メールに、選挙のお知らせなど一般のお知らせを流しているため、「市からのお知らせ」のような広く行政情報を配信するジャンルを作る必要がある。</p>			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	<p>登録者については、引き続き増加を目指して、効果的な登録呼びかけを検討、実施する。</p> <p>内容については、防災・防犯メールはこれまでどおり配信。子育てメールは、読者参加型のコーナーを新設し、内容の拡充を図る。その他、情報発信の頻度を勘案した上で、ジャンルの新設を検討する。</p>			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	67			
取組項目 (コード)	3-3-1-1	事務事業の整理・統合実施		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	平成29年4月1日の組織機構改革に向け、事務事業改革実行表を作成し整理を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	事務事業改革実行表の検討を行う。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	事務事業を対象とした行政評価制度の本格的稼働にて事務事業の整理が行えることから合わせて検討を行う。			
中間評価				
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	行政評価制度構築に向けた予算要求を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	-	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	-	実績値	-
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	事務事業を対象とした行政評価制度の本格的稼働にて事務事業の整理が行えることから合わせて検討を行う。		
最終評価			
問題点・課題点	-		
取組内容など計画の変更(案)			
	H25	H26	H27
年次別取組			
目標値			
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>		
平成27年度実行内容	行政評価制度本格的運用する。		
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-
意見	実施課評価のとおり		
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-
意見	行革担当意見と同じ		

整理番号	68			
取組項目 (コード)	3-3-1-2	行政改革大綱実施計画の進捗管理		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	行政改革推進委員会へ取り組み状況を報告し、意見の諮問・答申を行う。 後期実施計画では、毎年度の見直しを実施する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	行政改革大綱後期実施計画に対する平成25年度進捗状況について内部評価を行い、 行政改革推進委員会に諮問し意見をいただく。 その意見を踏まえ、行政改革大綱後期実施計画の見直しを行う。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	行政改革大綱後期実施計画に対する平成25年度進捗状況の内部評価及び計画変更 案を行政改革推進委員会に諮り意見をいただいた。 その意見を基に計画変更及び平成26年度の中間進捗状況を把握す評価することとし た。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	中間進捗状況を基に状況を把握し、取り組みを行い、中間進捗を合わせた形で最終評 価を行い、行政改革推進委員会へ意見を諮る。 また、行政改革推進委員会の負担を軽減した形で諮る方法を検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	行政改革大綱後期実施計画に対する平成25年度進捗状況の内部評価及び計画変更案を行政改革推進委員会に諮り意見をいただいた。 その意見を基に計画変更及び平成26年度の間進捗状況を把握し、評価を行った。 また、行政改革推進委員会の負担を軽減した形で諮る方法を検討した。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	行政改革大綱後期実施計画に対する平成26年度進捗状況について内部評価を行い、一部取り組みについて行政改革推進委員会に諮問し、意見をいただく。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	69			
取組項目 (コード)	3-3-1-3	行政評価制度の創設		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	行政外部による評価を取り入れた評価制度の構築を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	試行	実施・検証		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施・検証	目標値	-	
平成26年度 実行内容	行政改革推進委員会による提言を基にさらなる検証を行い制度を構築する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	昨年度の提言を基に、事務局素案を修正し、対象事業を各課1事業として拡大して試行を行う。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	行政改革推進委員会の意見を踏まえた制度構築に向けた予算要求を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>試行として行政改革推進委員会が選定した26事業を評価し、その中から4事業を外部評価として行政改革推進委員会に評価していただいた。 その評価結果を行財政本部会議で協議し、予算への反映を行った。 また、次年度にシステムを利用して本格的導入を行うための予算措置を行った。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > < 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	システムを利用した本格的導入を図る。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	70			
取組項目 (コード)	3-3-1-4	地籍調査委託の推進		
実施課	都市整備課	関係課	-	
実施内容	国土調査法第10条第2項の規定による地籍調査の委託を実施する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	実施		
目標値		約0.4km ²	約0.4km ²	約0.4km ²

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	約0.4km ²
平成26年度 実行内容	<p>【朝日地区】 委託費 14,460千円 寺尾・宮ノ下 第29・30計画区 調査面積0.14km² (F2-2,G,H工程実施予定) 下中島・鵜渡路 第31・32計画区 調査面積0.19km² (D,E,F1,F2-1工程実施予定)</p> <p>【神林地区】 16,540千円 牧目・南田中・北新保 第30・31計画区 調査面積0.27km² (F2-2,G,H工程実施予定) 北新保・長松 第32計画区 調査面積0.28km² (D,E,F1,F2-1工程実施予定)</p>		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<p>総事業費31,000千円 【朝日地区】 寺尾・宮ノ下 第29・30計画区 調査面積0.14km² (F2-2,G,H工程実施中) 下中島・鵜渡路 第31・32計画区 調査面積0.19km² (D,E,F1,F2-1工程実施中) 追加: 上野第33計画区 調査面積0.25km² (E1工程実施予定) 【神林地区】 牧目・南田中・北新保 第30・31計画区 調査面積0.27km² (F2-2,G,H工程実施中) 北新保・長松 第32計画区 調査面積0.28km² (D,E,F1,F2-1工程実施中) 追加: 福田第33計画区 調査面積0.44km² (E1工程実施予定)</p>			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	0.5km ²

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	0.5km ²	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	総事業費31,000千円 【朝日地区】 寺尾・宮ノ下 第29・30計画区 調査面積0.13km ² (F2-2,G,H工程実施) 下中島・鵜渡路 第31・32計画区 調査面積0.19km ² (D,E,F1,F2-1工程実施) 鵜渡路 第32計画区 調査面積0.34km ² (E1工程実施) 上野第33計画区 調査面積0.25km ² (E1工程実施) 【神林地区】 牧目・南田中・北新保 第30・31計画区 調査面積0.27km ² (F2-2,G,H工程実施) 北新保・長松 第32計画区 調査面積0.28km ² (D,E,F1,F2-1工程実施) 福田第33計画区 調査面積0.44km ² (E1工程実施)			
最終評価	B 計画どおり			
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	総事業費26,340千円 【朝日地区】 下中島・鵜渡路 第31計画区 調査面積0.08km ² (F2-2,G,H工程実施予定) 鵜渡路 第32計画区 調査面積0.34km ² の内0.23km ² (D,E,F1,F2-1工程実施予定) 上野第33計画区 調査面積0.25km ² の内0.09km ² (C,D,E,F1,F2-1工程実施予定) 【神林地区】 北新保・長松 第32計画区 調査面積0.28km ² (F2-2,G,H工程実施予定) 福田第33計画区 調査面積0.44km ² の内0.16km ² (C,D,E,F1,F2-1工程実施予定)			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	71			
取組項目 (コード)	3-3-1-5	消防団組織の見直し		
実施課	消防本部	関係課	-	
実施内容	方面隊単位で、地域の現状と問題点を調査整理して組織の見直しを検討する「検討委員会」を立ち上げ、将来を見据えた適正な定数と車両・資器材の配備を定める。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査・検討			実施
目標値	-	-	-	-

【平成26年度実施計画】

年次取組	調査・検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	現状の把握・調査に努め、方面隊幹部会議での議論を重ねていき、適正定数及び車両資機材等の配備を検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	各方面隊に現状把握のため、実人員の内容調査を行う予定。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	現状把握後、適正定数の定め方と定数と併せて車両資機材等の配備も同時に考えなければならない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	現状把握後、方面隊幹部会議等でさらに議論が必要。			
中間における見込み	取組進捗見込	調査・検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	未調査	実績値	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	各方面隊に現状把握のため、実人員の内容調査等を行う予定であったが実施できなかった。		
最終評価	C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-		
取組内容など計画の変更(案)			
	H25	H26	H27
年次別取組	調査・検討		実施
目標値	-	-	-
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >		
平成27年度 実行内容	各方面隊に現状把握のため、実人員の内容調査を行い、現状の問題点を洗い出し適正定数や適切な資機材配置を消防備品の移譲と併せて検討する。		
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-
意見	実施課評価のとおり		
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-
意見	行革担当意見と同じ		

整理番号	72			
取組項目 (コード)	3-3-1-6	消防備品の移譲		
実施課	消防本部	関係課	-	
実施内容	小型可搬ポンプが複数台配備されている地区(行政区)の現状を調査し、協議によって不要と判断された小型可搬ポンプと器具置場を必要とする地元地区に移譲する。 必要としないものは廃棄、又は処分する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	各方面隊から現状を調査していただき、幹部会議などで検討し、小型可搬ポンプ・積載車の配備計画を作成した上で、必要と無くなった消防備品を移譲する基準を策定していきたい。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	更新により必要のなくなった消防車両11台について一般競争入札にて売却した。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	移譲する前に売却する方が適切かどうかの判断と車両の場合や小型ポンプの場合など備品の種類に応じた基準策定が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	基準策定にあたり関係課(総務課、財政課)との協議が必要である。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>小型可搬ポンプが複数台配備されている地区(行政区)の現状の調査ができず協議ができなかった。 消防車両は20年経過、小型ポンプは25年を経過したものについては、順次更新し更新した小型ポンプ等は本団で小型ポンプの部品を確保したり、予備ポンプとしてストックするものや車両等で再利用(消防協会岩船支会の構成市町村である粟島浦村での利用)きるものをなどを除いて廃棄申請し基本的に競売を行う。競売に係らなかったポンプ等については廃棄処分していく予定。 H26粟島浦村から競売前のポンプ自動車の譲与申請があり手続中。</p>			
最終評価	C 計画を下回る(悪い)			
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			実施
目標値	-	-	-	-
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > < 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	<p>消防団の組織見直しと一緒に進めていくことが効率的であると思われる。小型可搬ポンプが複数台配備されている地区(行政区)の現状の調査を行い、小型可搬ポンプ・積載車の配備計画を作成した上で幹部会議で検討し、移譲又は売却、廃棄などの協議に向けて取り組みたい。</p>			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	73			
取組項目 (コード)	3-3-1-8	乳幼児健診の一部統合		
実施課	保健医療課	関係課	-	
実施内容	対象人数の把握、保護者への意見聴取を進めながら、できるものから徐々に統合をしていく。 ・ 25年度:朝日地区4か月児健診を村上地区と統合			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討・実施			
目標値	144千円			

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討・実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	25年度に実施した朝日地区4か月児健診の統合のみを継続。更なる統合について、保護者への意見聴取を進めながら検討し、方向性を出していきたい。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26～27年度にかけ乳幼児を持つ保護者に対してアンケート調査を実施予定。その結果から平成28年度実施を考えたい。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	市民の理解を十分に得ることが必要である。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	アンケート調査の実施			
中間における見込み	取組進捗見込	検討・実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討・実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	アンケート作成し、平成27年2月から、乳幼児健診で実施している。今後7ヶ月間調査予定である。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	市民の理解を十分に得ることが必要である。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	8月までアンケートを実施して、集計、分析をして、市民の意向を確認しながら、具体的な乳幼児健診の実施方法を検討していく。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	74			
取組項目 (コード)	3-3-2-2	国県の権限移譲の受け入れ促進		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	市民への便益を考え、サービスの向上に向けた積極的な権限移譲を進める。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	(移譲事務数) 1	(移譲事務数) 1	(移譲事務数) 1	(移譲事務数) 1

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	(移譲事務数) 1
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> 任意移譲事務のほか、第3次一括法に絡む法定事務移譲もあったことから、26年度中の条例改正を要する部分に注意が必要。 権限移譲については、所管課の事務負担という面ばかりではなく、市民の利便性を向上する視点を重要視するよう各課への依頼を行う。 		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年度の任意移譲は3事務(商工会議所届出事務、浄化槽設置届出事務、老人福祉センター設置届出事務)であり、平成27年度からの任意移譲についても3事務を予定している。 第3次一括法案による条例改正についても、影響のあるものは3月までに改正を終える予定である。			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	人員減少する中、業務が拡大することとなる。また、移譲事務の中には専門的知識や資格などが必要なものもあり、対応が困難となるものもある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	人員についての問題は当課では対応が困難。 他市の受け入れ情報などを全課に情報提供しながら、比較的多く移譲を受けているものについて、各課に直接移譲を呼び掛ける方式をとっている。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	(移譲事務数) 3

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	実施	実績値	(移譲事務数) 4	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	福祉課(放課後児童健全育成事業の開始届等の受理)、都市整備課(福祉のまちづくりに関する事務、建築物の高さに関する特例許可)、保健医療課(受胎調節実地指導員の指定等に関する事務)事業を平成27年度から事務移譲を受けて実施する。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	職員が減少する中、業務範囲が拡大することとなる。また、移譲事務の中には専門的知識や資格などが必要なものもあり、対応が困難となるものもある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	・事務移譲については、市民の利便性を向上する視点を重要視するよう各課への依頼を行う。 ・法定移譲については、条例制定、改正に注意する。 ・専門的知識の必要な事務については、職員の体制やアウトソーシングの可否、今後の動向を踏まえながら、市及び市民が受けるメリットとデメリットを十分精査し検討する。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	75-1			
取組項目 (コード)	4-1-1-1-1	支所・学校の空きスペース有効利用の検討・実施		
実施課	学校教育課	関係課	-	
実施内容	空きスペースの有効利用を検討し、地域の活性化、少子高齢化対策への対応を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	調査により状況把握に努める			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成25年7月の「余裕教室状況調査」により、未活用余裕教室はない現状であった。今年度も昨年と比べ大幅な学級数減はなかったことから、未活用余裕教室はない状況であった。			
中間評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	毎年の確認が必要であるとともに、長期の展望が必要である。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	未活用余裕教室の活用方法を長期間の展望により、検討する必要がある。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	未活用余裕教室の調査と活用方法を検討を実施する			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続き、未活用余裕教室の有無を確認し、もし、これらがあった場合は、活用方法を検討する			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	調査・検討段階のため「B 計画どおり」と考える。			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	75-2			
取組項目 (コード)	4-1-1-1-2	支所・学校の空きスペース有効利用の検討・実施		
実施課	荒川支所 地域振興課	関係課	-	
実施内容	空きスペースの有効利用を検討し、地域の活性化、少子高齢化対策への対応を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	2階事務室フロアについて、「あらかわ地区まちづくり協議会」に有効利用が図られるよう検討していく。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	2階事務室フロアは「あらかわ地区まちづくり協議会」で活用を図っている。残りのスペースは、本庁の書庫として活用を図る計画である。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	書庫として活用を図るためには、パーティションで仕切る必要があり、書類を収める棚が必要となる。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	パーティションと書類棚を平成27年度に予算計上をした。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	2階事務室フロアは「あらかわ地区まちづくり協議会」で活用を図っている。残りのスペースは本庁の書庫として活用を図る計画であるが、保管する書類を具体的にしてから書庫としての活用を図っていく。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	重要書類の保管を図る書庫として、活用するためには、パーティションで仕切る必要がある。また、書類を収める棚の設置が必要である。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	保管すべき書類と数量を決める。 設置する棚のレイアウトの作成を行う。 平成28年度書庫として活用するためのパーティションと棚の見積書の依頼を行う。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	75-3			
取組項目 (コード)	4-1-1-1-3	支所・学校の空きスペース有効利用の検討・実施		
実施課	神林支所 地域振興課	関係課	-	
実施内容	空きスペースの有効利用を検討し、地域の活性化、少子高齢化対策への対応を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	大会議室は昨年に引き続き、職員ポータル等で予約、会議室として利用できるよう周知する。 旧議場・旧村長室は構造上、会議室としては使用できない特殊性があるため書庫としての一時利用を検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成24年度から実施している、旧正副議長室の弁護士相談室としての利用は継続している。大会議室については職員研修会、各種団体総会等会場として活用している。また、職員ポータルでの予約管理により、突発的な会議室利用に対しても、職員間での調整が容易に実施できている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	庁舎内施設としての構造となっているため、利活用に制限がある。また、本来の目的が庁舎施設ということから、利活用の時間にも問題がある。弁護士相談室として会議室を貸出ししていますが、それ以外の会議、相談室としての利活用が望めない状況にあります。旧議場のように用途が限定されたつくりをしている部屋などは、汎用性のある部屋に改修(多額の改修費)しなければ、利活用の向上は望めない状況であります。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	夜間開催される会議についても利用を実施している。ある程度利用制限は付くと思うが、今後も業務時間外利用にも努めていく必要があると思われる。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>旧議員控室は大会議室として平成25年度から各種会議や職員研修等で利用しています。また、旧議場については、地区区長会総会、老人クラブ総会等の外郭団体での利用を図りました。旧村長室については、応接室としての特殊性があり利用を図ることができませんでした。</p> <p>また、庁舎2階のミーティングルームに平成27年4月より社会福祉協議会の事務室が利用することになっております。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	旧議場・旧村長室は構造上会議室としては使用できない特殊性があります。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	<p>大会議室は引き続き職員ポータル等で予約、会議室として利用できるよう周知します。旧議場・旧村長室は構造上会議室としては使用できない特殊性があるため、今後、利用方法について検討します。4月より庁舎2階ミーティングルームに社会福祉協議会が事務室として利用することになり、これからも空きスペースの有効利活用に努めていきます。</p>			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	75-4			
取組項目 (コード)	4-1-1-1-4	支所・学校の空きスペース有効利用の検討・実施		
実施課	朝日支所 地域振興課	関係課	-	
実施内容	空きスペースの有効利用を検討し、地域の活性化、少子高齢化対策への対応を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	庁舎の耐震診断にあわせ、大規模改造を見据えた庁舎の有効活用を検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	耐震診断を実施中。大規模改造に向けた庁舎の有効活用協議を一度行った。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	活用に向けた協議は、関係者で継続的に行う必要があり、まとまるのは時間がかかる。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	今年度中に複数回協議を行う予定で、年度内に形が見えてくるようにする。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	S53竣工の庁舎をより長く住民の方に利用できるような工事にむけての実施設計予算を要求した。 あわせて、現在ある庁舎の空きスペースについて、大規模改造を見すえた活用検討を関係者を交えて2回実施した。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	市の機能だけでは空きスペースの有効活用を見いだせない。他の庁舎の例を参考にしながら入ってもらえる団体について、検討を続ける必要がある。事務室の保守についても考慮する必要がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	引き続き検討するが、大規模改造の実施設計委託費が予算化されたのちは、工事にむけてのより詳細な検討を委託業者も含め検討し、空きスペースの活用の案についてまとめる。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	76			
取組項目 (コード)	4-1-1-2	学童保育所の充実		
実施課	福祉課	関係課	学校教育課	
実施内容	空きスペースについて学童保育所としての有効利用を検討する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-
平成26年度 実行内容	保内学童保育所の移転場所を検討してきたが適地がなく、老朽化が進み緊急に建設が必要であるため、改築を行う。 山北やまゆり学童保育所については、今後も他の施設の利用を検討する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保内学童保育所建設方針を、現敷地内での建替えと定め、平成26年度内に実施設計を終える予定。 ・山北やまゆり学童保育所については、計画的な修繕を開始したため、今後も同施設の継続利用が望めることとなった。 			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・保内学童保育所建設の基本設計、地質調査及び実施設計業務の委託 ・山北やまゆり学童保育所の屋根及び床修繕工事 			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値		
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・保内学童保育所建設の基本設計、地質調査及び実施設計業務の委託を終えた。 ・山北やまゆり学童保育所の屋根及び床修繕工事を行った。 			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	山北やまゆり学童保育所は修繕するも老朽化を食い止める手立てとはならず、また、山北はまゆり学童保育所は山北おおぞら保育園の一角にあり、施設としては新しいものの有効面積が狭く入所決定に苦慮しているため、山北地区における学童保育所のあり方を検討しなければならない。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・保内学童保育所建設工事 ・山北地区の学童保育所整備方針の検討 ・南町学童保育所、なんしょうクラブ統合施設新設の検討 			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	77-1			
取組項目 (コード)	4-2-1-1-1	公募により選定するもの(村上市老人福祉センター)		
実施課	介護高齢課	関係課	総務課	
実施内容	[公募による指定管理者制制度を継続するもの] ・村上市老人福祉センター			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			845千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	-		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理者の公募による指定について12月議会で議決予定			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	現指定管理者の資格喪失により、現在雇用中の施設職員の処遇について新指定管理者と協議が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	新旧指定管理者の引き継ぎ等の事業調整			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	・指定管理者の公募による指定について12月議会で議決。 ・第2期分指定管理料積算により、計画よりも更に152千円(3年間)減額。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	・平成27年4月1日から新指定管理者で運営開始。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	77-2			
取組項目 (コード)	4-2-1-1-2	公募により選定するもの(荒川いこいの家)		
実施課	介護高齢課	関係課	総務課	
実施内容	[公募による指定管理者制制度を継続するもの] ・ 荒川いこいの家			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			535千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	-		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理者の公募による指定について12月議会で議決予定			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	現指定管理者の資格喪失により、現在雇用中の施設職員の処遇について新指定管理者と協議が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	新旧指定管理者の引き継ぎ等の事業調整			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	・指定管理者の公募による指定について12月議会で議決。 ・第2期分指定管理料積算により、計画よりも更に25千円(3年間)減額。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	・平成27年4月1日から新指定管理者で運営開始。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-1			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-1	外郭団体等を指定するもの(養護老人ホームやまゆり荘)		
実施課	介護高齢課	関係課	総務課	
実施内容	【新たに限定指定による導入をするもの】 ・ 養護老人ホームやまゆり荘			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			12,848千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	-		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26.3月議会で議決済み。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	指定管理者側から出向し引き継ぎ勤務中			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年6月議会で指定管理者の指定が議決され、平成26年10月から引き継ぎ勤務を実施した。			
最終評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	H27.4.1から指定管理者で運営開始			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	「B 計画どおり」と考える。			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-2			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-2	外郭団体等を指定するもの(福祉センターゆり花会館)		
実施課	介護高齢課	関係課	総務課	
実施内容	[限定指定を継続するもの] ・福祉センターゆり花会館			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			1,748千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	・平成27年度の指定管理者再指定		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理者の公募によらない指定について3月議会で議決に向けて調整中			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	指定管理予定者との事業調整			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の公募によらない指定について3月議会で議決 ・指定管理期間を、前期2年間から5年間に変更。 ・指定管理料は、単年度での比較で3,057千円の増額となった。 ・増額の要因は、水道量水器の異常により、前期の水道料積算金額が低額に積算されていた。平成25年10月の量水器交換により、正常値と思われる数値となり、平成18年の量水器交換以前の水道使用量を基に積算した。 			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	給水管の老朽化			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	平成27年4月1日から現指定管理者により運営開始			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-3			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-3	外郭団体等を指定するもの(村上市コミュニティデイホーム)		
実施課	介護高齢課	関係課	総務課	
実施内容	[限定指定を継続するもの] ・村上市コミュニティデイホーム			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			405千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	-		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理者の公募によらない指定について3月議会で議決に向けて調整中			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	指定管理予定者との事業調整			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の公募によらない指定について3月議会で議決 ・指定管理期間を、前期3年間から5年間に変更。 ・指定管理料は、単年度での比較で58千円の増額となった。 			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年4月1日から現指定管理者により運営開始 			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-4			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-4	外郭団体等を指定するもの(神林いこいの家)		
実施課	介護高齢課	関係課	総務課	
実施内容	【限定指定を継続するもの】 ・ 神林いこいの家			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			569千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	-		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理者の公募によらない指定について3月議会で議決に向けて調整中			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	指定管理予定者との事業調整			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の公募によらない指定について3月議会で議決 ・指定管理期間を、前期3年間から5年間に変更。 ・指定管理料は、単年度での比較で3千円の増額となった。 			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組			実施	
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	・平成27年4月1日から現指定管理者により運営開始			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-5			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-5	外郭団体等を指定するもの(やまびこの家)		
実施課	福祉課	関係課	総務課	
実施内容	[新たに限定指定による導入をするもの] ・やまびこの家			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			279千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度指定管理移行後も現状と同等の福祉サービスが提供できるよう、H26年度1年間の準備期間の中で、利用者と指定管理事業所職員との信頼関係構築のための支援や利用者個々の支援体制づくりに向けて十分な引継ぎを行う。 ・施設整備のための空調改修工事を円滑に進める。 		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<p>「(平成26年10月31日現在)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談業務日誌や個別支援計画作成において、個々の利用者の具体的支援の引継を行った。 ・利用者と指定管理事業所職員との信頼関係構築のため、その関係づくりを支援した。 ・利用者個々の支援体制づくりに向けて、実際のケースの中でその方法について引継を行った。 ・空調設備改修工事: 契約日H26.4.22 完了日H26.6.30 			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の支援内容の方向性をこれまでと同一にするため、利用者のこれまでの経過や具体的支援内容等の情報を指定管理事業所とより共有しながら、客観性のある個別支援計画書を作成する必要がある。 			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・蓄積された個別記録や支援計画書等の記録物を有効に活用する。 ・平成27年度指定管理導入後も個々への福祉サービスが個別支援計画書を元に支援が展開されていくよう、記録物の完成に向けて支援の要点を引継する。 ・個別支援計画書の実施評価記載にあたっては、客観性のある内容となるよう、十分な引継を行う。 			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>平成27年度からの指定管理運営開始後もこれまでと同等のサービスを利用者へ提供するため、今年度、指定管理事業所へ相談委託業務を行う中で、担当職員と個々の利用者支援の引継を行った。</p> <p>引継については、利用者と相談委託業務担当者との信頼関係構築に向けて、これまで蓄積された個別記録等を元に、あらゆる施設活動の実際場面の中で支援を行った。</p> <p>また、利用者個々の支援内容の方向性をこれまでと同一にするため、相談業務日誌及び個別支援計画作成や実際のケースとのかかわりの中で、常に支援内容見極めの作業を共有しながら引継を行った。</p> <p>業務仕様書に基づく完成記録物については、指定管理開始後の支援体制を考慮し、より客観性のある内容で完成させた。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	指定管理運営開始後のスムーズな運営のため、指定管理事業所と連絡を密に取り合いながら、運営状況について把握し情報共有に努める必要がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	平成27年度は指定管理運営初年度にあたることから、これまで提供した福祉サービスと同等以上となるよう、やまびこの家運営委員会での協議や指定管理事業所からの運営状況報告等の確認を行う。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-6			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-6	外郭団体等を指定するもの(村上地区体育館)		
実施課	生涯学習課	関係課	総務課	
実施内容	【限定指定を継続するもの】 ・村上地区体育館			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		実施		
目標値		2,778千円		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	2,778千円
平成26年度 実行内容	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理者が協定内容に基づき業務を進めている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	指定管理料はその時々施設の施設管理にかかる必要経費に見合った額を計上しているため、機械的に毎年度 1%とするのは無理がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	2,017千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	1,524千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進めた。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	指定管理料はその時々々の施設管理にかかる必要経費に見合った額を計上しているため、機械的に毎年度 1%とするのは無理がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	目標値に到達できなかったが指定管理者を導入したことにより完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-7			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-7	外郭団体等を指定するもの(神林地区体育館)		
実施課	生涯学習課	関係課	総務課	
実施内容	【限定指定を継続するもの】 ・ 神林地区体育館			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		実施		
目標値		4,773千円		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	4,773千円	
平成26年度 実行内容	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理者が協定内容に基づき業務を進めている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	指定管理料はその時々施設の施設管理にかかる必要経費に見合った額を計上しているため、機械的に毎年度 1%とするのは無理がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	655千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	1,121千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進めた。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	指定管理料はその時々施設の管理にかかる必要経費に見合った額を計上しているため、機械的に毎年度 1%とするのは無理がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	目標値に到達できなかったが指定管理者を導入したことにより完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-8			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-8	外郭団体等を指定するもの(朝日地区体育館)		
実施課	生涯学習課	関係課	総務課	
実施内容	【新たに限定指定による導入をするもの】 ・朝日地区体育館			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		実施		
目標値		1,930千円		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	1,930千円	
平成26年度 実行内容	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理者が協定内容に基づき業務を進めている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	指定管理料はその時々々の施設管理にかかる必要経費に見合った額を計上しているため、機械的に毎年度 1%とするのは無理がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	621千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	619千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進めた。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	指定管理料はその時々施設の管理にかかる必要経費に見合った額を計上しているため、機械的に毎年度 1%とするのは無理がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	指定管理期間内につき、協定内容により業務を進める。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	目標値に到達できなかったが指定管理者を導入したことにより完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-9			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-9	外郭団体等を指定するもの(ふるさとモデル木造施設)		
実施課	神林支所 産業建設課	関係課	総務課	
実施内容	【新たに限定指定による導入をするもの】 ・ふるさとモデル木造施設			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		検討		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-
平成26年度 実行内容	有償譲渡、土地の無償貸し付けの検討。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	譲渡については前向きに考えるとのことである。しかし、譲渡するには現段階では難しいと考える。同一敷地内にある「林産物展示販売施設」「農産加工施設」の指定管理者が更新となる平成28年度を目途に、同施設への指定管理者導入を検討する。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	利用者が設備投資と一部増築をおこなっている。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	平成28年度までは、現状のままで行いたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	—	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	譲渡についても考えているが現段階では難しい。(利用者が設備投資、一部増築を行っている)同一敷地内にある「林産物展示販売施設」「農産加工施設」の更新になる。28年度を目途に同施設への指定管理者導入を検討する。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	利用者が設備投資と一部増築を行っている			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 指定管理者導入に移行</p> <p>< 理由 > 譲渡は考えているが、時期的な問題(不明)同一敷地内にある施設との関係もあり同じ取組としたい。</p>			
平成27年度実行内容	平成29年度指定管理者導入を検討			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	計画変更案のとおり着実な検討を行い、同一敷地内施設と合わせて指定管理者の導入を図っていただきたい。			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-10			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-10	外郭団体等を指定するもの(南大平畜産基地)		
実施課	神林支所 産業建設課	関係課	総務課	
実施内容	【新たに限定指定による導入をするもの】 ・ 南大平畜産基地			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			49千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	使用許可申請とする。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	かみはやし農協肉牛部会で維持管理を行ってくださることを承諾を得ることが出来た。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	部会員の高齢化、部会員の減少、畜産基地の機械については耐用年数が大幅に経過して老朽化しており、格納庫も平成31年度までとなっている。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	当分の間は毎年ごとの使用許可としたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	かみはやし農協肉牛部会で維持管理を行ってもらい、使用許可とした。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	部会員の高齢化、部会員の減少、畜産基地の機械については耐用年数が大幅に経過して老朽化しており、格納庫も平成31年度までとなっている。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > 畜産農家の減少のため。(検討) < 理由 > 部会員の高齢化、施設、機械の老朽化			
平成27年度実行内容	当分の間は毎年ごとの使用許可としたい。			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	平成29年度には指定指定管理者を導入できるよう協議を図っていただきたい。			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-11			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-11	外郭団体等を指定するもの(南大平ダム湖公園)		
実施課	神林支所 産業建設課	関係課	総務課	
実施内容	【新たに限定指定による導入をするもの】 ・南大平ダム湖公園			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			340千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	南大平・指合区との再協議。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	南大平区では指定管理を受けられない。NPO法人きららにもお願いしたが受けしてもらえなかった。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	集落から遠い。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	今後も現状のまま進めていきたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

[平成26年度最終進捗状況及び評価]

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	近隣集落及びNPO法人等にも取組をお願いしたが(キャンプ場、ポーラスター、芝生の維持管理)受け手がいない。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	集落から遠い、ポーラスター(夜の業務)等もある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> 今後も現状のまま進めていきたい。 <理由> 集落から遠い、維持管理が大変(集落では受けることが今はむずかしい)			
平成27年度実行内容	近隣集落とは今後も協議していく。			
行革担当意見	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	平成29年度には指定管理者を導入できるよう近隣集落との協議を図っていただきたい。			
行革本部会議評価	D 見直しが必要(非常に悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-12			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-12	外郭団体等を指定するもの(二子島森林公園)		
実施課	朝日支所 産業建設課	関係課	総務課	
実施内容	【限定指定を継続するもの】 ・ 二子島森林公園			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			395千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	発電所周辺整備管理組合へ指定管理を更新し、管理運営を継続する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成27年度から指定管理が新たに更新される。村上市で浄化槽維持管理業務を行っていたものを、新年度から指定管理の業務に含め、コスト削減をはかる。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年10月9日 指定管理者選定委員会へ限定指定としての案件提出、同審議 平成26年12月2日 第4回定例会へ案件提出、同12月17日指定議案可決 平成27年1月19日 指定案件告示 平成27年3月23日 指定案件の指定管理基本協定締結 平成27年4月1日 指定案件の指定管理年度協定締結予定			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	H27.4.1から指定管理者運営開始			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-13			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-13	外郭団体等を指定するもの(山北地区学童保育所)		
実施課	山北支所 地域振興課	関係課	総務課	
実施内容	[限定指定を継続するもの] ・ 山北やまゆり学童保育所 ・ 山北はまゆり学童保育所			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		実施		
目標値		651千円		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	651千円	
平成26年度 実行内容	同団体へ指定管理を更新し、管理運営を継続する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	同団体へ指定管理を更新し、管理運営を継続した。指定管理期間H26～28			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	電気料金の値上げや消費税率の改定により、H26更新の基本協定の指定管理料は前期の指定管理料を大きく上回った。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	今後も光熱水費等経常的経費の更なる節減に努める等適正な管理運営を行うよう指導する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	1,499千円

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	1,499千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	同団体へ指定管理を更新し、管理運営を継続した。指定管理期間H26～28			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点				
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	引き続き指定管理による管理運営を継続する。 なお、今後も光熱水費等経常的経費の更なる節減に努める等適正な管理運営を行うよう指導する。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	目標値に到達できなかったが指定管理者を導入したことにより完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	78-14			
取組項目 (コード)	4-2-1-2-14	外郭団体等を指定するもの(笹川流れ夕日会館)		
実施課	山北支所 産業建設課	関係課	総務課	
実施内容	[限定指定を継続するもの] ・ 笹川流れ夕日会館 ・ 桑川駅前広場駐車場			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		実施		
目標値		266千円		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	266千円	
平成26年度 実行内容	4月1日から25日まで直営管理とするが、その間に指定管理者選定委員会及び議会の議決を受け、4月26日より同一団体へ限定指定を継続予定。 不適切事項がないよう指導徹底を図る。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年4月26日に指定管理、年度協定を締結した。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	施設を運営するにあたり、人員不足解消が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	適正な管理を実施する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	1%

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	0千円(0%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年4月26日に指定管理、年度協定を締結した。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	施設を運営するにあたり、人員不足解消が必要。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	適正な管理を実施する。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	目標値に到達できなかったが指定管理者を導入したことにより完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	79-1			
取組項目 (コード)	4-2-1-3-1	地域密着型で限定指定するもの(荒川地区農村公園)		
実施課	荒川支所 産業建設課	関係課	総務課	
実施内容	【限定指定を継続するもの】 ・ 荒島農村公園 ・ 海老江農村公園 ・ 切田農村公園 ・ 佐々木農村公園			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		実施		
目標値		-		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	同団体へ指定管理を更新し、管理運営を継続する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年4月1日協定書締結 期間 H26.4.1 ~ H36.3.31 10年間			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	遊具等が老朽化しているのでその更新時期が課題である。			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年4月1日協定書締結 期間 H26.4.1～H36.3.31 10年間		
最終評価	B 計画どおり		
問題点・課題点	遊具等が老朽化しているのでその更新時期が課題である。		
取組内容など計画の変更(案)			
	H25	H26	H27
年次別取組			実施
目標値			
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > 新規限定施設追加 < 理由 > 中倉農村公園が平成27年4月1日供用開始となるため		
平成27年度実行内容	平成28年4月1日からの指定管理に向けて協議を実施		
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)
意見	計画変更案のとおり新たな農村公園についても地元集落との協議を重ね指定管理者の導入を図っていただきたい。		
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	実施課案とする
意見	行革担当意見と同じ		

整理番号	80-1			
取組項目 (コード)	4-2-1-4-1	地元企業等の条件付きで公募で選定するもの (あらかわ保育園)		
実施課	福祉課	関係課	総務課	
実施内容	【新たに社会福祉法人等を条件に公募による指定管理者の導入を図るもの】 ・ あらかわ保育園			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		実施		
目標値		-		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-
平成26年度 実行内容	指定管理の初年度となるため、保育園指定管理としての道標とするべく、運営内容及び指定管理料を検証する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理料は各事業の運営基準に基づく基準単価等により積算しており、運営の内容に対して適当に支払いがされている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値		
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	毎月、事業等各種報告書の提出を求め、指定管理基本協定に基づく事業運営が実施されていることを確認し、指定管理料の支払いを行った。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	平成26年度の実績報告の提出を求め、精算を行う。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	・実績報告と指定管理料の精算 ・子ども子育て支援新制度の実施に伴う、運営費の改定があるため、指定管理料の見直し。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	指定管理者を導入したことにより完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	80-2			
取組項目 (コード)	4-2-1-4-2	地元企業等の条件付きで公募で選定するもの (村上市営あらかわゴルフ場)		
実施課	商工観光課	関係課	総務課	
実施内容	【地元企業等を条件に公募による指定管理者制度を継続するもの】 ・ 村上市営あらかわゴルフ場			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		実施		
目標値		668千円		

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	668千円	
平成26年度 実行内容	継続した指定管理者による管理運営を開始する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年4月1日から継続した指定管理者による管理運営を開始した。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	施設、設備が老朽化しており、修繕だけでなく更新もしなければ追いつかない状況であり指定管理による削減に追いつかない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	必要により修繕、更新を行う。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	22,458千円(98.5%)

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	4,360千円(63%)	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	平成26年4月1日から継続した指定管理者による管理運営を開始した。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	施設、設備が老朽化しており、修繕だけでなく更新しなければ追いつかない状況であり			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	優先順位を付け、修繕箇所の絞り込みを行う。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	目標値に到達できなかったが指定管理者を導入したことにより完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	80-3			
取組項目 (コード)	4-2-1-4-3	地元企業等の条件付きで公募で選定するもの (朝日みどりの里関連施設)		
実施課	商工観光課	関係課	総務課	
実施内容	[地元企業等を条件に公募による指定管理者制度を継続するもの] ・ 朝日みどりの里関連施設 [地元企業等を条件に公募による指定管理者制度導入に変更するもの] ・ 朝日みどりの里農産物直売施設			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			実施	
目標値			803千円	

【平成26年度実施計画】

年次取組	-	目標値	-
平成26年度 実行内容	-		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成27年度からの指定管理者の公募を行った。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	施設、設備が老朽化しており、修繕経費が年々増加している。			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	手続き	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	手続き	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	朝日みどりの里関連施設と朝日みどりの里農産物直売施設を一括で指定管理の公募を行なった。修繕料、消費税は増加しているが、売上の増加により経費をある程度賄っている。 指定管理料 24,25,26年度合計 27,121,000円 27,28,29年度合計 29,106,000円			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	指定管理者の努力により、入込数・売上が増加している分で指定管理料を抑えられている。そのため、指定管理者は利益を上げて指定管理料を抑えられるため経営意欲の向上に繋がらない部分がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	平成27年4月1日から指定管理者による運営開始。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	担当課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	81			
取組項目 (コード)	4-2-2-1	一元管理体制の推進		
実施課	総務課	関係課	-	
実施内容	一体的に施設管理ができる庁内体制の整備を検討する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	近隣市町村の体制を参考にしながら一元管理に向けた体制を検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	検討の結果、利用者が地区住民をである公園施設についてはその地区を対象に指定管理者を導入及び推進しており、不特定多数の人が利用している公園施設の維持管理は委託をしているので、一元管理体制の必要性は次期再編時の検討とした。			
中間評価	AA 完了/達成(非常に良い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	荒川地区児童公園及び神林地区農村公園、児童公園の指定管理者導入			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	各支所と連携しながら荒川地区児童公園及び神林地区農村公園、児童公園の指定管理者を導入を推進する。			
中間における見込み	取組進捗見込	終了	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	終了	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	検討の結果、利用者が地区住民をである公園施設についてはその地区を対象に指定管理者を導入及び推進しており、不特定多数の人が利用している公園施設の維持管理は委託をしているので、一元管理体制の必要性は次期再編時の検討とした。(中間状況と同じ)			
最終評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	-			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	担当課評価のとおり完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	82			
取組項目 (コード)	4-3-1-1	荒川地区3保育園の統合・新設		
実施課	福祉課	関係課	-	
実施内容	平成26年4月から大津・坂町・荒島保育園を統合し、新たな保育園を建設する。 統合保育園は指定管理者による運営とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	建設 指定管理公募	実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	指定管理基本協定に基づき、市と指定管理者との責任分担を明確にする。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	指定管理基本協定に基づき、市と指定管理者との責任分担を明確にしながら運営を行っている。			
中間評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	保護者をはじめ周囲からの評価も良く、運営上特に問題点はない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値		
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	事業等各種報告書の提出を毎月求め、指定管理基本協定に基づく事業運営が実施されていることを確認するとともに、平成26年7月に、あらかわ保育園を利用する保護者の代表者との懇談会を開催した。保護者からは高い評価を得ることができている。			
最終評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
問題点・課題点	特に問題点はない。指定管理開始から1年間が経過し、運営の実績検証を行い、指定管理者と協力しながら今後の保育園運営・サービス等の質の向上が図れるよう努める。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	・運営状況の報告を求め、確認と検証。			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	担当課評価のとおり完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	83			
取組項目 (コード)	4-3-1-2	市内保育園の集約の検討		
実施課	福祉課	関係課	-	
実施内容	保育園等施設整備計画の策定により、保育園の集約を図り、指定管理者制度等による民間活力を導入した運営を進める。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	村上地区：上海府保育園の瀬波保育園への統廃合の検討 朝日地区：5園の集約の検討、及び保護者等との意見交換			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	上海府保育園の統廃合については、保育園等施設整備計画に則り、小中学校の施設整備のあり方等を踏まえながら進めていく。その後、朝日地区については、段階を踏まえて集約を検討していくこととする。			
中間評価	C 計画を下回る(悪い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	今後の小中学校の施設整備のあり方が明確にならないと、施設整備計画どおりに進めようとしても地域住民からの理解が得られない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	小中学校の施設整備の方向性を勘案しながら施設の統廃合を進めていく。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	今後の小中学校の施設整備のあり方が明確にならないと、施設整備計画どおりに進めようとしても地域住民からの理解が得らず、小中学校の施設整備の方向性を勘案しながら施設の統廃合を進めていくこととしていたため、今年度は、具体的な取り組みを進めることができなかった。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	国から学校の適正規模・適正配置等に関する手引きが示され、「国の統廃合に関する考え方」を見据えながら市内小中学校の施設整備の方向性について平成27年度中の答申が出される予定であるため、市内保育園の集約については、混合保育の解消及び保育の質の担保が急務であるため、小中学校の整備の時期に先行して実施すべきであると考え、保育園の統廃合の必要性を説明し理解を得ることが必須となる。更には、保育園の跡地利用についても検討を行う必要がある。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	検討を行う。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	着実な検討を実施をしていただきたい。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	84			
取組項目 (コード)	4-3-2-1	集落集会施設移譲の検討・実施		
実施課	自治振興課	関係課	-	
実施内容	地元集落との協議を進め、建設時の補助金等による制限があるもの及び地元地域の同意が得られないものを除き、平成28年度までに移譲する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	朝日 1施設移譲 山北 6施設移譲	山北 7施設移譲	朝日 1施設移譲 山北 8施設移譲	朝日 2施設移譲 山北 7施設移譲

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	山北 7施設移譲
平成26年度 実行内容	自治会の認可地縁団体の結成を支援するとともに、施設移譲に関する手続きを支援する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年4月の施設移譲に向けて、前年度から認可地縁団体結成と移譲に関して支援を行ってきた10の自治会に施設を移譲することができた。 また、寒川集落センターについては、用途廃止を行い普通財産として財政課に引き継いだ。			
中間評価	A 計画を上回る(良い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	<p>施設移譲は、登記のできる認可地縁団体と限られていることから、未設立の集落に対する、認可地縁団体の設立と施設委譲についての理解と合意を得るのにかなりの時間を要すること。</p> <p>移譲に係る所有権移転登記に要する登録免許税の納付は、契約相手方である集落負担となっており、これを負担することに対して躊躇している集落もある。特に建築後の経過年数が短い建物については、この税額が高額となり、さらに懸念する状況がうかがえる。</p> <p>施設は、国及び県の補助金を財源として建設したものがほとんどで、このため耐用年数経過以前の施設移譲にあたっては、処分報告に関する事務が必要なものもある。</p> <p>以前に保育園と併設した施設並びに老朽化した施設を譲り受ける集落において、今後の管理に懸念を示す状況もあり 理解を求めるのに時間を要すること。</p>			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	上記の諸々の課題はあるものの、次年度以降に関しても移譲に向けた集落説明会の開催や、集落総代に機会をとらえて説明を適宜行うなど、粘り強く移譲に関して業務を遂行したい。 また、説明にあたっては、高額な登録免許税の集落負担や、移譲後の老朽化した施設修繕も予想されることから、後々誤解等を招くことのないよう、慎重に集落住民の理解を求めたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	10施設移譲

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	山北 10施設移譲	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	認可地縁団体の設立を支援するとともに、施設移譲に関する手続きを支援を行った結果、目標値を上回る10施設を移譲することができた。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	施設の移譲に伴う所有権の移転登録免許税が、移譲先の町内集落負担であるため、その理解が必要となっているほか、老朽化した施設を譲り受ける町内集落においては、今後の管理に懸念を示す状況もあり、理解を求める必要がある。 また、残された集落全てが、認可地縁団体として未組織であるため、その設立に関して粘り強く支援する必要がある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	山北 7施設移譲	山北 10施設移譲	朝日 1施設移譲 山北 6施設移譲	朝日 2施設移譲 山北 9施設移譲
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 平成26年度まではこれまでの施設譲与実績値を記載し、平成27年度については譲与予定値を記載したほか、平成28年度については残りの施設数を目標値とした。</p> <p>< 理由 > 同上</p>			
平成27年度実行内容	平成27年4月1日付で、6施設の市有財産譲与契約を締結している。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	85-1			
取組項目 (コード)	4-3-3-1-1	主たる利用団体がある施設の移譲(堆肥舎)		
実施課	神林支所 産業建設課	関係課	-	
実施内容	【独占的利用形態により移譲するもの】 ・堆肥舎			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		検討	実施	
目標値			1施設	

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	関係各担当課およびJAかみはやしとの協議			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	かみはやし農協営農部と文書で協議した結果、譲渡ではなく貸し付けを希望している。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	部会員の高齢化、部会員数の減少、汚染牛糞が奥の区画にストックされている。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	敷地は、借地であるので当分の間は今までどおり維持管理の手法で行いたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	敷地は借地であるので当分の間は今までどおり維持管理で行いたい。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	部会員の高齢化、部会員数の減少、汚染牛糞が奥くの区画にストックされている。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組			検討	
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > 畜産農家が減少しているため。(検討) < 理由 > 部会員の高齢化			
平成27年度実行内容	当分の間は今までどおりで、今後も検討は行っていく。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	平成27年度の実行内容のとおり検討及び協議を引き続き行い、早期の移譲を図っていただきたい。			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	85-2			
取組項目 (コード)	4-3-3-1-2	主たる利用団体がある施設の移譲(格納庫)		
実施課	神林支所 産業建設課	関係課	-	
実施内容	【独占的利用形態により移譲するもの】 ・ 格納庫			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組		検討		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	無償譲渡が可能か土地の無償貸し付けが可能か検討。 市所有の物の格納先を整理。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	かみはやし農協営農部と文書で協議した結果、有償による譲渡は受けられない意向。 無償であれば可能であるが、これまでどおり管理運営委託を希望している。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	無償譲渡は可能か、無償とする理由がない。広く住民が使用するものでないことから「公 の施設」として位置付けることが出来ない。			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	使用料は無償としたい。使用にかかる費用は自己負担とすることを許可条件とする。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	畜産農家が減少、格納庫が今後継続して必要か、かみはやし農協と協議、管理運営委託を希望しており当分の間、使用料は無償、使用にかかる費用は自己負担とすることを許可条件とした。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	かみはやし農協以外の物も格納してある。(格納庫空いている部分もある)			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	今後も検討していく			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	平成27年度の実行内容のとおり検討及び協議を引き続き行い、早期の移譲を図っていただきたい。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	86			
取組項目 (コード)	4-3-4-1	学校施設の教育環境の検討		
実施課	学校教育課	関係課	-	
実施内容	施設の老朽化と児童生徒の減少を踏まえ、将来を見据えた学校施設の教育環境の検討を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	計画・調査	検討		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	平成27年度末までの耐震化を最優先に、その後の改修計画の具体策として各校の実情に即した詳細計画を作成する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成27年度末までに学校施設の耐震化率100%を目指すべく、現在、平成26年度工事、平成27年度工事のための実施設計を行っている。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	学校施設の耐震化工事については、平成27年度末までに耐震化率100%となるために、概ね順調に工事及び設計が進んでいる。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	予定通り工事及び設計を進めたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	学校施設の耐震化工事については、平成27年度末までに耐震化率100%となるために、平成26年度工事は履行した。また、平成27年度工事予定の設計は完了した。		
最終評価		B 計画どおり	
問題点・課題点	耐震化工事については国庫交付金事業であり、国から、平成27年度末で耐震化率100%を目指すという指導がされているため最優先に取り組んでいる。耐震化工事完了後の学校施設改修等を計画的に実施するための計画づくりをする必要がある。		
	H25	H26	H27
年次別取組			
目標値			
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >		
平成27年度実行内容	平成27年度末で学校施設の耐震化率100%に向け工事を進める。学校施設改修計画の素案の作成を行う。		
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-
意見	実施課評価のとおり		
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-
意見	行革担当意見と同じ		

整理番号	87			
取組項目 (コード)	4-3-4-2	体育施設の見直し		
実施課	生涯学習課	関係課	-	
実施内容	現在ある施設で老朽化しているものは、利用状況等を踏まえ、近隣施設に統廃合を計画的に行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査・検討	実施	調査・検討	実施
目標値		統廃合(1施設)		統廃合(1施設)

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	統廃合(1施設)
平成26年度 実行内容	神林ゲートボール場の廃止		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	利用停止している。(利用者がいない)			
中間評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	都市公園施設であるため、他用途に変更するということであれば、施設廃止の手続きが出来ない。しかし、計画されている駐車場整備には多額の工事が必要となるため、駐車場必要台数の精査が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	用途変更の検討を継続する。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	・神林ゲートボール場・・・利用停止 ・朝日テニスコート・・・利用停止 ・黒川俣ふれあいセンター木造教室棟・・・廃止、解体			
最終評価		D 見直しが必要(非常に悪い)		
問題点・課題点	・神林ゲートボール場・・・都市公園施設であるため、他用途に変更するということでは、施設廃止の手続きが出来ない。しかし、計画されている駐車場整備には多額の工事が必要となるため、駐車場必要台数の精査が必要。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	「村上市スポーツ施設整備計画」を進める。(平成27年度は見直しなし) 神林ゲートボール場については、用途変更の検討を継続する。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	必要な取り組みを行っているので「B 計画どおり」と考える。			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	88			
取組項目 (コード)	4-3-4-3	福祉施設の統廃合の検討・実施		
実施課	介護高齢課	関係課	-	
実施内容	【統合を行い廃止する福祉施設】 ・老人いこいの家寿山荘			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		廃止・統合	
目標値			統廃合(1施設)	

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	・平成27年度からの朝日地区老人クラブのいこいの家事業の確立のため、朝日社協および交流の館八幡との調整			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	朝日老人クラブ役員及び社協と調整済み。介護予防を組み込み現在と同様な施設利用ができる事業とする予定。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	寿山荘は、27年度に事業休止とする予定。施設廃止は温泉井戸の処理も含めてH27年度中に検討する。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	・H26年度の利用者は0人であった。 ・H26年度で、指定管理終了。 ・朝日地区老人クラブは、H27年度から介護予防事業として、市内4施設を利用できるよう各事業所と調整済み。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	・温泉井戸の廃止関係			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	・平成27年度に休館、又は用途廃止を検討する。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	89			
取組項目 (コード)	4-3-4-5	下水道処理施設の統廃合		
実施課	下水道課	関係課	-	
実施内容	統廃合計画の策定と統廃合を実施する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	一部実施	検討		
目標値		5,000千円		

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	5,000千円
平成26年度 実行内容	寝屋漁業集落排水施設を廃止したため、維持管理費が不要となり経費削減につながる。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	H26年度実行内容のとおり寝屋漁業集落排水施設を廃止した。			
中間評価				
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	-			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	596千円	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	寝屋漁業集落排水施設を廃止し、八幡処理区へ統合を実施した。併せて、統廃合計画の策定を行った。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	今年度は、廃止した処理場の清掃作業の実施により増額となったが、次年度以降は、約3,700千円の減額となる予定である。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	農業集落排水事業(山辺里処理区)の一部を朝日処理区へ統合する。また、その他の処理区の統廃合については継続的に検討を行う。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	目標値は達成しなかったが統廃合を行ったことにより「B 計画どおり」と考える。			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	90			
取組項目 (コード)	4-3-5-1	再利用可能施設の利用の検討・実施		
実施課	財政課	関係課	-	
実施内容	用途廃止した施設について、他の用途への再利用の検討・実施をおこない、老朽化が著しい施設は解体を進める。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査・実施			
目標値	2棟	1棟	1棟	1棟

【平成26年度実施計画】

年次取組	調査・実施	目標値	1棟
平成26年度 実行内容	老朽化の著しい建物を順次解体する。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	解体2棟(旧北中保育園、旧雷教員住宅)			
中間評価	A 計画を上回る(良い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	-			
今後の対応 (課題・問題点に対 する今後の対応)	1棟解体予定(旧山辺里地区公民館)			
中間における見込み	取組進捗見込	調査・実施	実績見込	解体2棟

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	調査・実施	実績値	解体 3棟	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	解体3棟(旧北中保育園、旧雷教員住宅、旧山辺里地区公民館)			
最終評価		AA 完了/達成(非常に良い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<変更取組内容> <理由>			
平成27年度実行内容	老朽化の著しい建物を順次解体する。また用途廃止されたプールを解体する。 建物解体2棟、工作物(プール)解体1箇所			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	引き続き再利用施設の検討等を行い、施設の整理に努めていただきたい。。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	91			
取組項目 (コード)	4-3-6-1	消防分署体制の見直し		
実施課	消防本部	関係課	-	
実施内容	画一した分署の人員及び車両・資器材配置を見直し、地域の実情を踏まえた分署体制とする。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		実施	
目標値	-	-	-	

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	平成26年度末の大量退職者数に対応するため、災害出動体制の維持や車両整備計画又は老朽化している分署の建て替え移転や適正な分署の人員及び車両資機材等の配置を検討する。			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	平成26年度末の大量退職者数に対応するため、本署及び分署の勤務体制の見直しを検討し、それに伴い災害出動体制や車両整備計画及び車両配備の見直しを検討している。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	勤務体制の見直し(案)を作成後、総務課人事管理室と協議する必要がある。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	平成26年度末の大量退職者及び平成27年4月1日から山北分署の救急車2台体制に対応するべく、今年度中に勤務体制の見直しを図る必要がある。			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値		
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・日勤勤務者を増員し、日常業務(諸会議、講習会等)の充実と後継者の育成を図る。 ・分署長を日勤勤務者とし、常に職員を監督し安全管理を徹底し、消防団との連携を図る。 ・山北分署管内における救急第2出動時の時間短縮のため、山北分署の救急車を2台体制とし、荒川分署の救急車2台を1台体制とする。 上記の体制で平成27年4月1日から業務予定 ・広報車リース替えに伴い、本署・分署における適正な広報車の配置見直しを図った。 			
最終評価	B 計画どおり			
問題点・課題点	平成27年4月1日から新勤務体制で実際の業務を行ったとき、新たな問題・課題が出てくることが予想される。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討		実施	
目標値	-	-	-	-
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	平成26年度で終了			
行革担当意見	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	分署体制の見直し検討を行ったことにより完了した取り組みと考える。			
行革本部会議評価	AA 完了/達成(非常に良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	92			
取組項目 (コード)	5-1-1-1	協働のまちづくりの周知		
実施課	自治振興課	関係課	-	
実施内容	各協議会で発行する「たより」等で取り組みを周知するとともに、地域の様子や各種団体の様子を併せて周知できるように支援し、市民の認識、理解を深め、意識の向上を図る。 また、各委員による周知及び事務局による各地域に在住する職員への周知を進め参画意識を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信については、事業への参画をいただくための周知を念頭に行っていただくとともに、各年代に合わせた情報の発信を進めていただく。 ・市民参画については、事業の継続に合わせ、それぞれの役割が活かせる場づくりに努めていただき、参加の輪を広げる。 			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・紙媒体のまちづくり通信やSNSなどの電子媒体を活用することにより、各年代層に併せた情報発信を各協議会とも独自に進めている ・事業を継続することにより、そこから新たな団体が組織されたところがあった。 			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・他団体と事業内容や開催日が重なることがあり、市民が混乱する場合があった。 ・気軽に参加を促していても、専門性を必要とすると捉えられる場合があった。 			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・各種事業への参画をさらに広く一般に周知するとともに、各々がしっかりとした目的意識を持てるような取り組みを実施していきたい 			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	全ての協議会において、紙媒体のまちづくり通信やホームページやSNSなどの電子媒体による周知活動を独自の方法で実施している。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	それぞれの地域が、それぞれのやり方で活動しているので周知方法に統一性がないのは仕方ないことであるが、全体で比較すると情報発信量に差が出ていると感じられる。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	地域の特色を活かした方法で周知を進めていきながらも、より市民参画が期待できるよう、しっかりとした目的をもった取組みを進める。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	93			
取組項目 (コード)	5-2-1-1	広報・広聴組織の充実		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	内部の連携強化に加え、市民から意見を求める機会を創出する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討	検討・実施		
目標値		(回数) 1	(回数) 1	(回数) 1

【平成26年度実施計画】

年次取組	検討・実施	目標値	(回数) 1
平成26年度 実行内容	市報やホームページを活用した意見聴取や広報モニター等の導入についての検討と実施		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	現行の市報について、いろいろなアイデアを取り入れ改善中。ある程度改善してから意見を聴取したい。			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	読んだ人が、気軽に意見できる方法の検討			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	ホームページ上から簡単に意見聴取できるよう取り組む			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	(回数) 1

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	(回数) 0	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	市民参加型コーナーを企画し、応募者に市報について意見を求める。市報に懸賞付きクイズを掲載し、回答の際に市報に関する感想や意見を求めるなどの具体的な取り組みを検討した。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	-			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	平成27年度から募集する「市民むらかみスマイル」の申込者に市報についての意見を求める。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	94			
取組項目 (コード)	5-2-1-2	ホームページの充実		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	ホームページは現在における情報発信ツールとして有効であることから、リニューアルによる見やすさと内容の充実を図る。 また、職員に対しては操作以外の研修会を適宜行うなどして、なお一層の意識啓発を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	更新			
目標値	(アクセス数) 年間582,000	年間614,000	年間646,000	年間678,000

【平成26年度実施計画】

年次取組	更新	目標値	年間614,000
平成26年度 実行内容	リニューアル後の作業手順や承認ルートの整理。 リニューアルの際に設けた新機能(メールマガジンやウェブブック等)の運用。 ホームページの操作研修の実施。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	作業手順、承認ルートは整理済。新たに子ども子育て支援メールマガジンも発行。ウェブブックも作成。操作研修も実施済。			
中間評価	A 計画を上回る(良い)			
実行にあたっての 問題点・課題点	更新の頻度が課によって隔たりがある。リニューアル後のホームページアクセス集計方法が変更となり、目標値の変更が必要。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	定期的に更新するよう呼びかけを行った。今年度のアクセス数により、目標値を変更する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	年間 600,000

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	年間 561,812	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	承認システムを運用し、一年間ホームページを管理した。 新機能であるウェブブック、市民時計、メイングラフィックスを活用し魅力ある情報提供に努めたほか、有料広告バナー等を活用し、企業等のPRにも寄与した。 操作研修以外の研修は実施しなかった。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	更新頻度のばらつきは解消していないため、職員の意識を変えるような研修を検討し実施			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	更新	継続	継続	継続
目標値	2,635,000	3,075,000	3,383,000	3,722,000
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > 年間のトップページアクセス数から、年度内の全ページアクセス数に変更した</p> <p>< 理由 > ホームページを管理するシステムの変更に伴い、アクセス集計のシステムが変更となったため、アクセス数のカウント数に差異が発生している。また昨今、検索サイトから「知りたい情報」があるページに直接アクセスしてくるから、トップページのみを集計でなく、全アクセス数の伸びを見ていくことが適切であると考えため</p>			
平成27年度実行内容	各課へのホームページ更新の呼びかけ。 トップページの写真や市民時計、広報日記などのコーナーの更新頻度を上げて、魅力あるページとする。 有料広告バナーも前年度以上の獲得を目指す。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	見直し(実施課と同じ)	
意見	目標値を達成しなかったため、「C 計画を下回る(悪い)」と考える。 計画変更案のとおり変更すべきと考える。			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	実施課案とする	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	95			
取組項目 (コード)	5-2-1-3	出前講座の拡充		
実施課	生涯学習課	関係課	-	
実施内容	行政情報の提供と市民との意見交換の場として、出前講座の拡充を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	延 5,350人	延 6,700人	延 6,700人	延 6,700人

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	延 6,700人
平成26年度 実行内容	出前講座のオープンセッションとして、区長や学校長などを対象に合同説明会(4月26日)の実施。 メニューを出している担当課からの講座内容を把握するため聞き取り。 メニュー一覧を分野別に整理、おすすめメニューを設定するなど、見やすい内容へ変更。		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	出前講座のオープンセッションとして、区長や学校長などを対象に合同説明会(4月26日)を開催した。 メニューを出している担当課からの講座内容を把握するため聞き取りを行った。 メニュー一覧を分野別に整理、おすすめメニューを設定するなど、見やすい内容へ変更した。			
中間評価	B 計画どおり			
実行にあたっての 問題点・課題点	出前講座メニューの出前講座を行うなど、PRやメニューの充実について実施したが、実績(出前講座の実施件数や人数)については確認できていない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	引き続きPRを行っていく。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	6,700人

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	9,696人	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>出前講座のオープンセッションとして、区長や学校長などを対象に合同説明会(4月26日)を開催した。 メニューを出している担当課からの講座内容を把握するため聞き取りを行った。 メニュー一覧を分野別に整理、おすすめメニューを設定するなど、見やすい内容へ変更した。 出前講座メニューの出前講座を行うなど積極的にPRを行った。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	<p>オープンセッションを行うなど認知度を上げる取り組みを行ってきた。 今後は、利用につなげる取組も必要。</p>			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 > < 理由 ></p>			
平成27年度 実行内容	<p>県や外部の機関にも働きかけ、魅力ある出前講座メニューを増やす。 「地域の茶の間」や企業と連携するなど、出前講座の利用度を上げる取組を行う。 引き続き、PRに努める。</p>			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	96			
取組項目 (コード)	5-2-2-1	市政提案制度や市政懇談会の充実		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	市の施策や計画に対する市民の意見の場として、市政提案や市政懇談会の充実を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	(市政懇談会回数) 1	(市政懇談会回数) 1	(市政懇談会回数) 1	(市政懇談会回数) 1

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	(市政懇談会回数) 1
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいトークについて、テーマや方向性を決め、参加の得られる体制で実施したい。 ・市政提案制度について、ホームページのリニューアルに合わせて、聴取の仕方を研究したい。 ・(仮称)村上市まちづくり基本条例の制定に合わせて、審議会の意見も踏まえ、市民意見の聴取についても聴取の手法や場について研究したい。 		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市政提案制度は、ホームページからの問い合わせが8～9割を占め、照会や提案がしやすくなったと考えられる。また、提案制度の事務フローを見直し、回答などについてスピードアップを図った。 ・(仮称)まちづくり基本条例については、平成27年3月定例会に提案を予定しながら審議会で検討中である。まちづくりへの市民参画を中心的な内容として現在条例案を審議中である。 ・ふれあいトークは、移動市長室として開催し、マンネリ化を打破した。 			
中間評価		A 計画を上回る(良い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	市政提案制度については、問い合わせや苦情のようなものが多く、政策的な提案が少ない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	事務フローを見直し、問い合わせなどに関しては所管課がスピーディーに回答できるよう見直しを行った。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	(市政懇談会回数) 1

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	<p>・市政提案制度は、ホームページからの問い合わせがにより、照会や提案がしやすくなった。</p> <p>・村上市まちづくり基本条例については、平成27年市議会第1回定例会で可決した。今後、普及啓発により、市として市民のまちづくり参画意識を図ることや市民意見を取り入れる場づくりに努めることが重要となる。</p> <p>・ふれあいトークは、移動市長室として開催し、マンネリ化を打破した。</p>			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	ホームページからの意見の受付は、問い合わせの利便性向上に寄与しているが、苦情なども同時に多くなっている。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	<p>< 変更取組内容 ></p> <p>< 理由 ></p>			
平成27年度実行内容	引き続き普及に取り組む			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	97			
取組項目 (コード)	5-2-2-2	パブリックコメント制度の充実		
実施課	政策推進課	関係課	-	
実施内容	政策立案や事業プロセスにおける市民の意見を積極的に取り入れるため、制度の充実を図る。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値	(手続き数) 3	(手続き数) 3	(手続き数) 3	(手続き数) 3

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	(手続き数) 3
平成26年度 実行内容	機会を利用して市民への制度の周知を図りたい。(出前講座等)		

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	市報で掲載枠を大きく取り上げ、関心をもってもらうよう努めた。出前講座の要望は現在のところない。			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	出前講座のメニューにしたが需要がない。			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	ポスターやチラシを作成し、制度について広く周知する。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	(手続き数) 9

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	(手続き数) 11	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	ポスターやチラシを作成し、制度について広く周知した。			
最終評価		A 計画を上回る(良い)		
問題点・課題点	意見聴取期間が短い、計画等の資料が膨大すぎるなどの市民から意見が出された。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	意見聴取期間の延長、資料の概要版の作成などを検討する。			
行革担当意見	A 計画を上回る(良い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	A 計画を上回る(良い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	98			
取組項目 (コード)	5-2-2-3	職員の地域活動等への参加促進		
実施課	自治振興課	関係課	-	
実施内容	職員の人材育成も含め、積極的に参加し、市民と行政との情報の共有を図る。 各職員の職務における町内集落支援に関する事業等を把握し、互いに連携が取れる体制づくりを進めるとともに、各担当からきめ細かな情報発信を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	検討・実施	実施		
目標値	連携体制の構築			

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> 市職員の参画を進めるため、各職員の町内集落支援等の状況を把握する。 各地区の取り組み状況を把握するため、定期的な情報交換を行うとともに、地域の状況に合わせた市職員の取り組みへの参画を促す取り組みを進める。 			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 市職員が協議会の事業部会員に一市民として参加している協議会もあり、自治振興担当職員や既参画職員からの発信で参画を進めているところが増えてきている。 人事評価への反映が可能か検討している 			
中間評価		C 計画を下回る(悪い)		
実行にあたっての 問題点・課題点	<ul style="list-style-type: none"> 従前から市職員の参画が普通に行われているところもあり、地域によって考え方が異なっている。 どのように参画すればいいのか、立場や役割等を含め明確な方法がわからない職員がいる。 			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> 各協議会での市職員参画状況及び先行例などをもとに、参画意識が高まるような方策を検討していきたい 			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	地域活動への参加促進については、積極的にとまではないが、職員間での情報共有から派生して、徐々にではあるが増えている。人事評価へ反映するか否かは、地域差もあり、これからも慎重に検討していく必要がある。			
最終評価		C 計画を下回る(悪い)		
問題点・課題点	地域差があるのも確かなことで、従前から一市民として様々な活動に率先して参画している職員がいるのに、一部の参画しない職員のために、全体として職員の地域活動への参加促進が進んでいないと捉えられている感もある。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度実行内容	これまで地域活動へ参加することに消極的だった職員も“協働のまちづくり”という大義名分を有効に活用することで、より参画しやすい状況になりつつあることを内外に発信していく。			
行革担当意見	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	C 計画を下回る(悪い)	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	99			
取組項目 (コード)	5-3-1-1	評価・検証制度の確立と実施		
実施課	自治振興課	関係課	-	
実施内容	まちづくりのための支援についての評価、検証を行う。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査	調査・検討	実施	
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	調査・検討	目標値	-	
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域担当職員間で抱える課題や今後の取り組みなどに関する情報の共有を図る。 ・今後の事業推進のためのマニュアルを整備し、評価検証の仕組みも併せて構築する。 			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各協議会とも、事業実施後にふりかえりアンケート等を行い、次回及び次年度に向けて評価検証を実施していることから、PDCAサイクルが確立していると感じる。 			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区及び各協議会の実態を踏まえ、評価の対象をどこに置けば良いのか決めるのが難しい。 			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・全体としての統一した評価基準を設けるべきか引き続き検討していきたい。 			
中間における見込み	取組進捗見込	検討・実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	検討・実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	設立から3年が経過し、実態に沿った形で、事業計画の見直しや組織改編に着手している協議会もいくつか見受けられることから、独自で評価検証は確立されていると思われる。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	各協議会とも地域性を最大限に活かし活発に活動しているので、全体としては良い意味で評価の対象先を見い出せないでいる。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H25	H26	H27	H28
年次別取組				
目標値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	評価検証を発展的なものと捉えたうえで、各協議会独自で進めていただくこととしつつ、統一した評価制度の在り方を引き続き検討する。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意見	行革担当意見と同じ			

整理番号	100			
取組項目 (コード)	5-3-1-2	まちづくりのリーダーとなる団体・人材育成のための支援や研修会の実施		
実施課	自治振興課	関係課	-	
実施内容	まちづくりのための人材育成に努め、その支援を実施する。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	実施			
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO等の協力の基、地域人材を育成するための取り組みや地域間の情報を共有するための取り組みを進める。 ・担当職員間において、抱える課題や取り組み状況などの共有を図る。 			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは、まちづくり協議会の役員等で事業を実施してきた感が強かったが、地域の各種団体と協働で企画立案から運営に至るまで実施している協議会もあり、活動を通して新たな人材発掘及び育成が期待できつつある。 			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会以外の団体に属している市民も多いため、人材育成に即つながらない。 			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	各種団体等とのネットワーク化の手法を検討し、市民全体のスキルアップを図りたい。			
中間における見込み	取組進捗見込	実施	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	地域内でのまちづくり協議会の役割が認知されてきたことにより、各種団体との協働活動でも相乗効果が大いに発揮され、活躍の場を提供することで副産物としての人材発掘が期待できるようになった。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	協議会の事業自体がマンネリ化することなく、状況に応じた新しい取り組みを常に意識しなければならない。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	人材育成ばかりに終始せず、活動の中から偶発的に人材発掘に繋がるような取り組みを進める。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

整理番号	101			
取組項目 (コード)	5-3-2-1	地域まちづくり組織の活動拠点の確保及びコミュニティ活動推進支援		
実施課	自治振興課	関係課	-	
実施内容	拠点施設が未整備な地域については、市の空き施設の活用を含めた拠点施設の確保を進めるとともに、安心して地域のコミュニティ活動が行える保険制度の導入について進める。			
	H25	H26	H27	H28
年次別取組	調査・検討	一部検討・実施		
目標値				

【平成26年度実施計画】

年次取組	一部検討・実施	目標値	-	
平成26年度 実行内容	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設の確保に向けたガイドラインの整備を行う。 ・関係課と協議調整のうえ、コミュニティ保険の制度設ける。 			

【平成26年度中間進捗及び中間評価】

平成26年度 実行内容の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各まちづくり協議会へ拠点整備についてのアンケートを実施。その後、各地区自治振興室長打合せ会を開催し、意見を調整中。並行して保険制度を調査中。 			
中間評価		B 計画どおり		
実行にあたっての 問題点・課題点	<ul style="list-style-type: none"> ・既に先行して拠点施設を確保した協議会もあり、地域間格差が出ないように調整が必要 			
今後の対応 (課題・問題点に対する今後の対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・「公的支援」のあり方、範囲についての検討をしたい 			
中間における見込み	取組進捗見込	検討	実績見込	-

【平成26年度最終進捗状況及び評価】

取組進捗状況	一部検討・実施	実績値	-	
当該年度に取り組み内容及び進捗状況	拠点の確保が活動の推進に直結するか否かは、先行例をもとに今後も随時検討していきたい。			
最終評価		B 計画どおり		
問題点・課題点	基金の活用を含め、長期計画でなければ、拠点の確保は、現財政支援では全体としては難しい。			
取組内容など計画の変更(案)				
	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8
年次別取組				
目 標 値				
変更取組内容及び理由等	< 変更取組内容 > < 理由 >			
平成27年度 実行内容	先行例をもとに、それぞれの地域及び協議会組織に見合ったコミュニティ活動の推進を進める。			
行革担当意見	B 計画どおり	計画変更案に対する考え方	-	
意 見	実施課評価のとおり			
行革本部会議評価	B 計画どおり	計画変更案の可・否	-	
意 見	行革担当意見と同じ			

